

LH7P

操作説明書

UI 操作説明書

1.1



1、3D LUT

作成したLUTファイルを保存するために使用され、画面に直接適用することができます。



3、カメラ

カメラはWi-FiまたはBluetoothを介して接続および制御できます



5、機能

詳細は「機能紹介」を参照してください。



2、垂直ストレッチ

垂直ストレッチを有効にし、開始ラインパラメータを所望のストレッチ位置に調整し、垂直ストレッチパラメータを簡単に変更して調整を完了します。



4、ボタン

よく使う機能をショートカットキーとして設定し、1タッチで起動できます

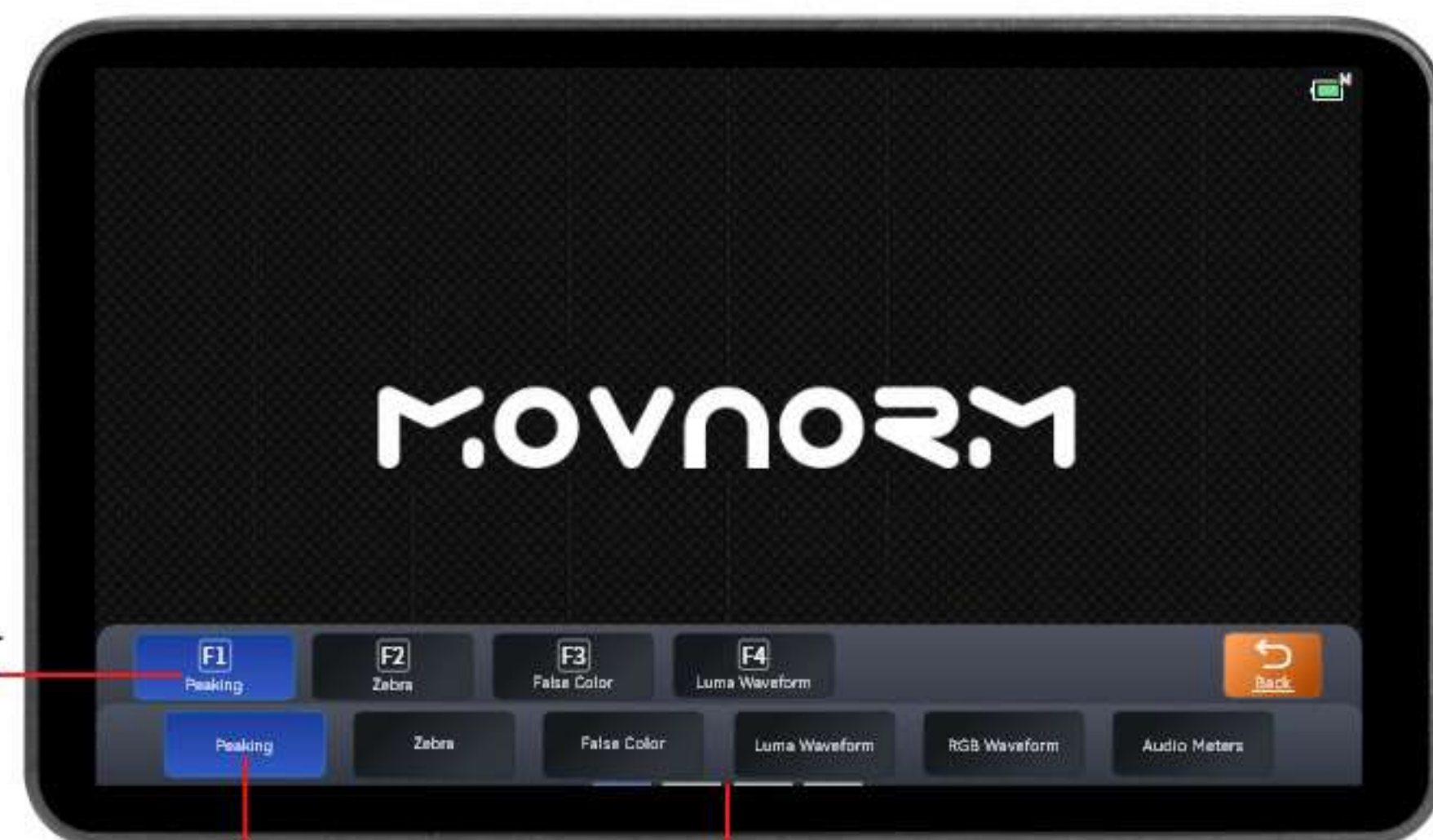


6、設定

詳細は「設定紹介」を参照してください。

ショートカットキー紹介

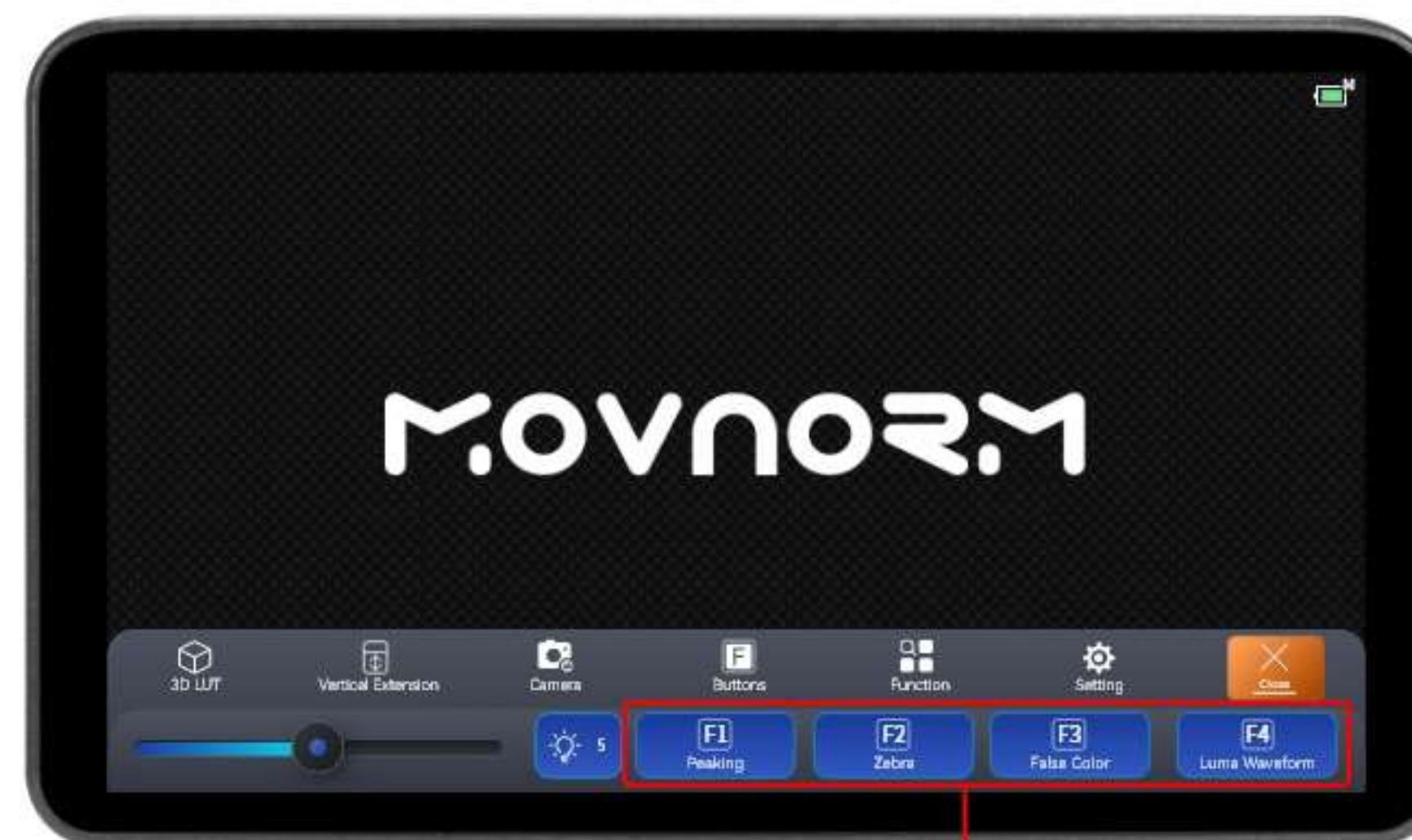
2.1



置き換えたいショートカットをクリックします。

次に、所望のショートカットをクリックして置き換えを完了します

スライドしてページを切り替える



完了したショートカットをプリセットする

以下の機能はそれぞれ、クイックアクセス機能として設定できます。



ピーキング



ゼブラ



フォールスカラー



輝度波形



RGB波形



Audio Meters



輝度ヒストグラム



Rectangle Crop



画像キャプチャ



画像オーバーレイ



HDR(HLG)



Check Field



画像オーバーレイ



十字線



グリッド



3D LUT



カメラ録画



Turning Off The Screen



垂直拡張

機能紹介

3.1 フォーカスアシスト機能



フォーカスアシストの紹介

撮影中に写真家が画像のフォーカスをより良く評価できるように支援するために使用される技術です。その原理は、画像処理を使用して高コントラスト領域（通常は鮮鋭な部分）を特定の色またはエッジラインで強調表示することで、写真家がどの部分が合焦していてどの部分がボケているのかを迅速に識別できるようになります。

フォーカスアシストを有効にする



クリックしてフォーカスアシストを有効にする
フォーカス領域が画像上に強調表示色で表示されます。

フォーカスアシスト機能 - オリジナル画像



クリックしてオリジナル画像を表示する
オリジナル画像は、画像の表示スタイルを切り替えることができ、6種類のスタイルがあります：オリジナル画像、白黒、グレースケール（低）、グレースケール（中）、グレースケール（高）、および黒。

オリジナル画像 - スタイルエフェクト



オリジナル画像



白黒



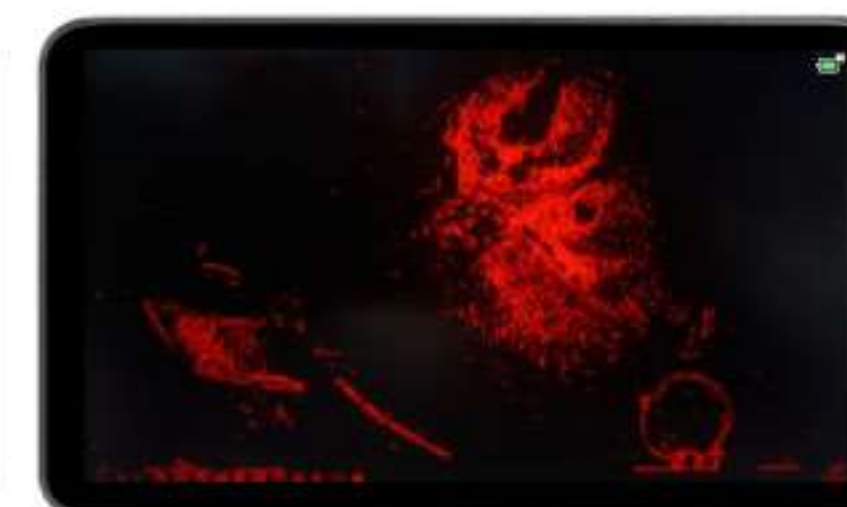
グレースケール（低）



グレースケール（中）



グレースケール（高）



ブラック

フォーカス アシスト - 感度



感度を有効にするにはクリック

感度スライダーをドラッグして、1 から 15 の範囲の感度レベルを調整します。感度値が高いほど、フォーカスキャプチャ範囲が広くなり、値が低いほど狭くなります。



低感度値



高感度値

フォーカス アシスト - 色



色を変更するにはクリック

フォーカス色は必要に応じて選択できます（白、赤、緑、または青）

フォーカス カラー スタイル



白



赤



緑



青

フォーカス アシスト - ピーク フレーム



ピーク フレームを有効にする前



ピーク フレームを有効にした後

1. ピーク フレームには、水平方向の開始位置、垂直方向の開始位置、幅、高さ、リセット、戻るなどが含まれます。
2. ピーク フレームを有効にすると、フォーカスはその中に表示されます。
3. ピーク フレームをクリックして次の画面に移動し、そこでパラメータを調整してピーク フレームのサイズと位置を変更し、設定をリセットすることができます。

0%

X 開始位置: ピーク ボックスを水平方向に移動し、画面をタッチしてピーク ボックスを移動するには [増加] を選択します。

0%

Y 開始位置: ピーク フレームを垂直方向に移動し、画面上でフレームをドラッグするには [値を増やす] を選択します。

100%

幅: 幅の値を増やしてピーク フレームを拡大します。

100%

高さ: 高さの値を増やしてピーク フレームの高さを増やします。



リセット: フォーカス アシストのすべての値を元の設定に戻します。



戻る: 戻るボタンをクリックして前のページに戻ります

3.2 ズーム



ズームの概要

露出過多の領域や特定の輝度範囲に縞模様を表示し、写真家が露出設定をリアルタイムで特定して調整して画像の詳細を保持するのに役立ちます

ズーム - 有効化



「有効化は、低ゾーン、中ゾーン、高ゾーンの表示を制御します。各ゾーンを個別に切り替えることも、3つすべてを切り替えることもできます。

ズーム - エリア オプション



ゾーン オプションを有効にするにはクリック

ズーム エリア オプションには、低ゾーン、中ゾーン、高ゾーンが含まれます



低い



中間



高い

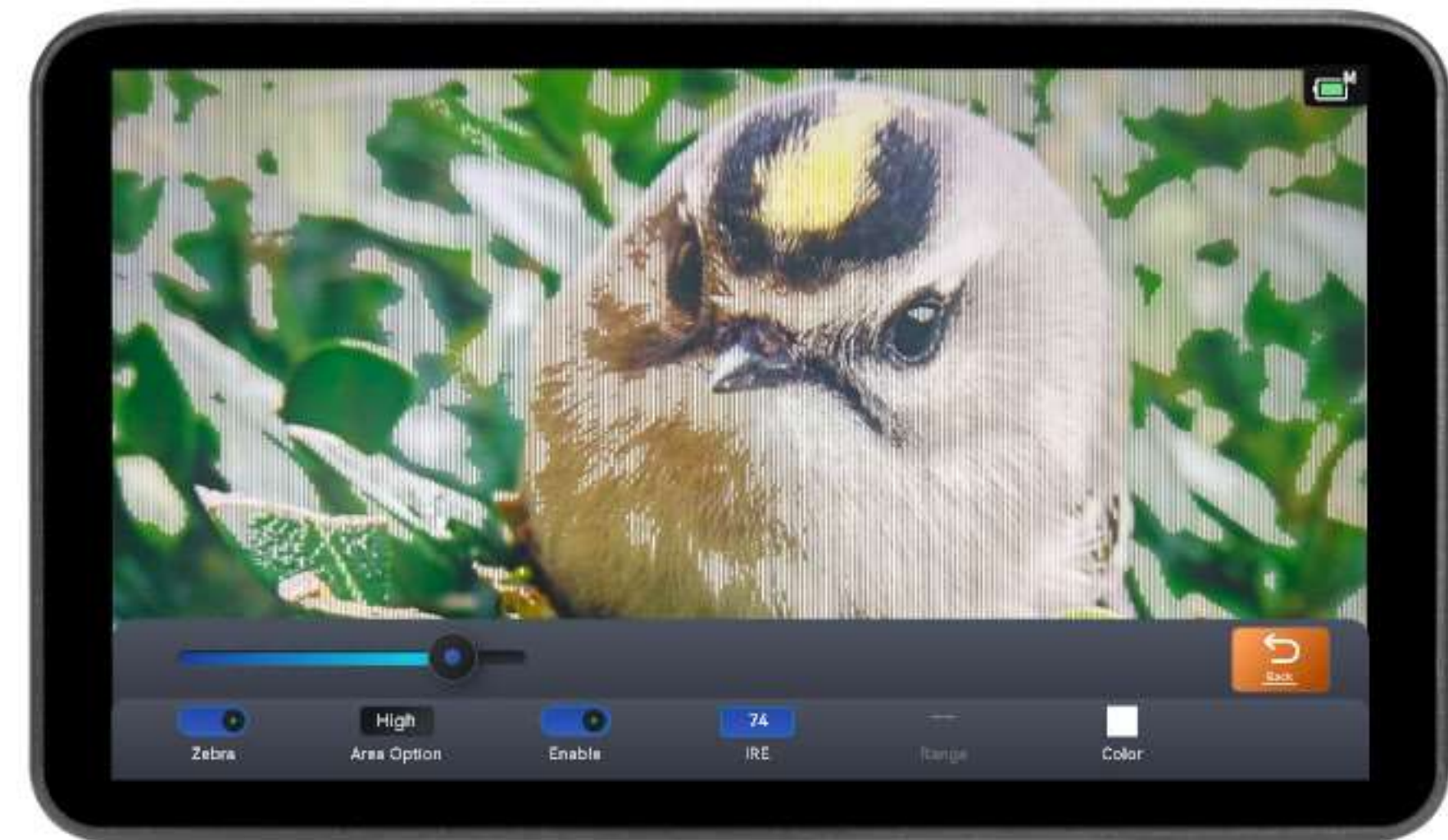
シマウマ - IRE



画像におけるゼブラ模様の表示範囲は、中域オプションの IRE 値が調整可能で、許容誤差は $\pm 0 - 30$ です。



Low IRE Effect Reference



High IRE Effect Reference

3.3 疑似色



疑似色の紹介

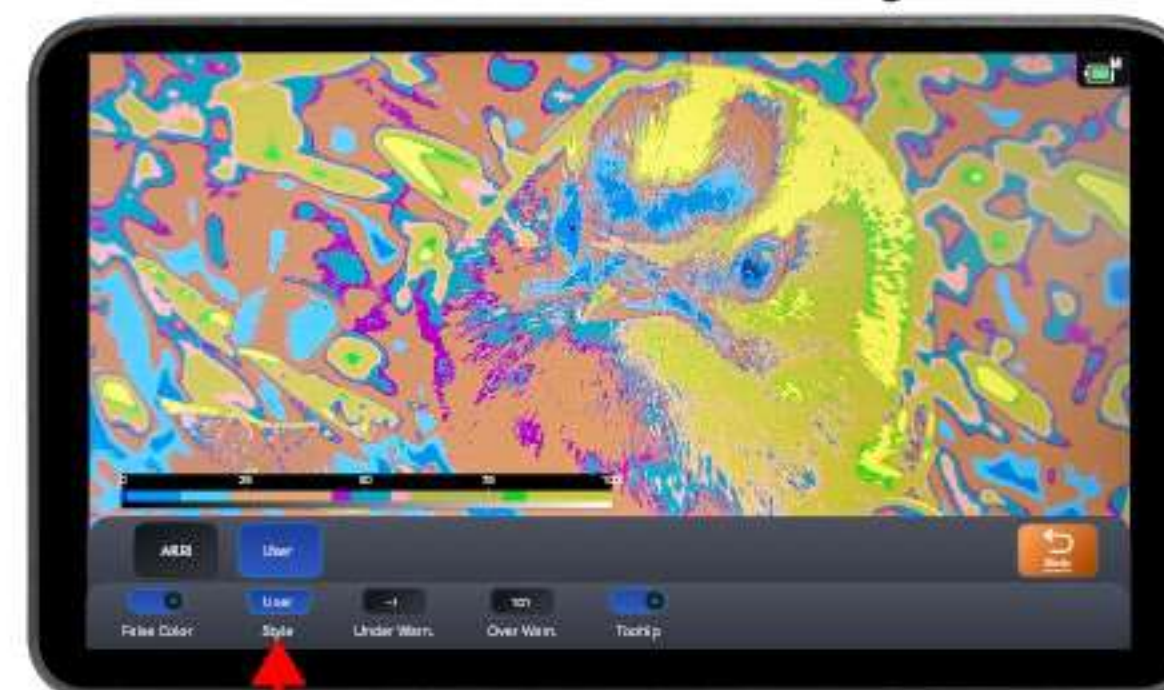
疑似色機能は、画像内の異なる輝度レベルを様々な色にマッピングします。

False Color - ARRI



この疑似色機能は ARRI カメラ向けに設計されており、他の機能と高度に統合されており、一貫性のあるプロフェッショナルなワークフローを提供します。

False Color - User Style

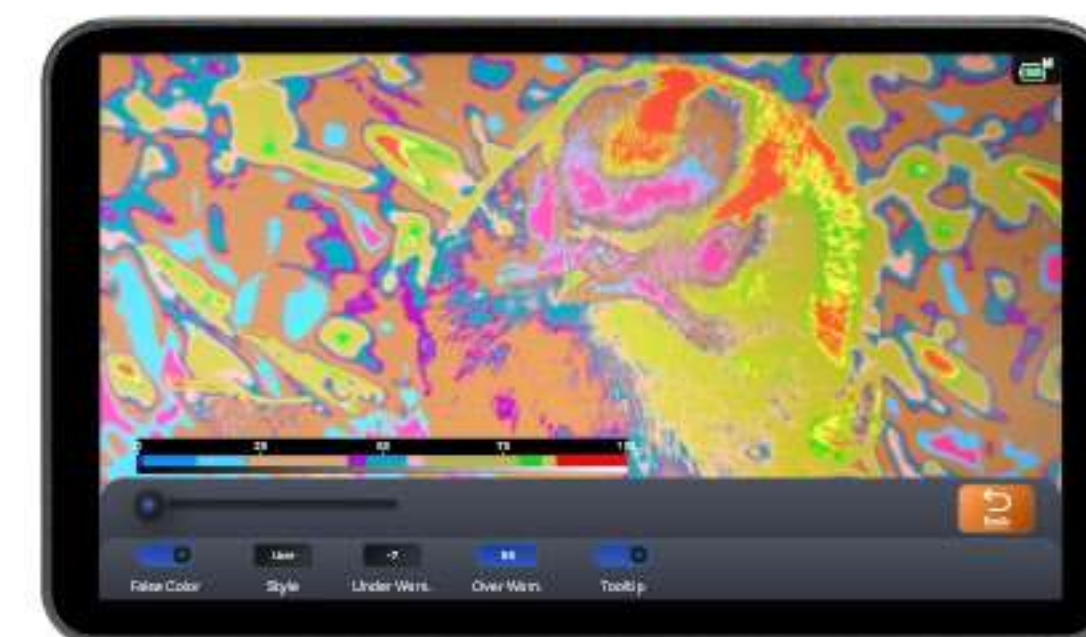


ユーザーは、強調表示領域（過露出設定）と陰影領域（露出不足設定）の露出分布ピークを自由に調整できます。

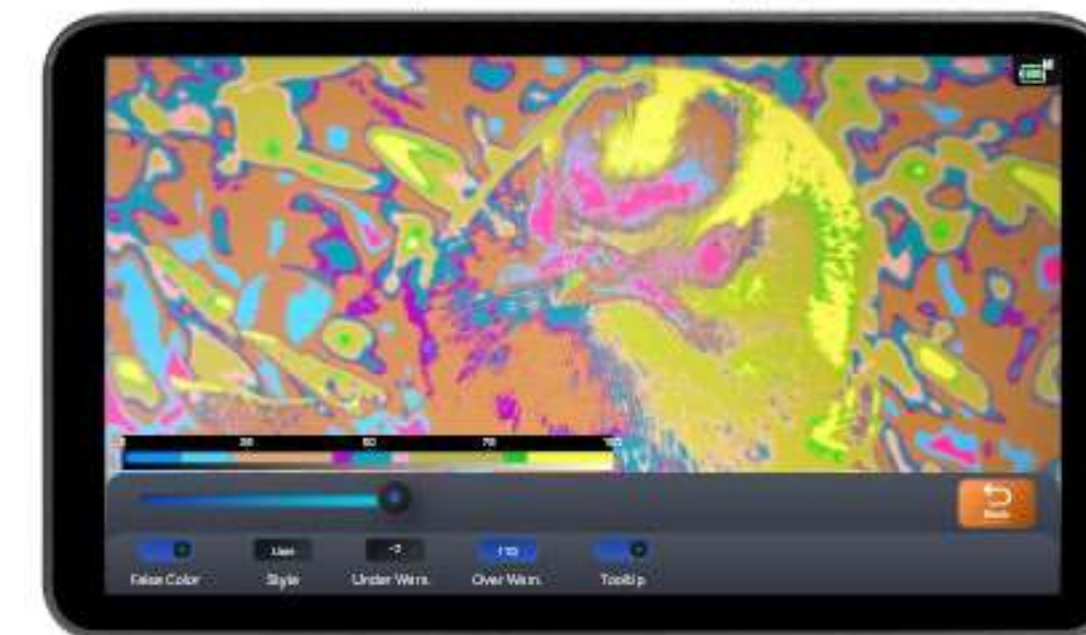
False Color - Information Note



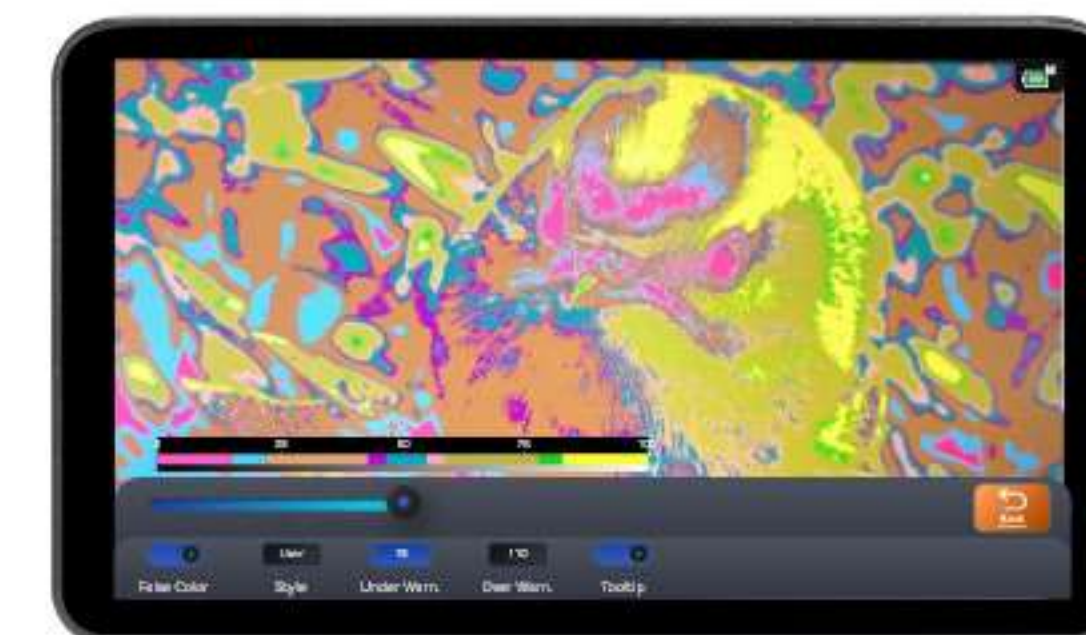
画像内の疑似色情報は、数値参照に変換できます。



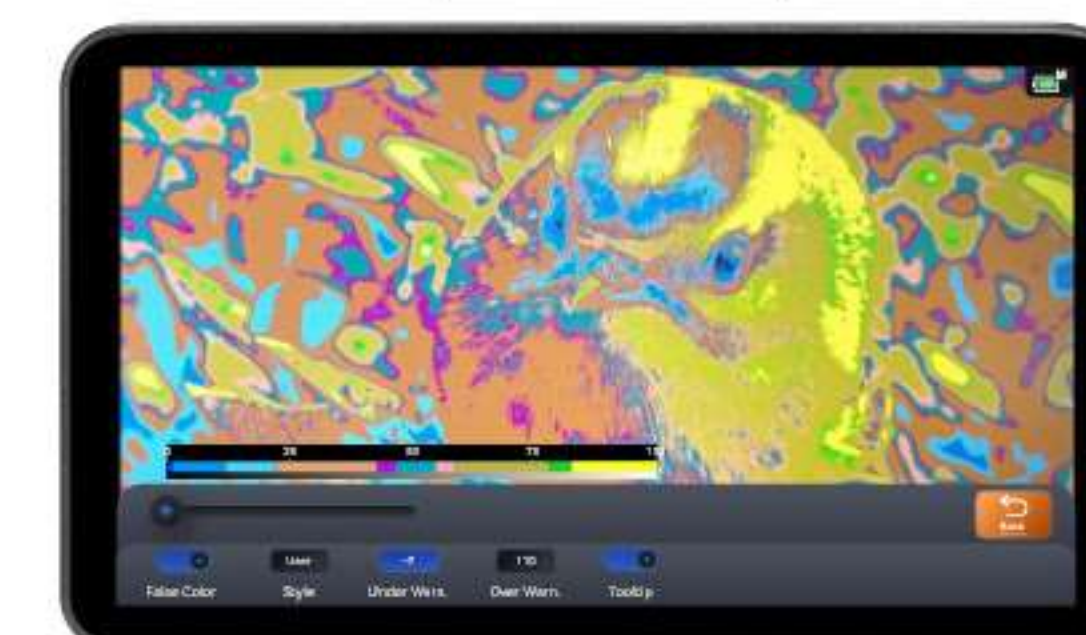
Overexposure Effect Comparison



Overexposure Effect Comparison



Underexposure Effect Comparison



Underexposure Effect Comparison

3.4 輝度波形



輝度波形の紹介

グラフィカルな波形表示は、画像内の輝度分布を示し、ユーザーが露出レベルとコントラストを分析するのに役立ちます。横軸は画像内の水平位置を表し、縦軸は輝度値を示します。

ルマ波形-輝度



輝度ボタンをクリックして次の画面に移動します。左右にスワイプして波形の輝度を調整します



低輝度



高輝度

ルマ波形-透明度



ルマ波形の透明度には、オフ、25%、50%、75%の4つのオプションがあります。波形の透明度を調整するには、対応する値を選択します。



透明度オフ



透明度 25%



透明度 50%



透明度 75%

ルマウェーブフォーム - 過大な色彩



ルマウェーブフォームの過露出および露出不足の領域は、カスタマイズ可能で、赤色でマークできます。

下限領域のスライダーを左右にスライドさせて、下限の範囲外ピークを調整します。範囲は -7 ~ 109 です。



オーバーフロー領域のエフェクト比較



オーバーフロー領域のエフェクト比較

上限領域のスライダーを左右にスライドさせて、上限の範囲外ピークを調整します。範囲は -7 ~ 109 です。



オーバーフロー領域のエフェクト比較



オーバーフロー領域のエフェクト比較

Luma Waveform - Zoom



ズームボタンをクリックして、ルマウェーブフォームを拡大または縮小します



拡大後

ルマウェーブフォーム - 位置

1. ルマウェーブフォームは、以下のいずれかの領域に配置できます：左上、右上、左下、または右下。

2. 位置ボタンをクリックして、ルマウェーブフォームの対応する場所を選択します。



左上



右上



左下



右下

3.5 RGB 波形



RGB 波形の紹介

画像の赤、緑、青チャンネルを個別の波形として表示します。これらの波形は、各カラーチャンネルの輝度分布を示し、各チャンネルの露出とコントラストをチェックおよび調整できます。

RGB 波形 - 輝度



輝度ボタンをクリックして次の画面に移動します。左右にスワイプして波形の輝度を調整し、範囲は 1 ~ 6 です。



明るさ低



明るさ高

RGB 波形 - 透明度



RGB 波形の透明度には、オフ、25%、50%、75% の 4 つの数値オプションがあります。透明度ボタンをクリックし、対応する値を選択して、輝度波形の透明度を調整できます。



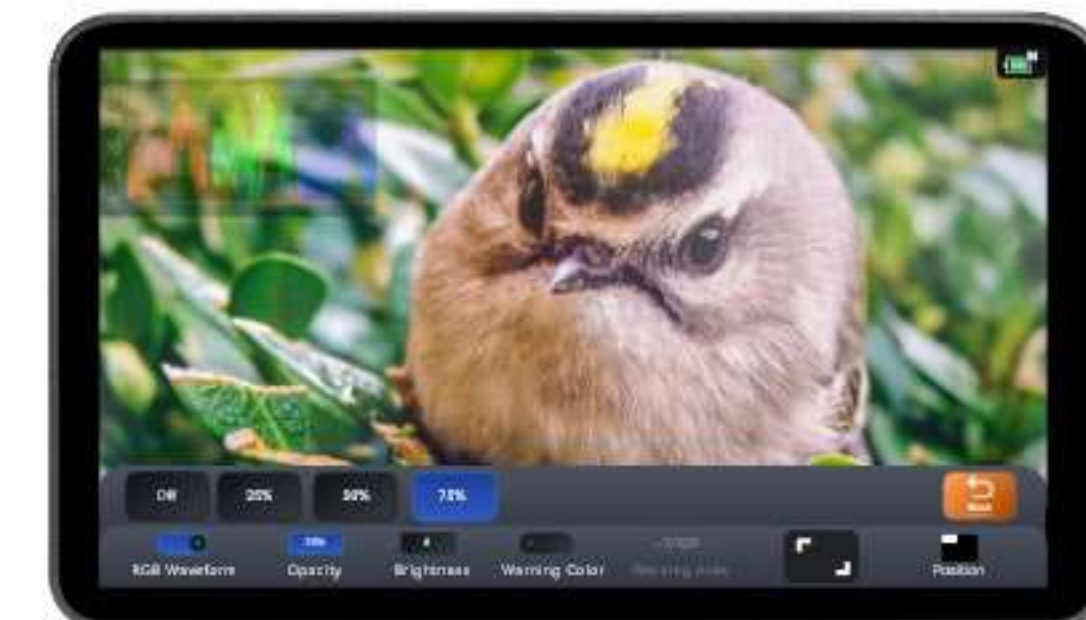
透明度オフ



透明度 25%



透明度 50%



透明度 75%

RGB ウェーブフォーム - 色過多



RGB ウェーブフォームの過露出および露出不足の領域をカスタマイズし、赤色でマークできます。

低域スライダーを左右にスライドして、下限外のピークを調整します。範囲は -7 ~ 109 です。



オーバーロー領域のエフェクト比較



オーバーロー領域のエフェクト比較

高域スライダーを左右にスライドして、上限外のピークを調整します。範囲は -7 ~ 109 です。



オーバーロー領域のエフェクト比較



オーバーロー領域のエフェクト比較

RGB ウェーブフォーム - ズーム



ズーム前



ズーム後

ズーム ボタンをクリックして、RGB ウェーブフォームを拡大または縮小します。

RGB ウェーブフォーム - 位置

1. RGB ウェーブフォームは、以下のいずれかの領域に配置できます:
左上、右上、左下、または右下。
2. 位置ボタンをクリックして、RGB ウェーブフォームの対応する場所を選択します。



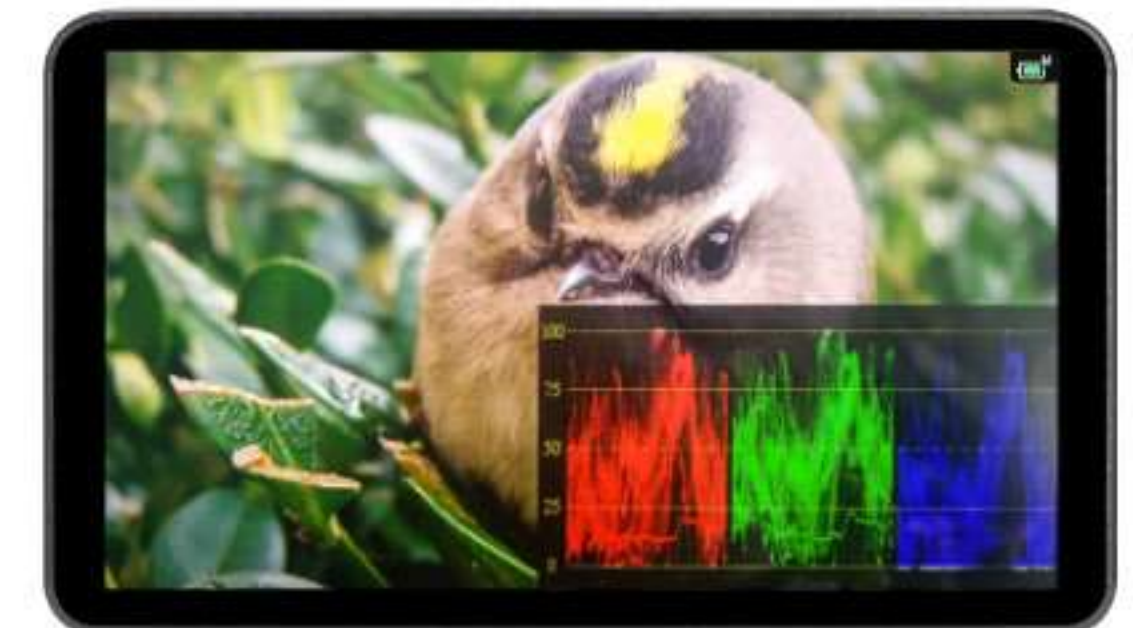
左上



右上



左下



右下

3.6 オーディオ メーター



音量インジケータの紹介

入力音声の音量をリアルタイムでモニターします。

オーディオメーター - 半透明

半透明のボタンをクリックすると、画面上にオーディオが半透明状態で表示されます。



半透明オフ



チャンネル切り替え: チャンネルボタンをクリックして、左または右の再生を選択します。



半透明オン

3.7 輝度ヒストグラム



輝度ヒストグラムの紹介

画像の輝度が画面上部にヒストグラムとして表示されます。

輝度ヒストグラム - 透明度



透明ボタンをクリックすると、輝度ヒストグラムが透明に表示されます。



透明度



透明度オン

輝度ヒストグラム - ズーム



ズームボタンをクリックして、輝度ヒストグラムを拡大または縮小します。



拡大後

輝度ヒストグラム - 位置



輝度ヒストグラムは、以下のいずれかの領域に配置できます：左上、右上、左下、または右下。

位置ボタンをクリックして、輝度ヒストグラムの対応する場所を選択します。



左上



右上



左下



右下

3.8 矩形クリッピング



矩形クリッピングの紹介

クリッピング機能を有効にした後、サイズパラメータを調整して画像をクリッピングします。

0% X開始位置: 水平方向に左または右にクリッピングボックスを移動し、「増分値」を選択すると、画面上でクリッピングボックスをドラッグできます。

0% Y開始位置: 垂直方向に上または下にクリッピングボックスを移動し、「増分値」を選択すると、画面上でクリッピングボックスをドラッグできます。

100% 幅: 幅の値を増やしてクリッピングボックスを拡大します。

100% 高さ: 高さの値を増やしてクリッピングボックスの高さを増やします。

リセット: すべてのクリッピング値を元の設定に戻します。

戻る: 戻るボタンをクリックして前のページに戻ります。

矩形クリッピング



有効化前



有効化後

矩形クリッピング - サイズ調整



3.9 画像キャプチャ

指示

ステップ1: USBドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します。



ステップ2: 「画像キャプチャ」をクリックします。



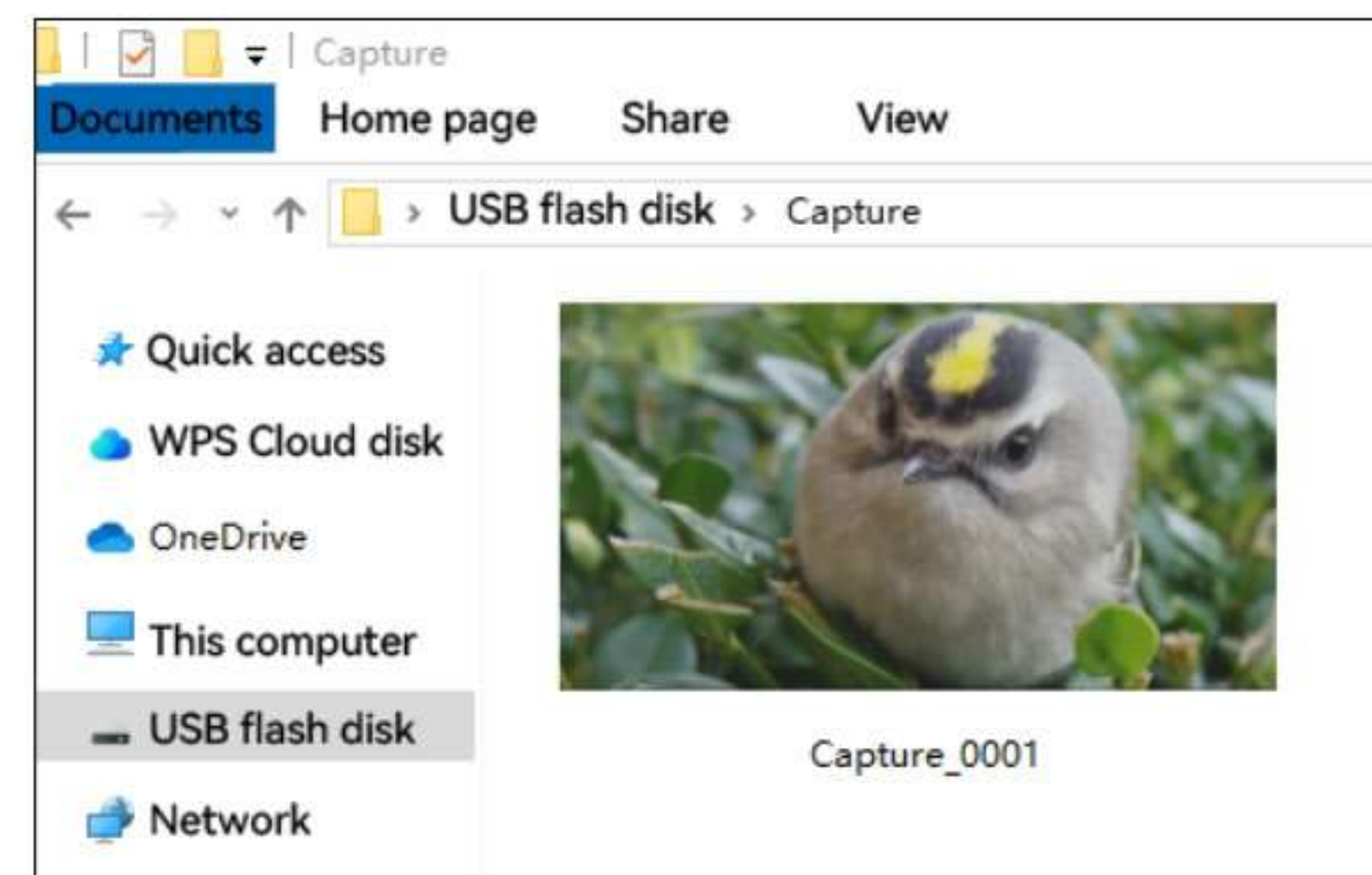
画像キャプチャの紹介

任意のフレームを自由にキャプチャし、USBドライブに保存することができます。

ステップ3: 画像キャプチャを待機します。



ステップ4: 画像キャプチャが完了しました。



3.10 画像オーバーレイ



画像オーバーレイの紹介

キャプチャした画像を使用して、USBドライブを介してリアルタイムビデオと半透明のオーバーレイ比較を行うことができます。

指示

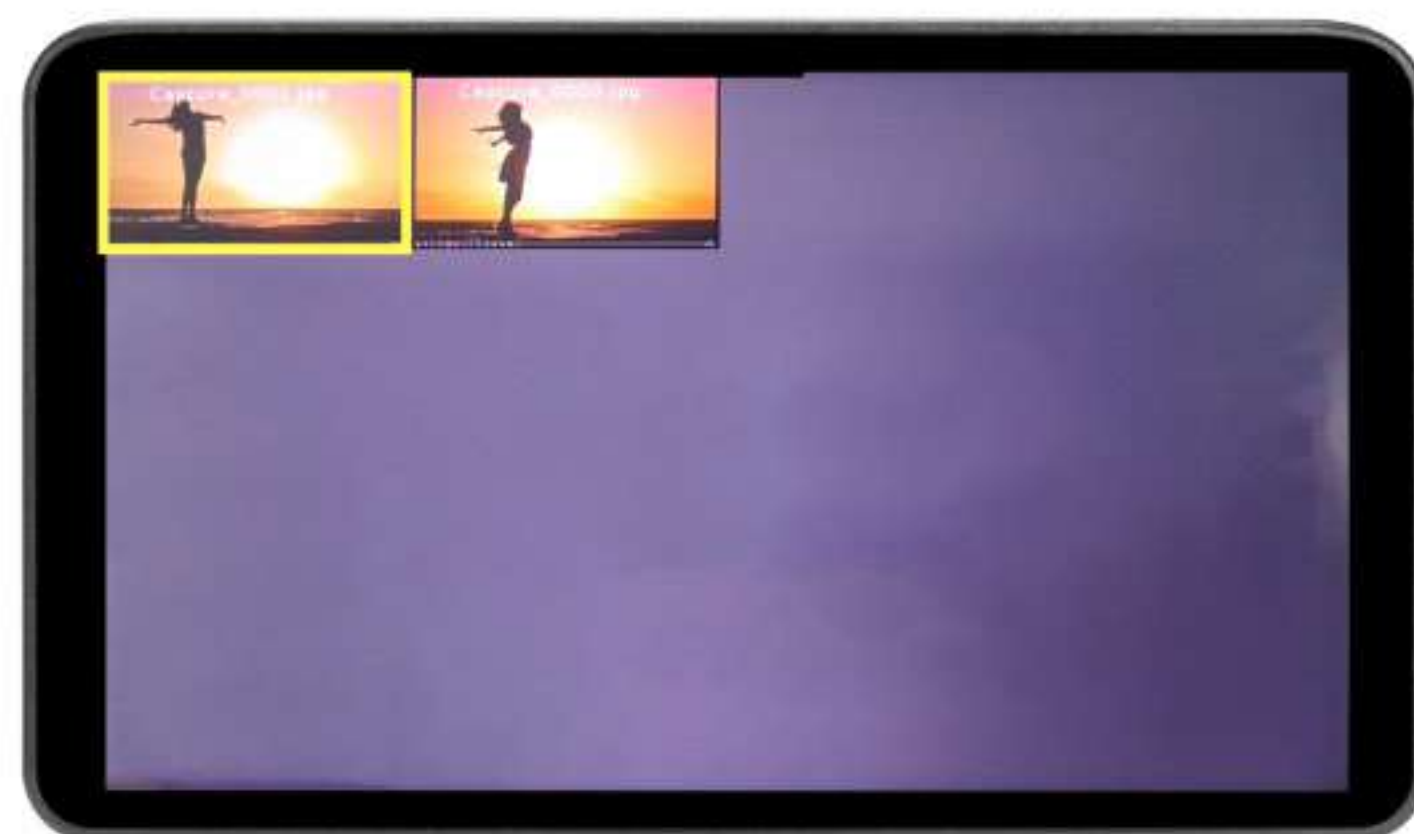
ステップ1: USBドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します。



ステップ2: 「画像オーバーレイ」をクリックします。



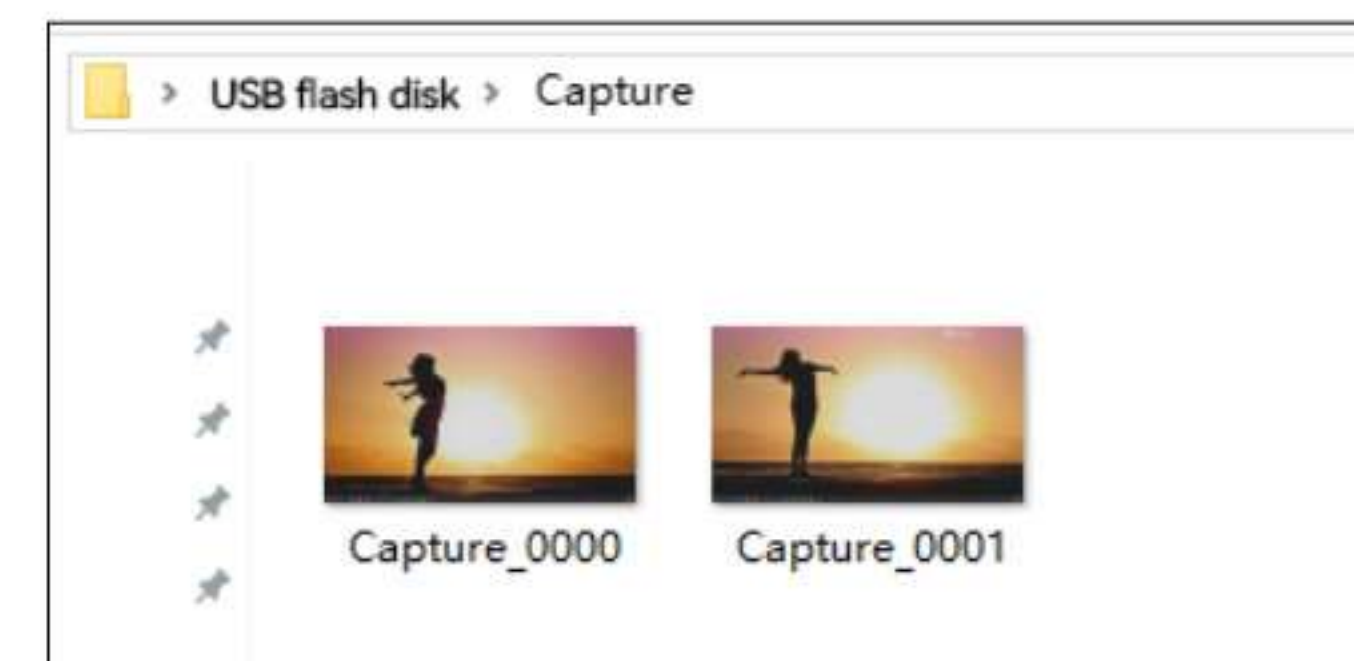
ステップ3: 画像オーバーレイを待機します。



ステップ4: 画像オーバーレイが完了しました。



ヒント: ユーザーは自分の画像をUSBドライブに保存してオーバーレイ表示が可能です。画像要件: 16:9、1920×1080、サイズ1MB以内。それ以外はオーバーレイできません



3.11 HDR(HLG)



HDR(HLG)の紹介

HDR (HLG) ボタンをクリックすると、コントラストが強化され、画質が向上します。



「開く前」



開いた後

3.12 チェック フィールド



チェック フィールドの紹介

画像内の特定の領域や問題点を強調するため、異なる色のオーバーレイを適用できます。



開いた後

チェック フィールド - カラー

「チェック フィールドには4つの色（白黒グラデーション、赤、緑、青）があります。画像の色を調整するには、対応する色の枠を選択します。」



3.13 ガイド

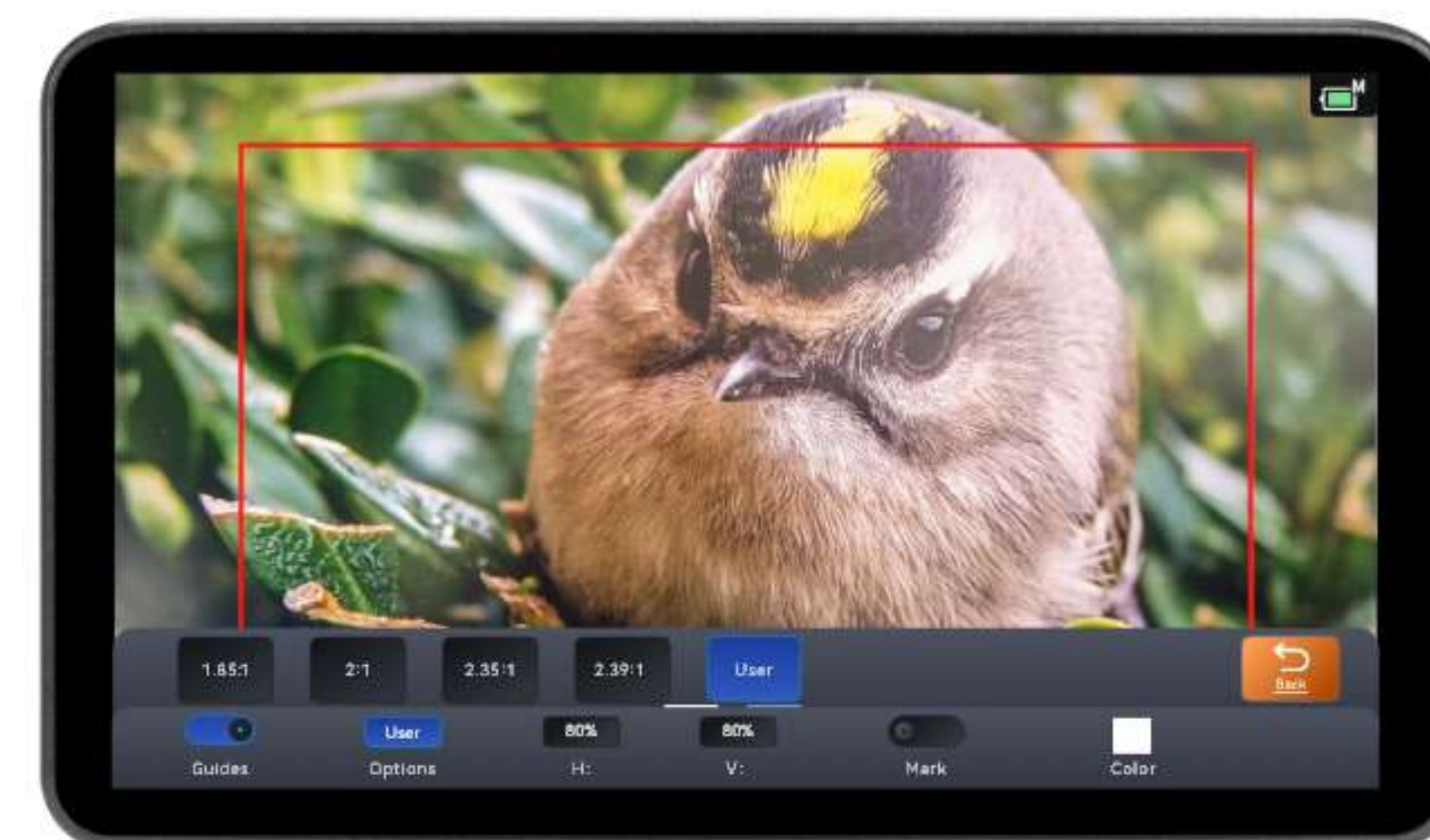


ガイドの紹介

異なるアスペクト比を表示することで、ユーザーは撮影時に最終的な出力形式を理解でき、フレーム内の重要な要素をより良く提示できます。

ガイド - オプション

1. ガイド フレームには (1.85:1、2:1、2.35:1、2.39:1、カスタム) のオプションがあります。
2. 対応するパラメータを選択してフレーム サイズを調整するか、精密な調整のためにパラメータをカスタマイズします。





(80%)



(90%)



(4: 3)



(1: 1)



(16: 9)



(1.85:1)



(9: 16)



(15: 9)



(2.35:1)



(1.5: 1)



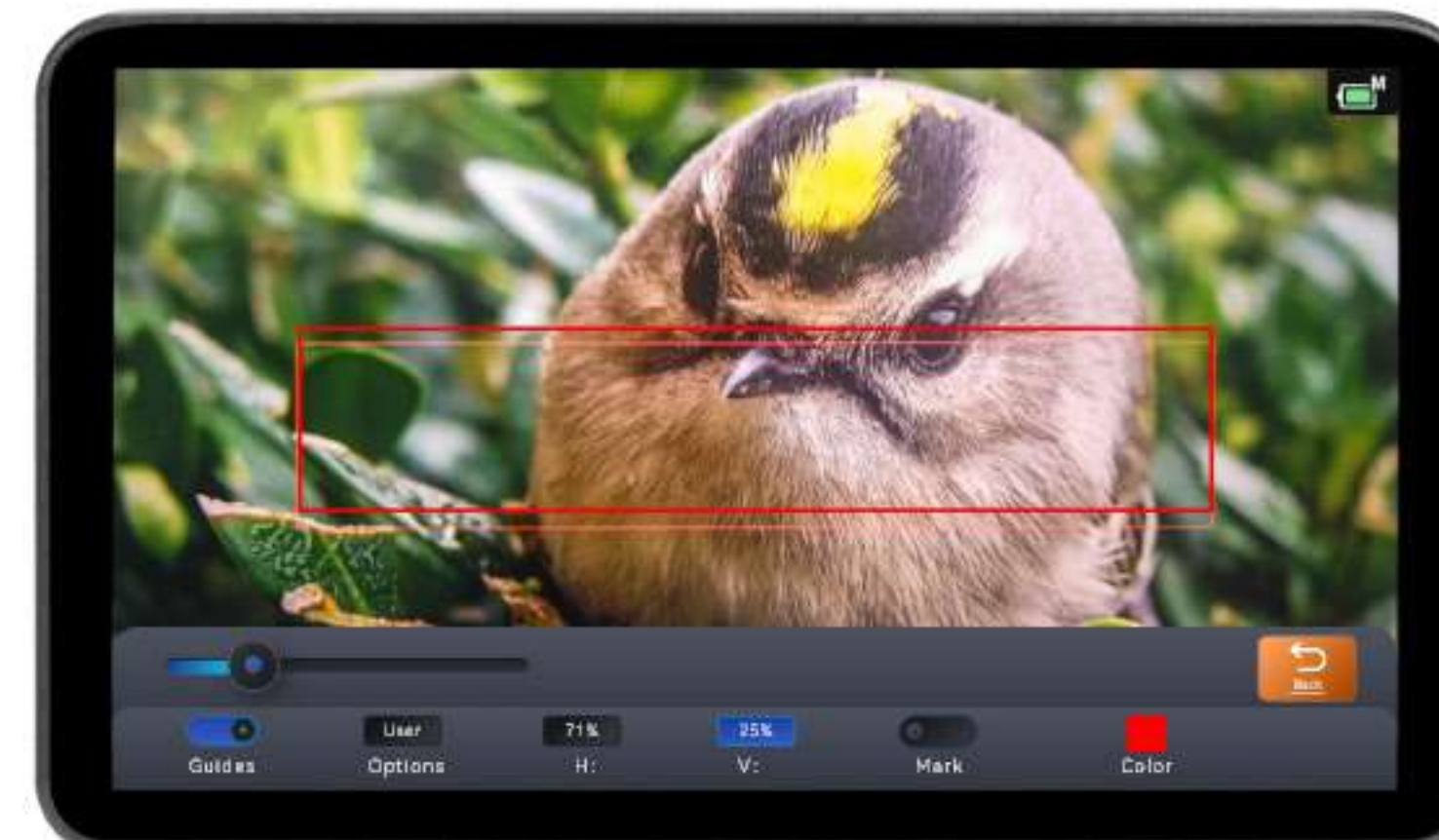
カスタマイズされた水平方向のエフェクト



カスタマイズされた水平方向のエフェクト



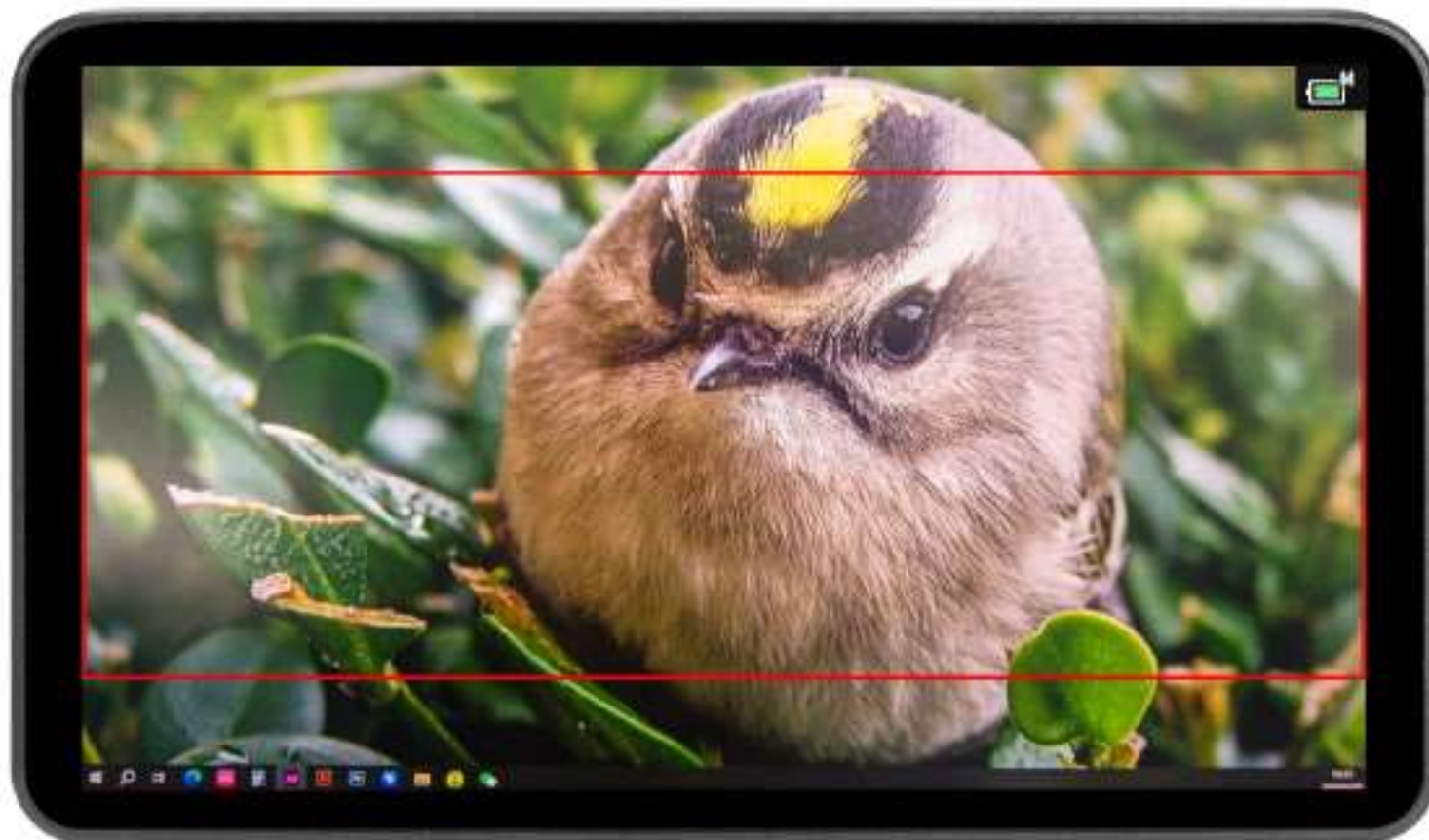
(2:1)



カスタマイズされた垂直方向のエフェクト



カスタマイズされた垂直方向のエフェクト



(2.39:1)

ガイド - マーキング

ガイド フレーム ボタンをクリックすると、画面にはガイド フレーム部分のみが表示されます



マーキング前



マーキング後

ガイド - カラー

ガイド フレームの色には白、赤、緑、青があります。色を調整するには、対応する色の枠を選択します。



白



赤

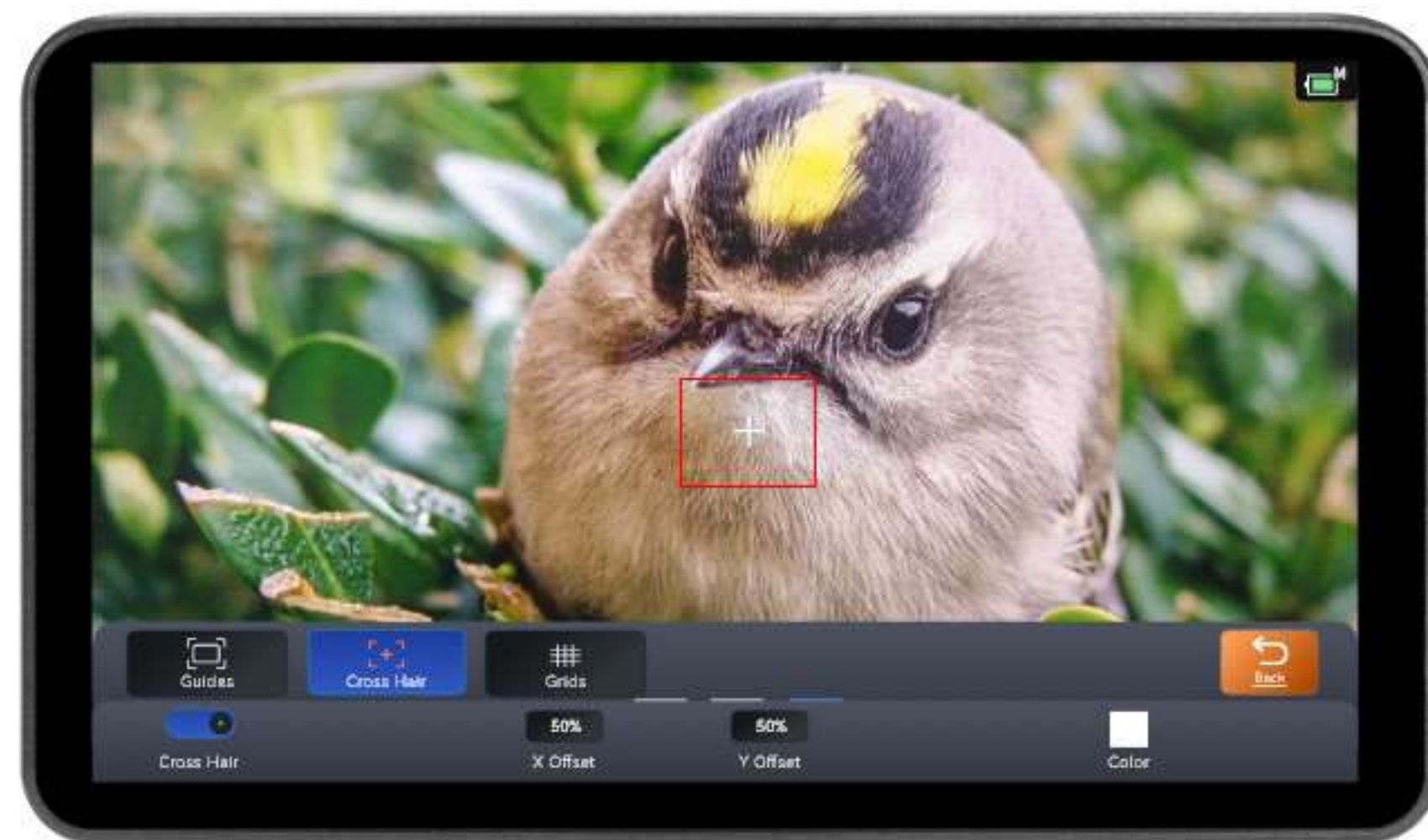


緑



青

3.14 クロスヘア

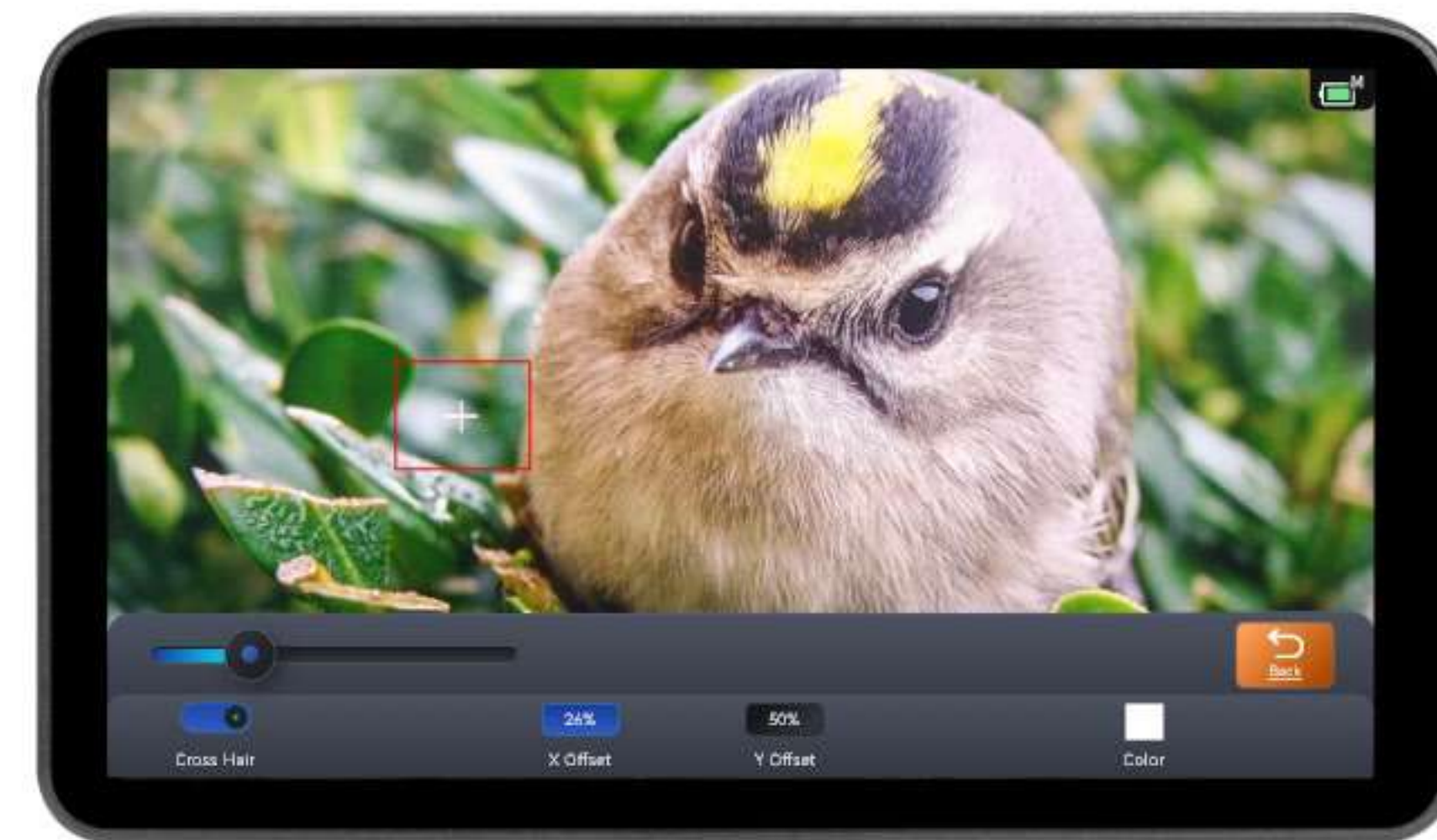


クロスヘアの紹介

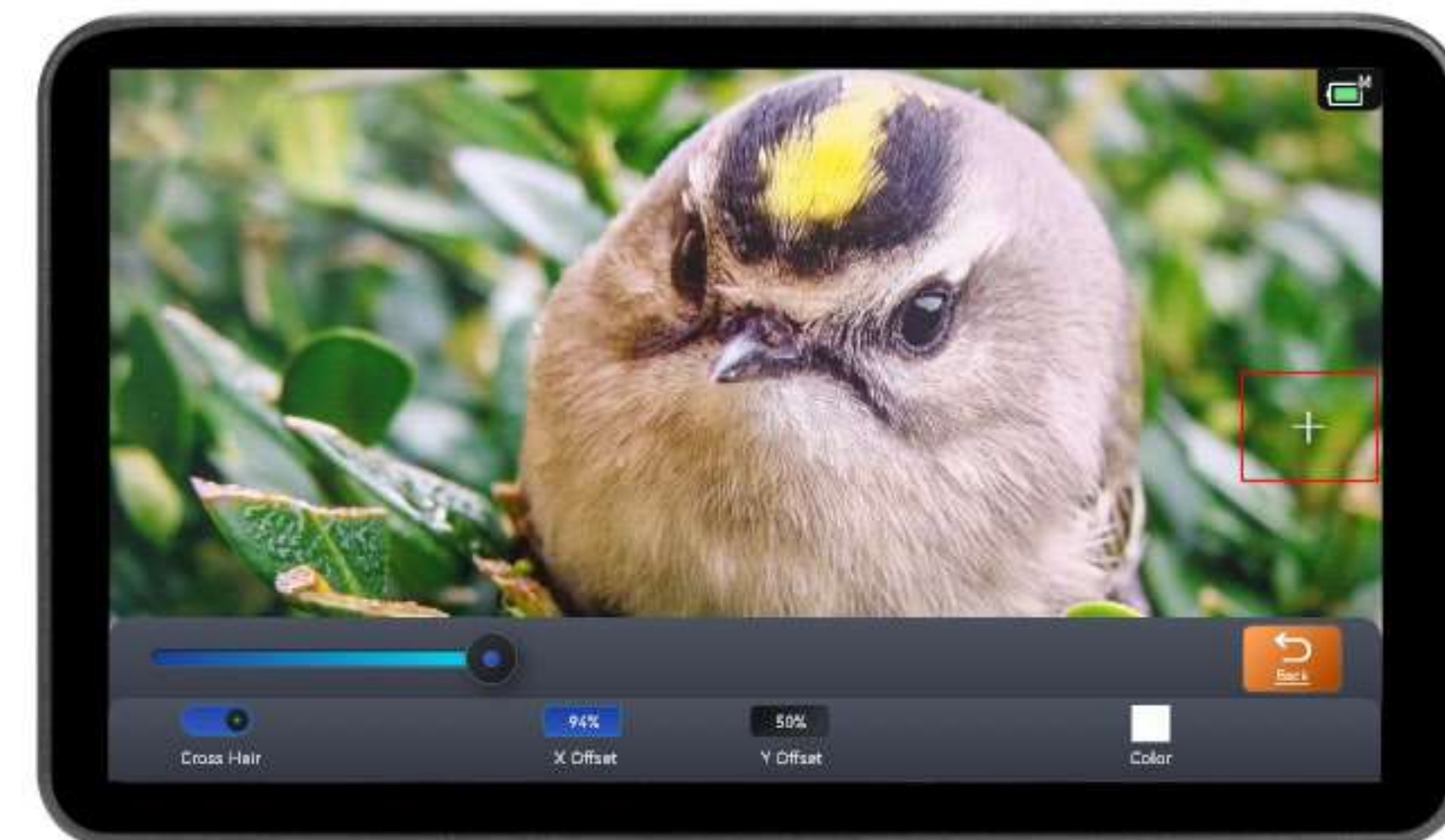
画像上にクロスヘアの基準線を表示し、被写体を正確に位置合わせするのに役立ちます

十字線 - 水平移動

スライダーを動かして十字線を左右に移動させます。



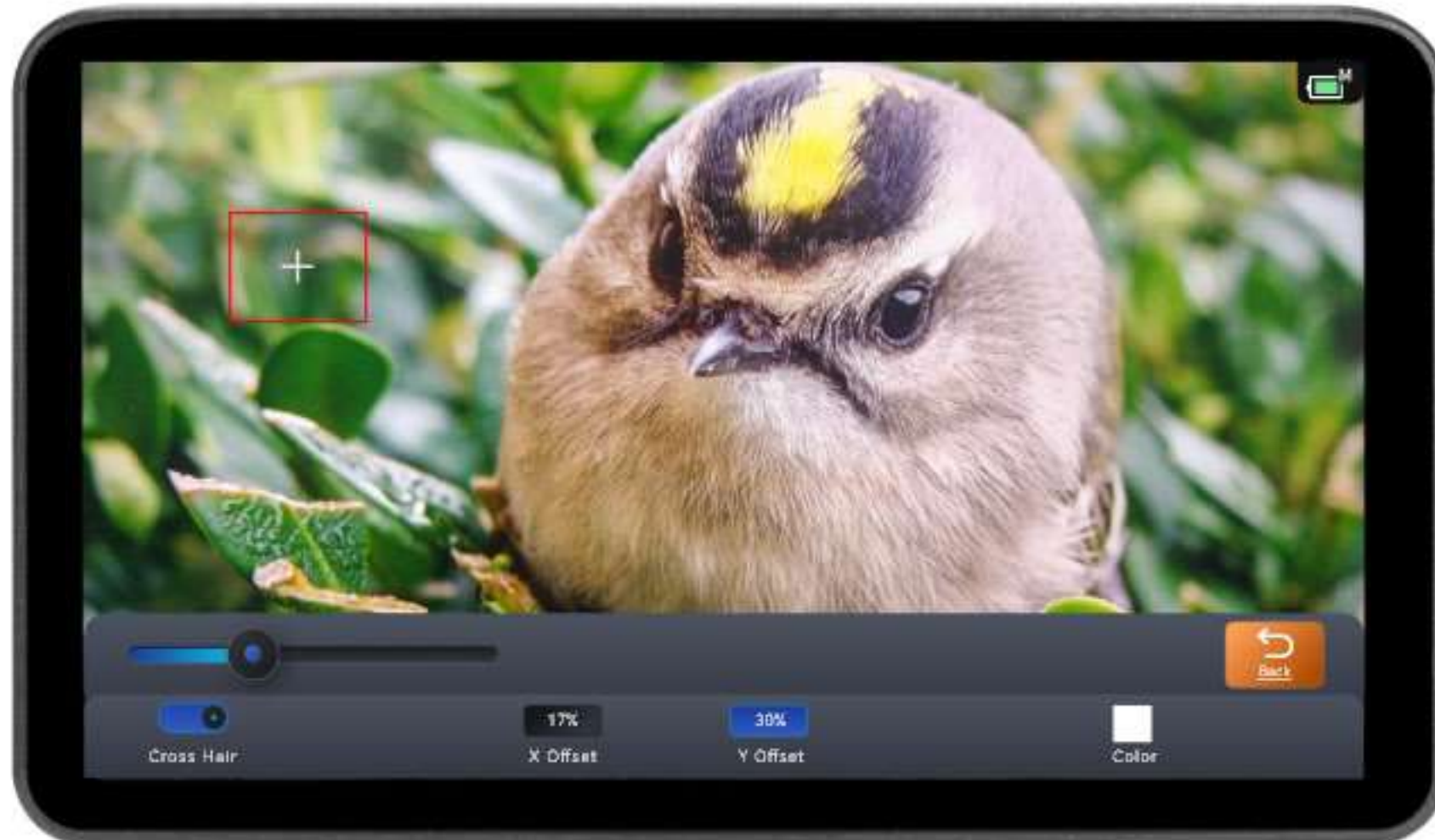
左にスワイプ



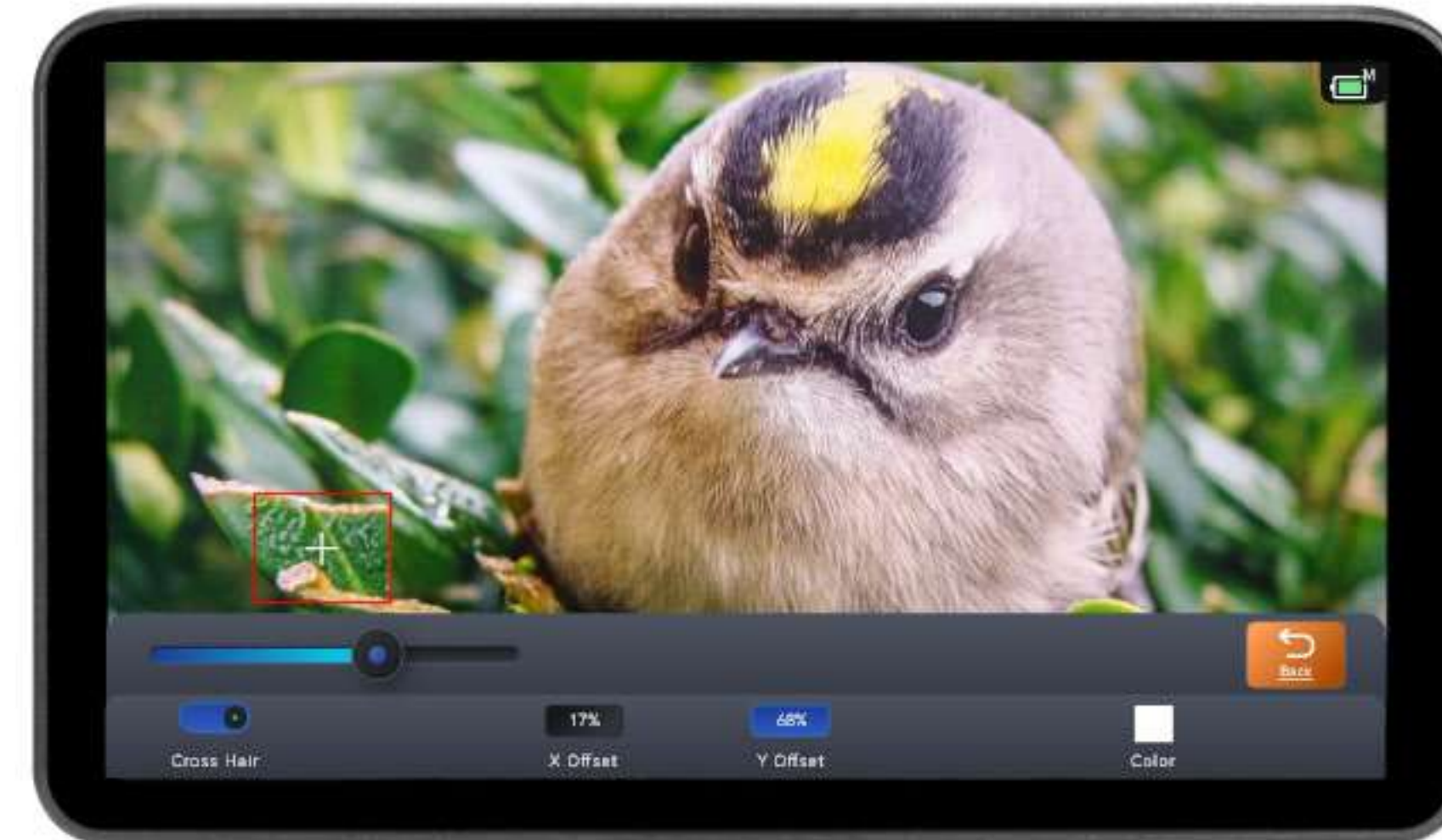
右にスワイプ

十字線 - 垂直移動

スライダーを動かして十字線を上下に移動させます。



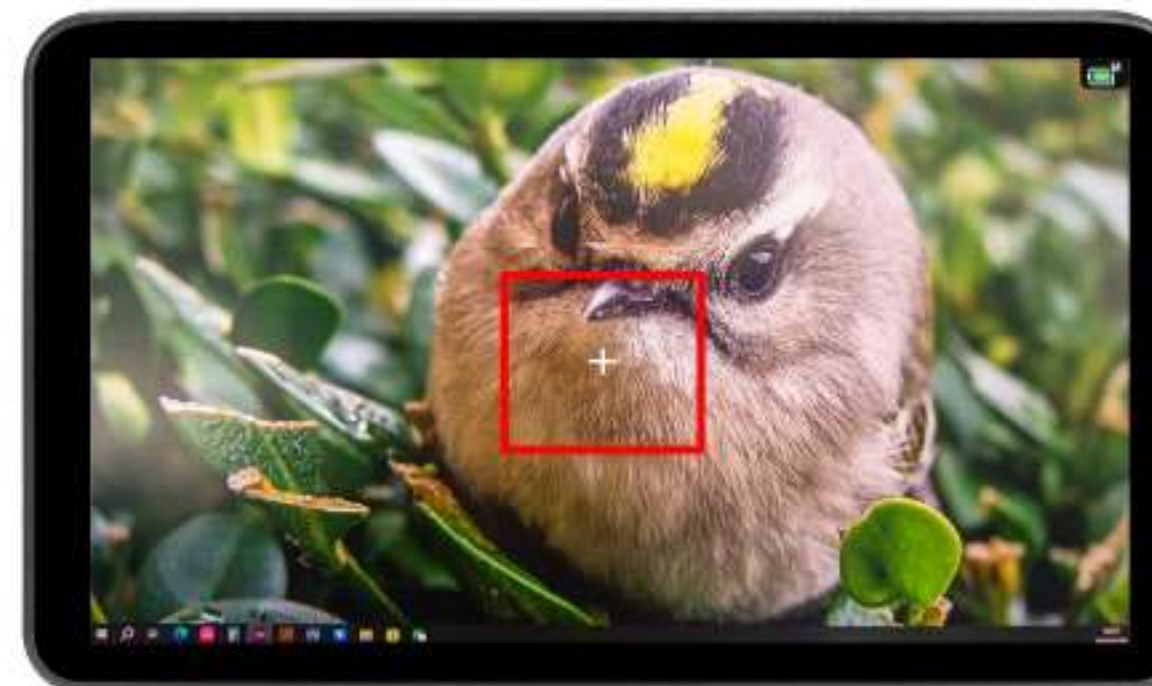
左にスワイプ



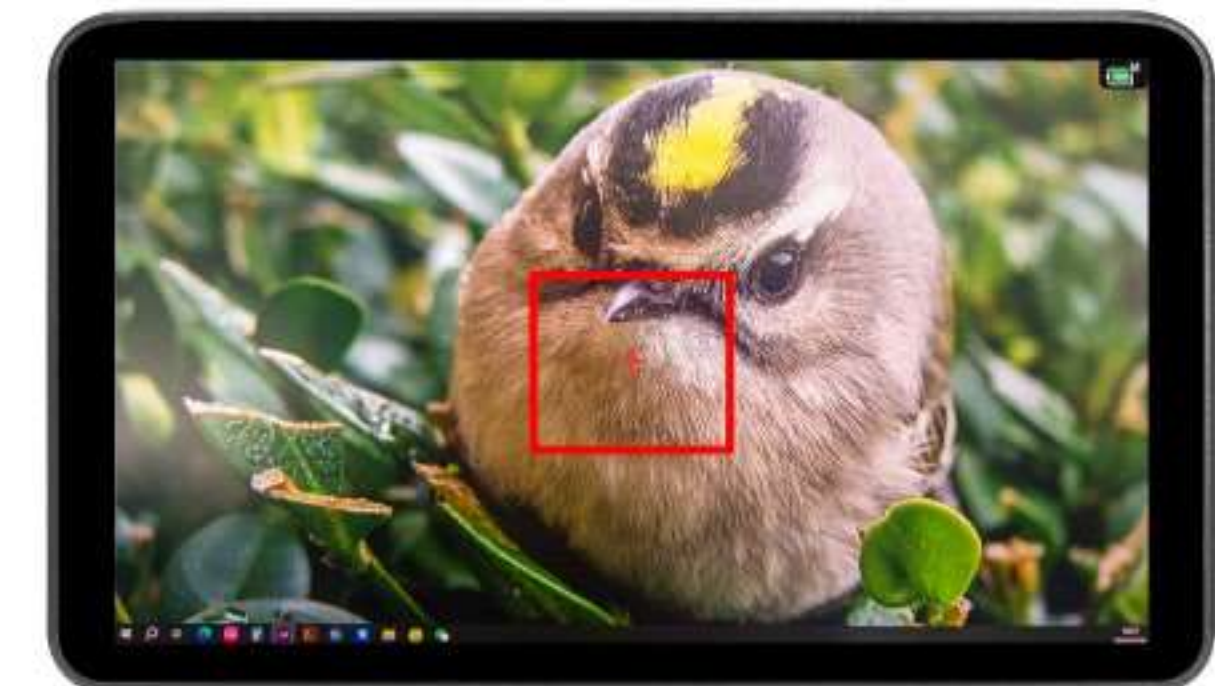
右にスワイプ

十字線 - 色

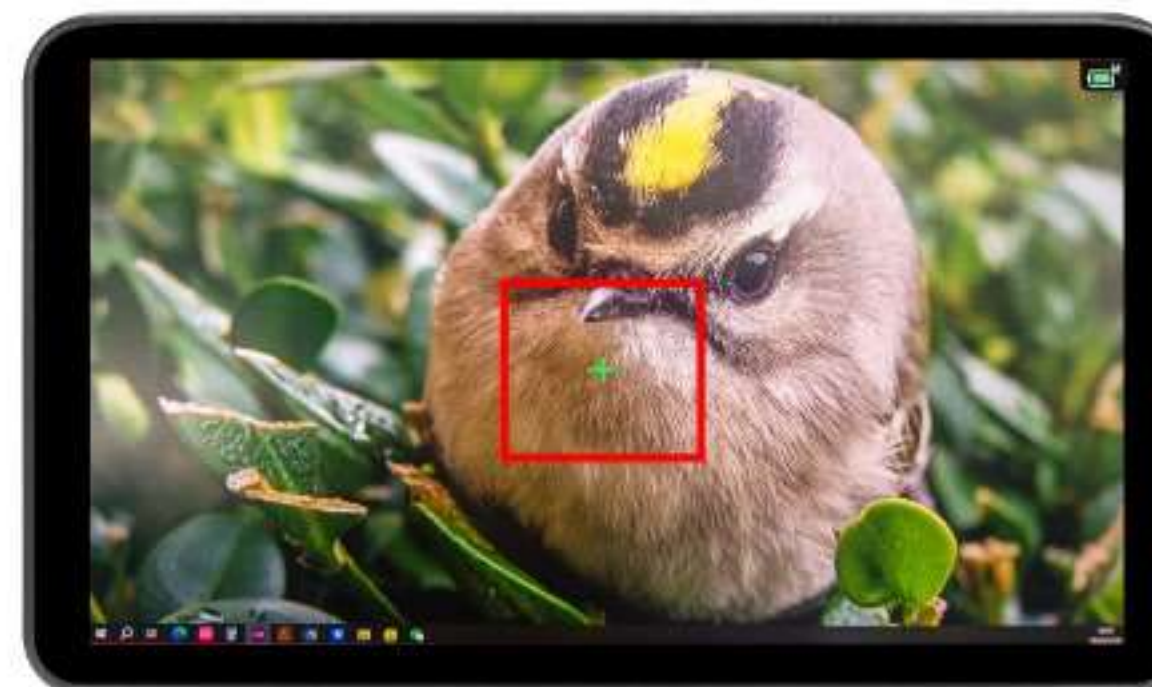
十字線の色には白、赤、緑、青があります。対応する色の枠を選択して色を調整します。



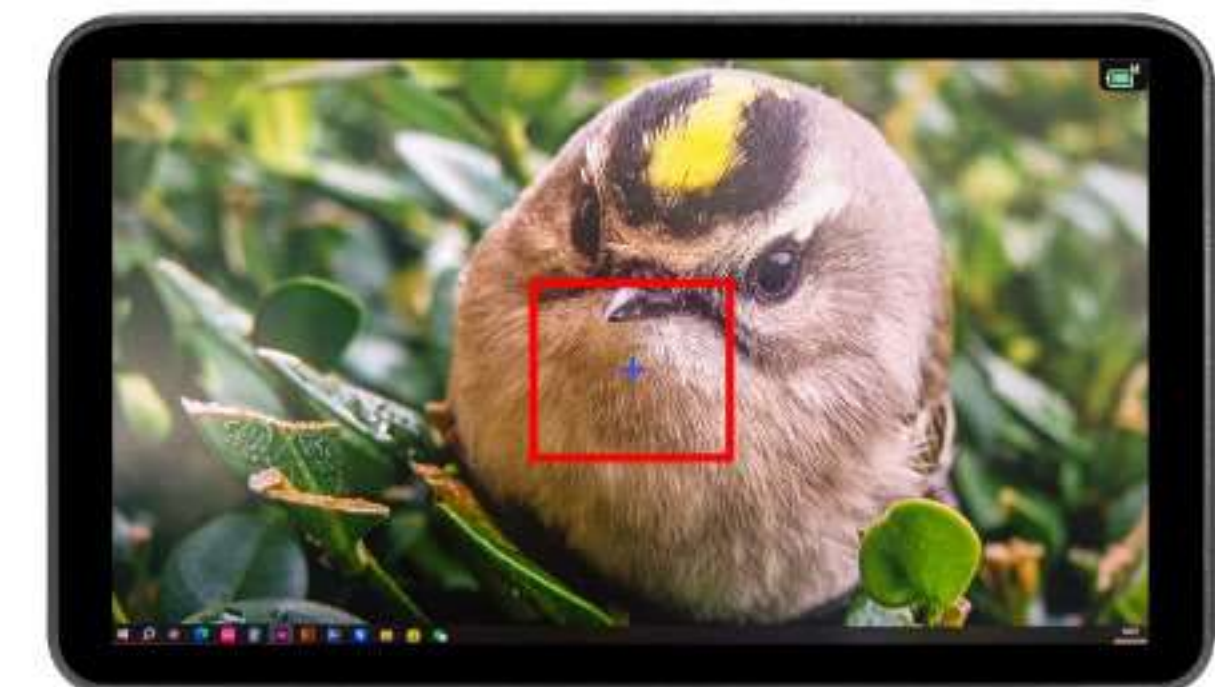
白



赤



緑



青

3.15 グリッド

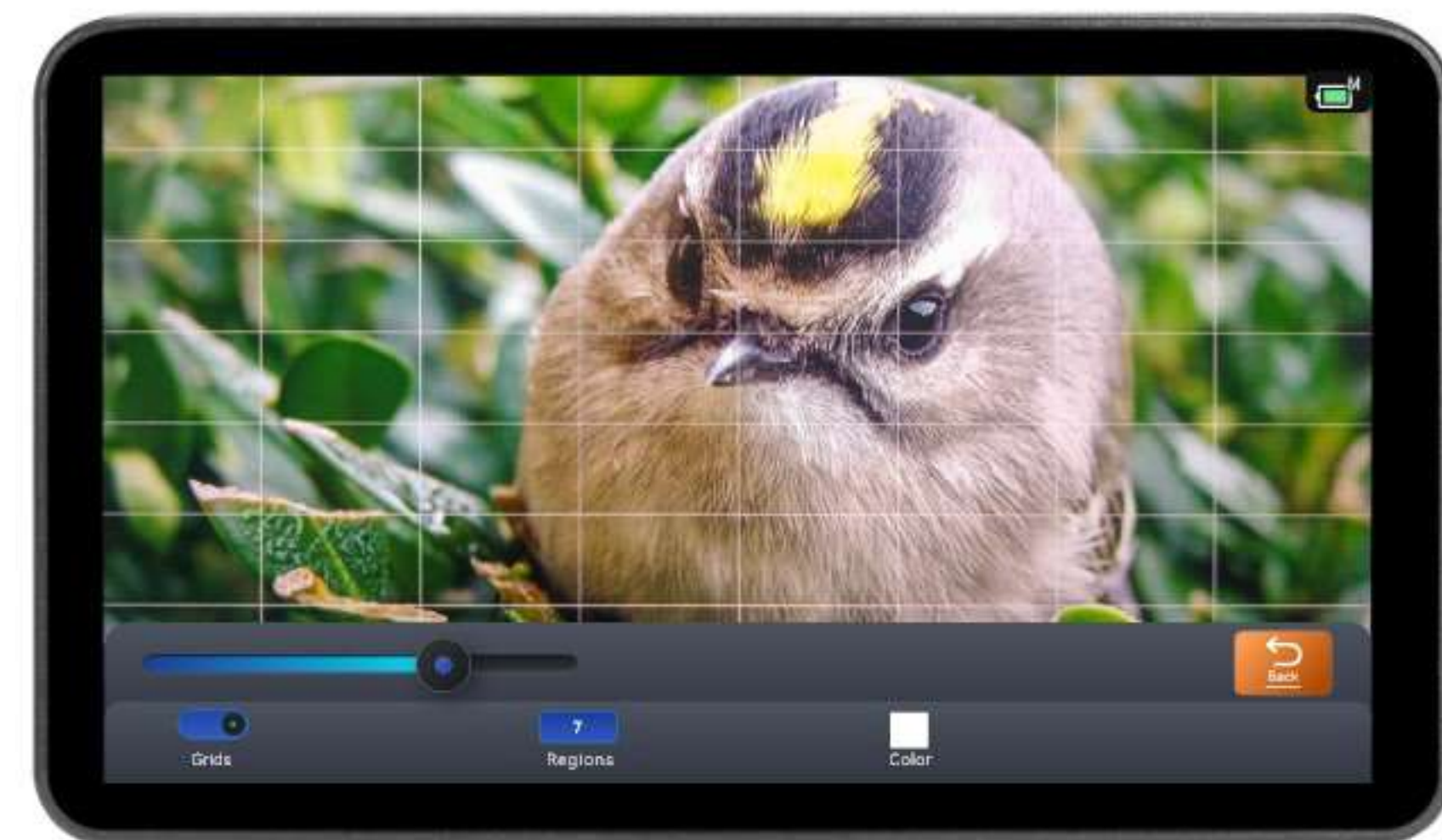
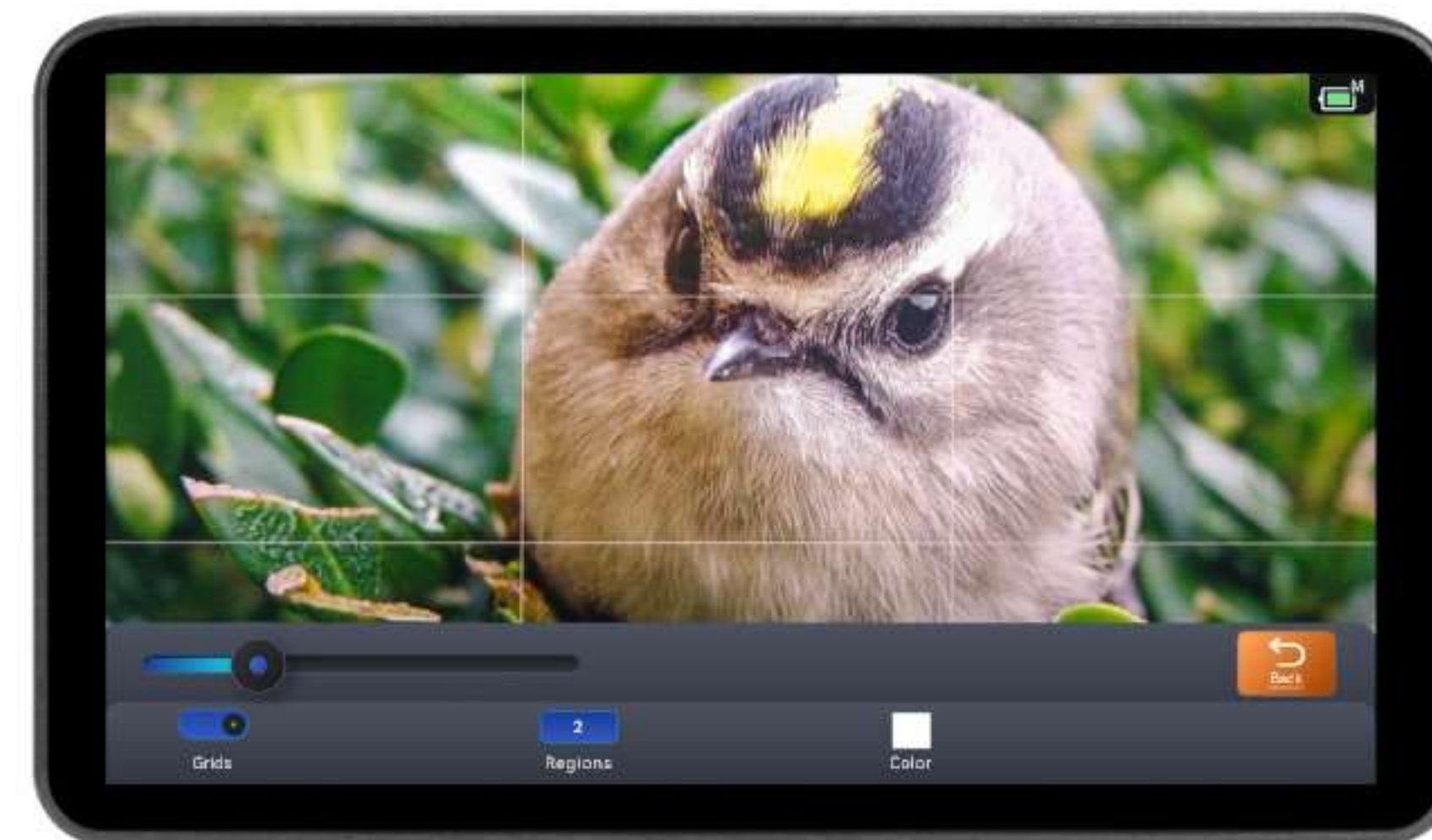


グリッドの紹介

グリッドを有効にすると、画像が均等に分割され、ユーザーがより正確かつ便利に撮影を構図付けるのに役立ちます。

グリッド - 領域

グリッドの範囲をクリックし、スライダーを調整してグリッドの数を増やします。

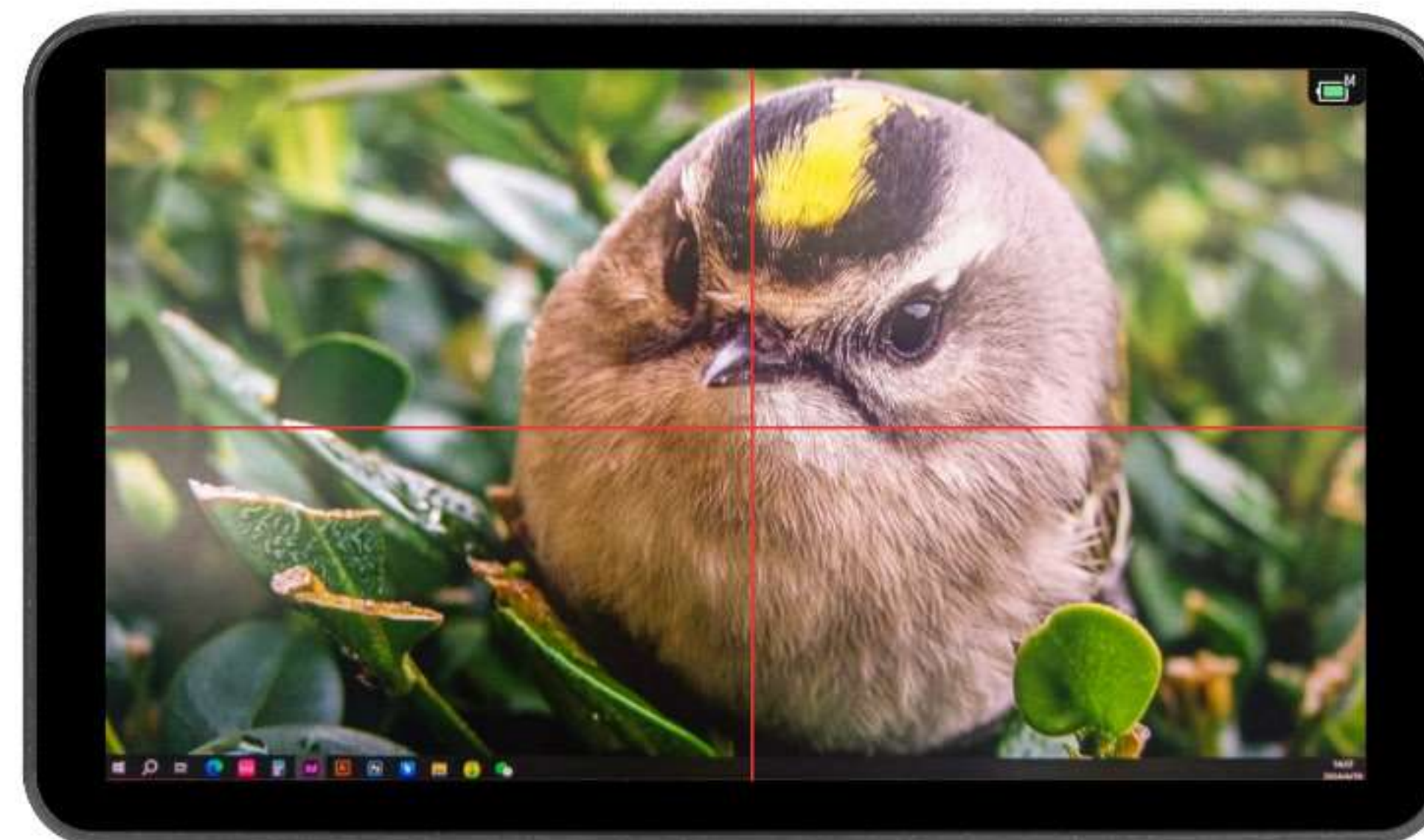


グリッド - 色

グリッドの色には白、赤、緑、青があります。対応する色の枠を選択して色を調整します。



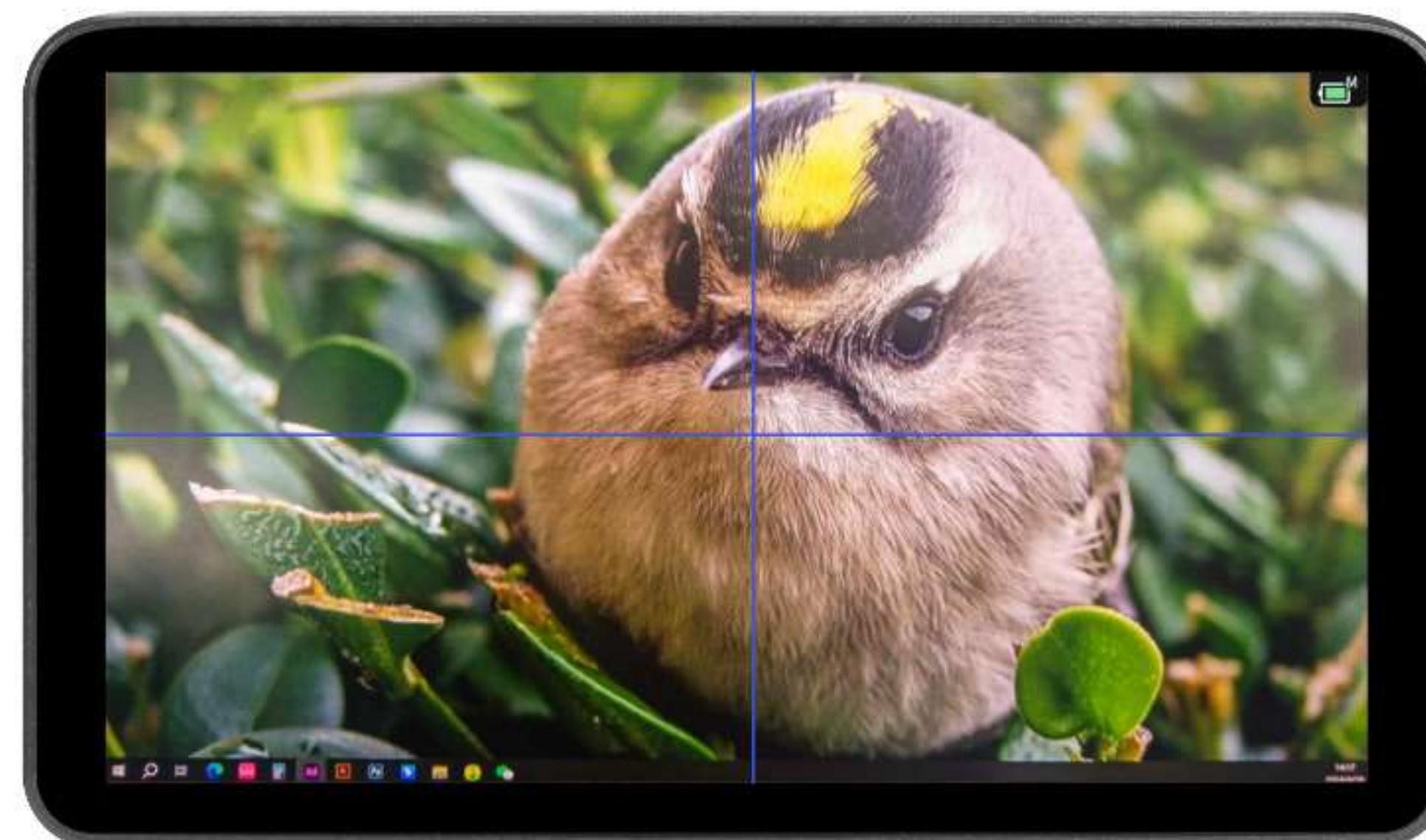
白



赤



緑



青

設定の紹介

4.1 画像



画像の紹介

調整可能な画像パラメータには、明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、色相、逆光の明るさ、歪み、色温度が含まれます。

画像 - 明るさ



画像の明るさ効果の比較

画像の明るさ効果の比較

明るさのアイコンをクリックして左右にスワイプし、0-100の範囲で明るさを調整します。

画像 - コントラスト



画像のコントラスト効果の比較

画像のコントラスト効果の比較

画像のコントラスト効果の比較

コントラストのアイコンをクリックして左右にスワイプし、0-100の範囲で彩度を調整します。

画像 - 彩度



画像の彩度効果の比較

コントラストのアイコンをクリックして左右にスワイプし、0-100の範囲で彩度を調整します。



画像の彩度効果の比較

画像 - シャープネス



画像の彩度効果の比較

シャープネスアイコンをクリックすると、スライダバーを左右に移動してパラメータを調整し、画面の明るさを制御できます。調整可能範囲は0 - 10です。



画像の彩度効果の比較

画像 - 色味



画像の色調エフェクトの比較



画像の色調エフェクトの比較

色味アイコンをクリックすると、スライダバーを左右に移動してパラメータを調整し、画面の明るさを制御できます。調整可能範囲は0 - 100です。

画像 - バックライト



バックライト明るさエフェクトの比較



バックライト明るさエフェクトの比較

バックライト明るさアイコンをクリックすると、スライダーバーを左右に移動してパラメータを調整し、画面の明るさを制御できます。調整可能範囲は1 - 10です。

画像 - 歪み補正



歪みアイコンをクリックして歪みパラメータを調整し、デフォルト設定（1.00X、1.33X、1.42X、1.50X、1.60X、1.66X、1.80X、1.85X、2.00X、2.35X、およびユーザー設定4.00X）を使用して画像サイズを変更します。



(1.00X)



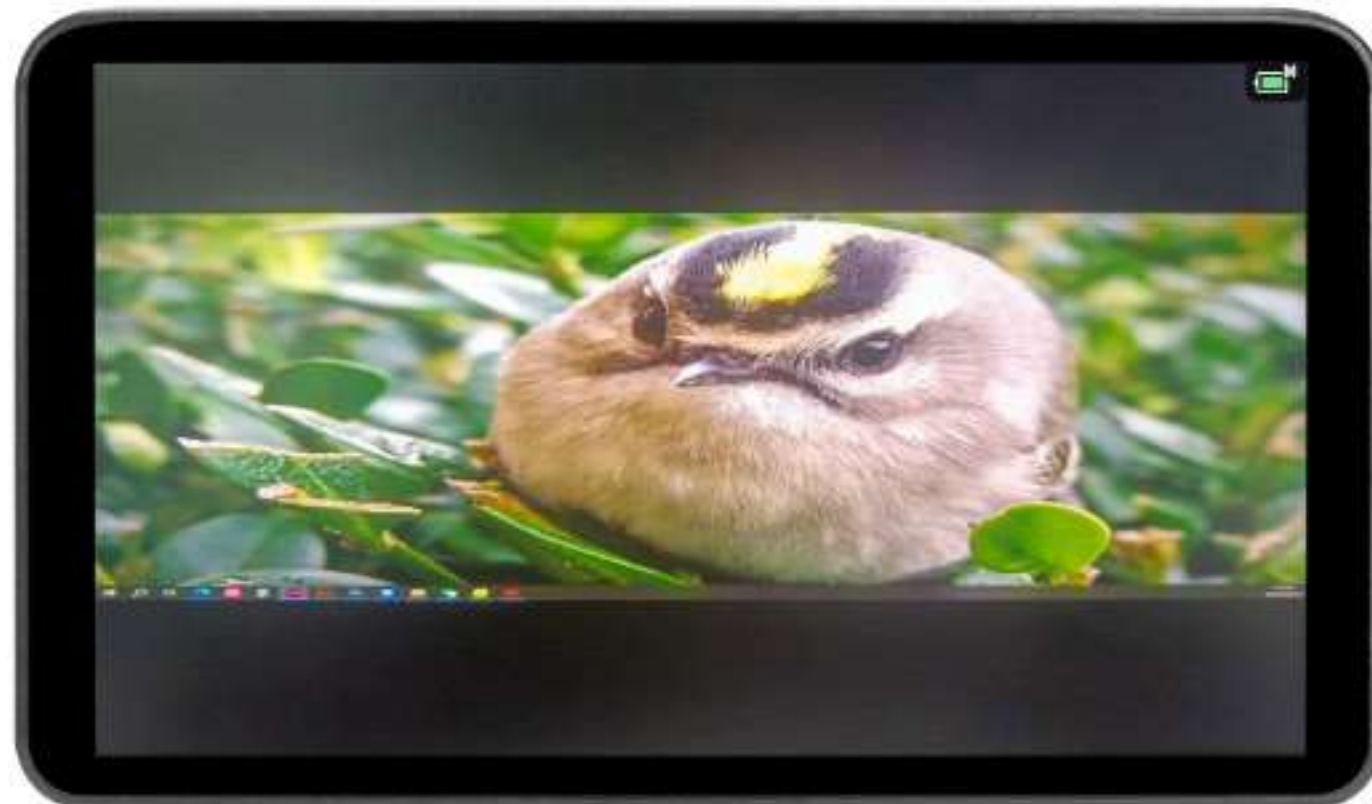
(1.33X)



(1.42X)



(1.50X)



(1.60X)



(1.66X)



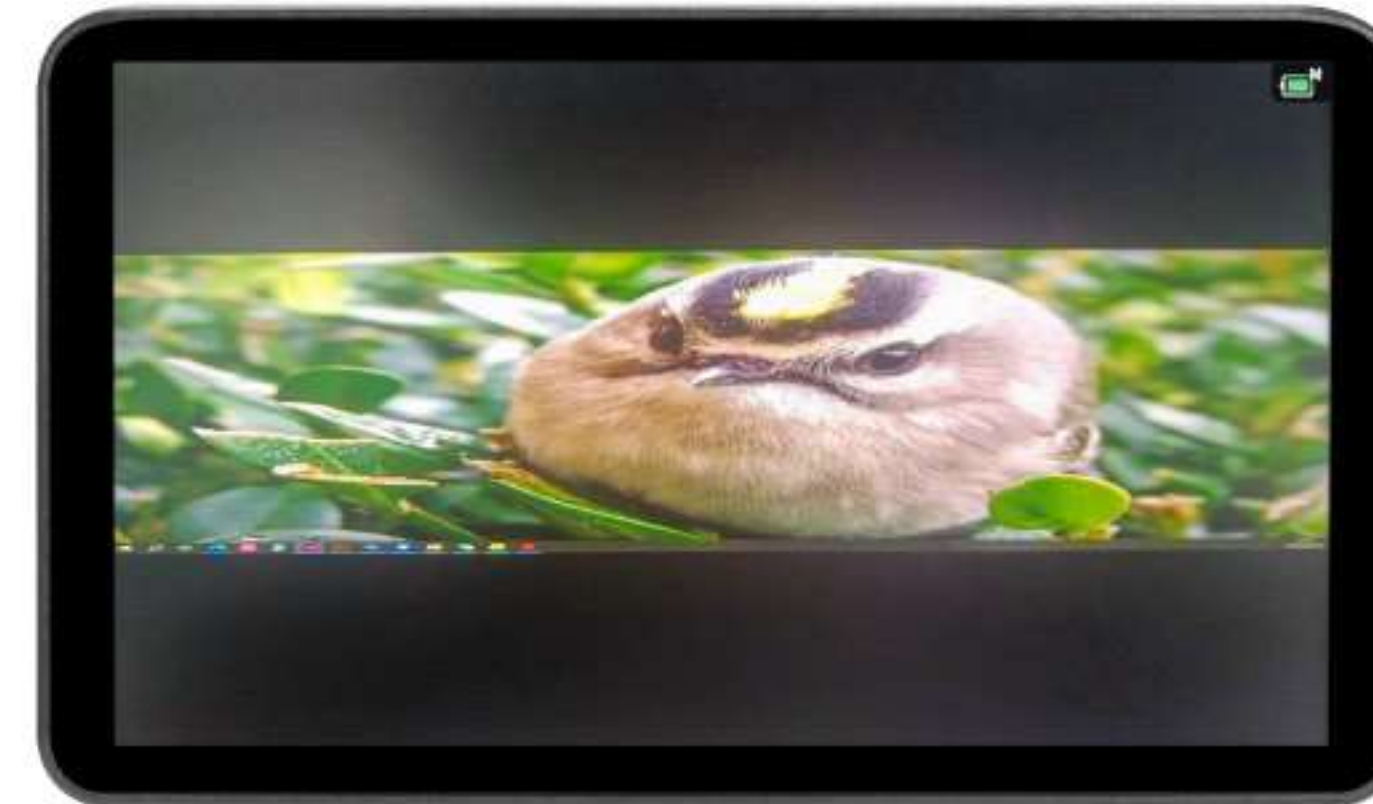
(1.80X)



(1.85X)



(2.00X)



(2.35X)



(User 4.00X)

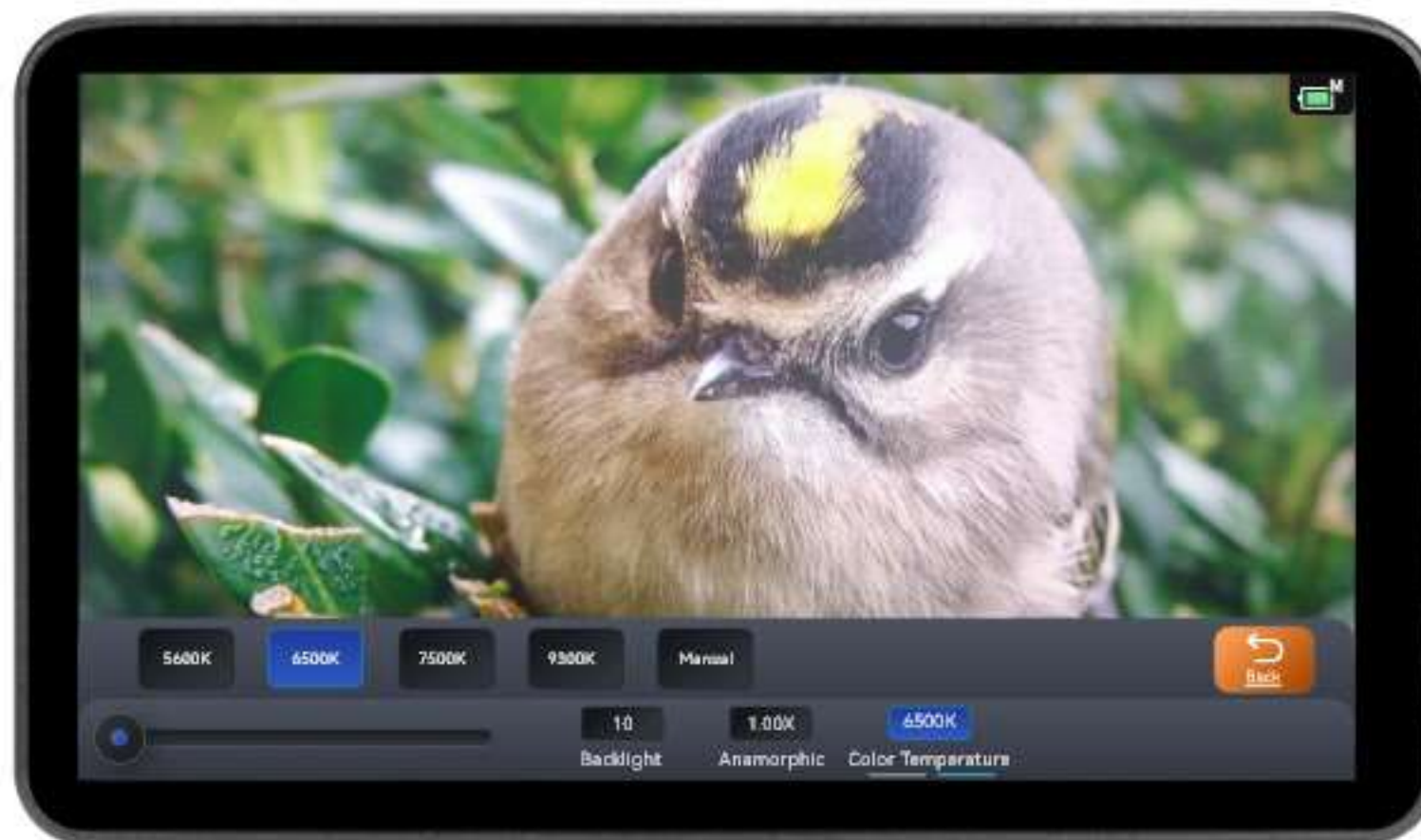
画像 - 色温度



Manually set to customize the image color temperature parameters, the image default color temperature parameters include (5600K, 6500K, 7500K, 9300K, etc.)



(5600K)



(6500K)



(7500K)



(9300K)

4.2 表示反転



表示反転の概要

メニューバーまたは画像を垂直および水平方向に反転させます

表示反転 - メニュー反転モード

表示反転アイコンをクリックすると、表示反転モードには水平反転と垂直反転が含まれます。ユーザーは実際の状況に応じてメニューの反転方向を選択できます。



水平反転



垂直反転

表示反転 - 表示反転モード

表示反転アイコンをクリックすると、表示反転モードには水平反転と垂直反転が含まれます。ユーザーは実際の状況に応じてメニューの反転方向を選択できます。



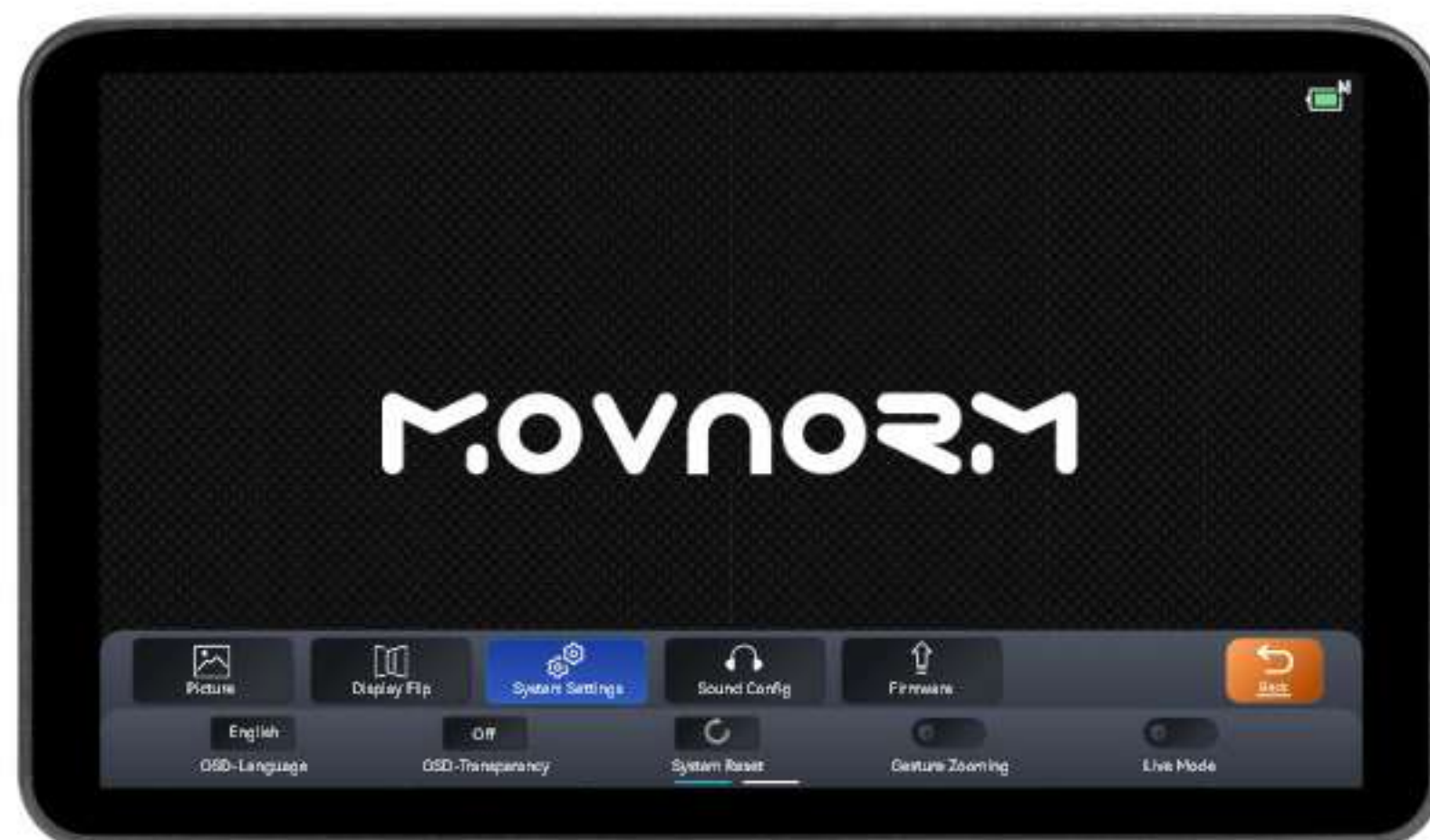
水平反転



垂直反転



4.3 システム設定

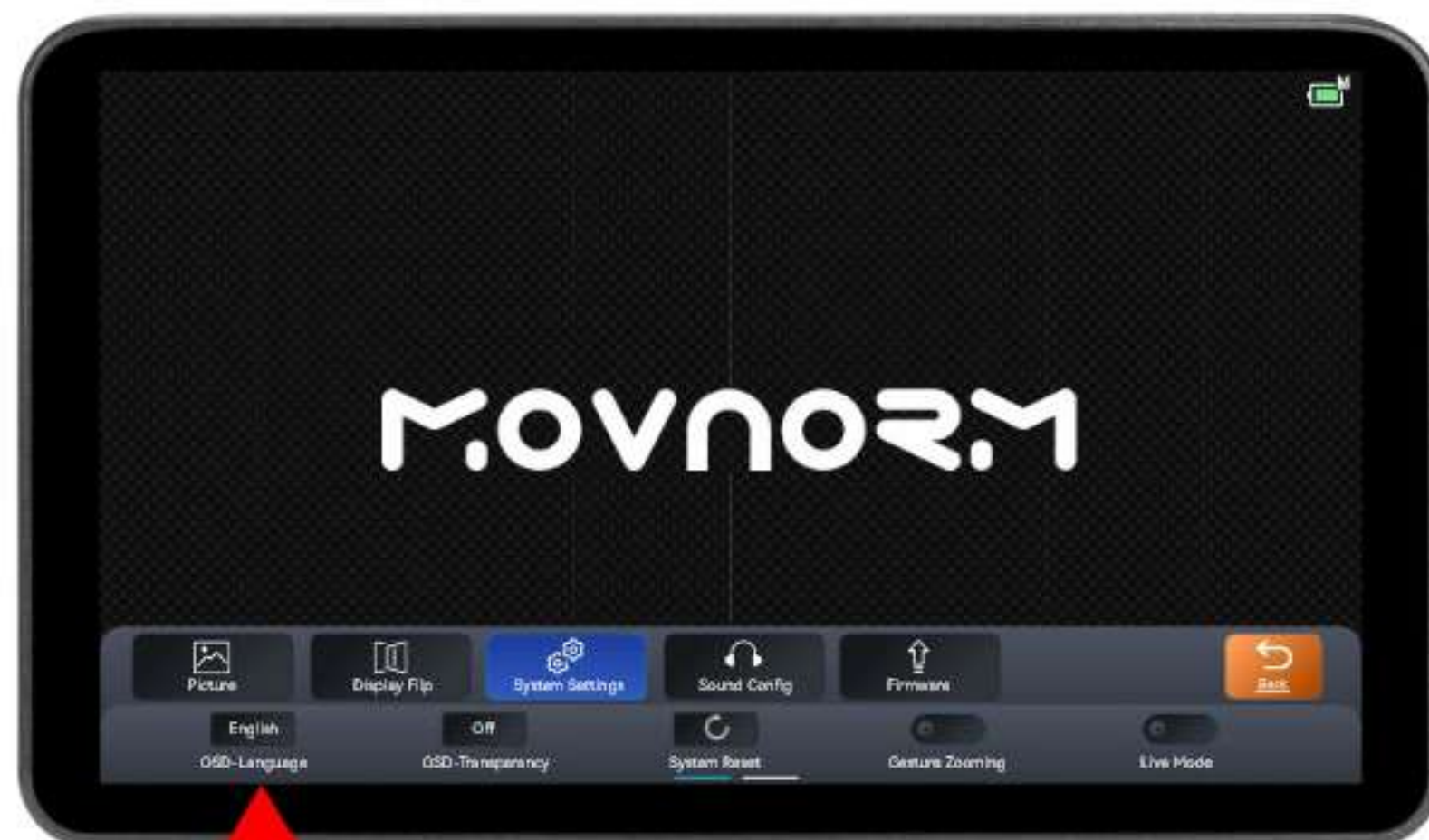


システム設定の概要

システム設定には、メニュー言語、メニュー透明度、システムリセット、ジェスチャーズーム、ライブモードメニューエフェクト、および記録ボタンの位置が含まれます。

システム設定 - メニュー言語

メニュー言語をクリックしてメニュー言語オプションに入り、ユーザーは実際の状況に応じて適切な言語を選択できます。メニュー言語には（英語、繁体字中国語、日本語、簡体字中国語、ロシア語、フランス語、スペイン語）が含まれます。



English



繁體中文



日本語



简体中文



Русский



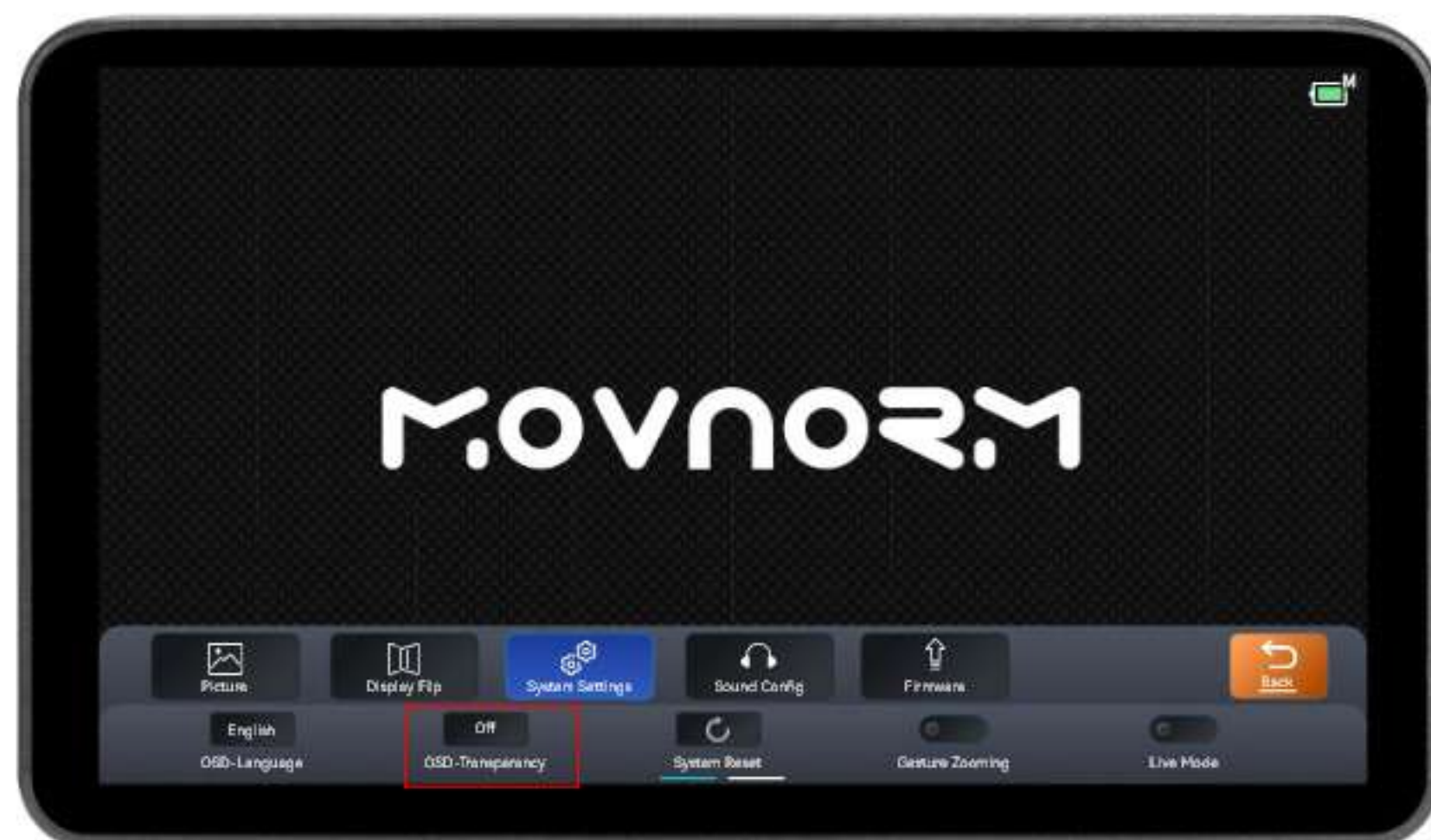
Français



Español

システム設定 - OSD透明度

メニュー透明度アイコンをクリックすると、画面の変化においてメニューの透明度を調整できます。メニュー透明度には、メニュー透明度オフ、低メニュー透明度、メニュー透明度、高メニュー透明度が含まれ、ユーザーは実際のニーズに応じて選択できます。



オフ



低



中

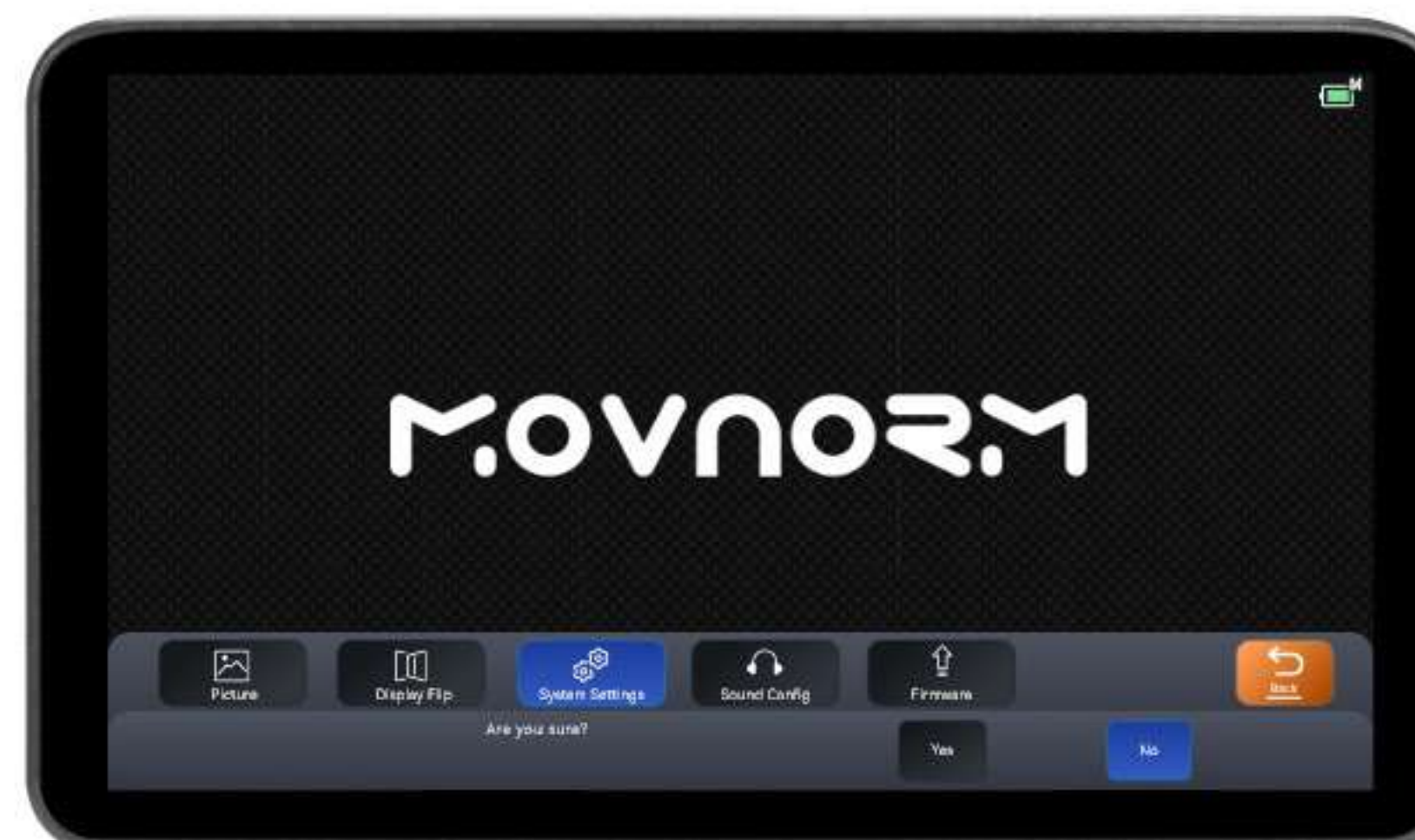


高

システム設定 - システムリセット

システムリセット: システムの初期パラメータをリセットします。

システムリセットアイコンをクリックして、システムをリセットするかどうかを選択します。



システム設定 - ジェスチャースーム

ジェスチャースームアイコンを開き、2本の指を一緒にして画面に置き、両側に広げるか収縮させることで、画面のサイズを調整できます。



有効化前



有効化後

システム設定 - ライブモード

オンにすると、輝度波形を開いた後に画像設定を調整できます。オフにすると、偽色、輝度波形（各種）、ベクトル波形、およびタイムコードの機能をオフにできます。



輝度波形



スライダーバーを左右にスライドして
画像パラメータを調整します。

システム設定 - OSD アニメーション

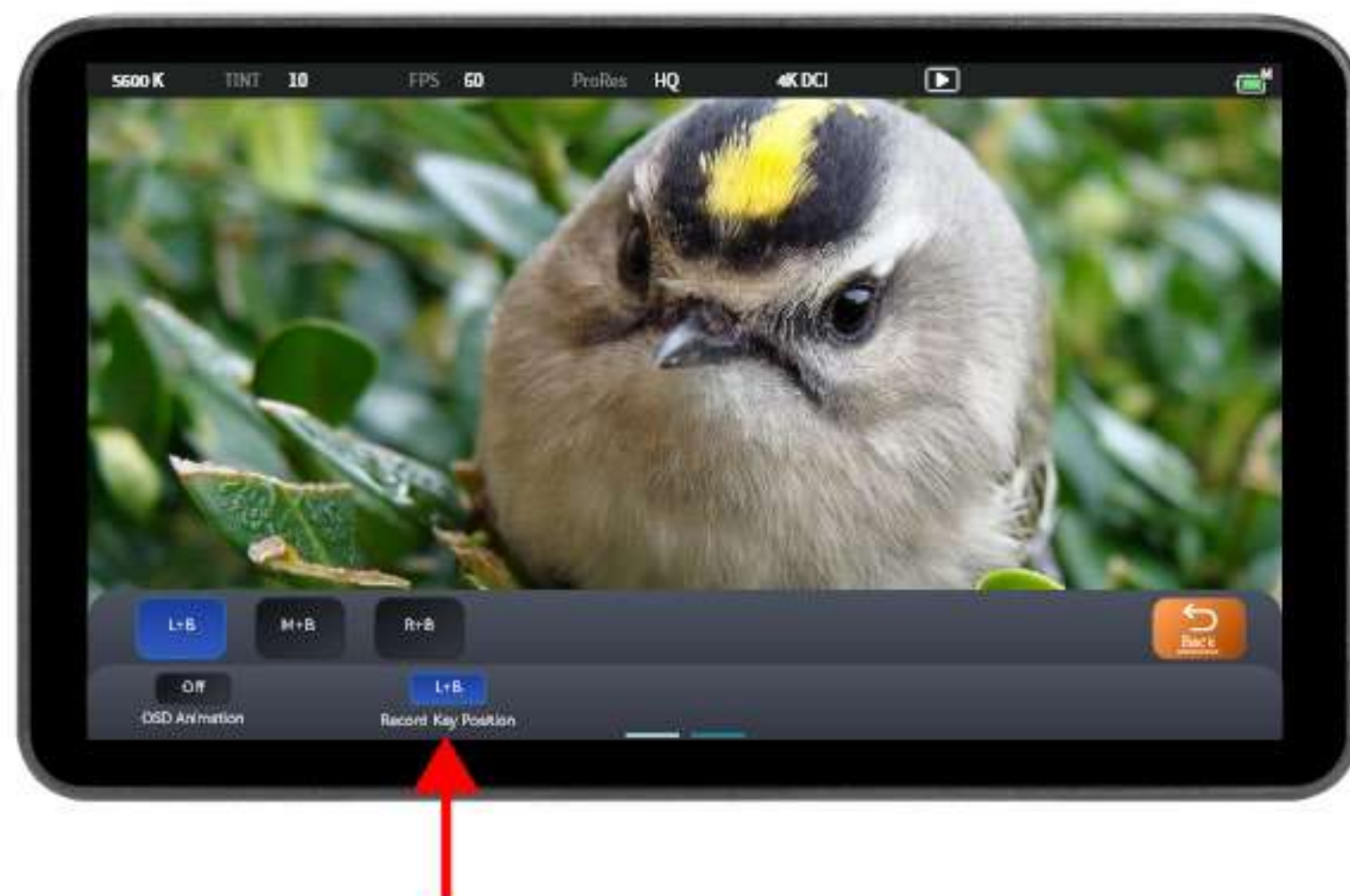
メニューエフェクトがオンになると、メニューバーのトグル画面はフェードイン・アウトのトグルになります。



メニューエフェクト

システム設定 - 録音キーの位置

録音キーの位置は、左下、中央、または右下にすることができます。
必要に応じて録音キーの位置を調整できます。



左下

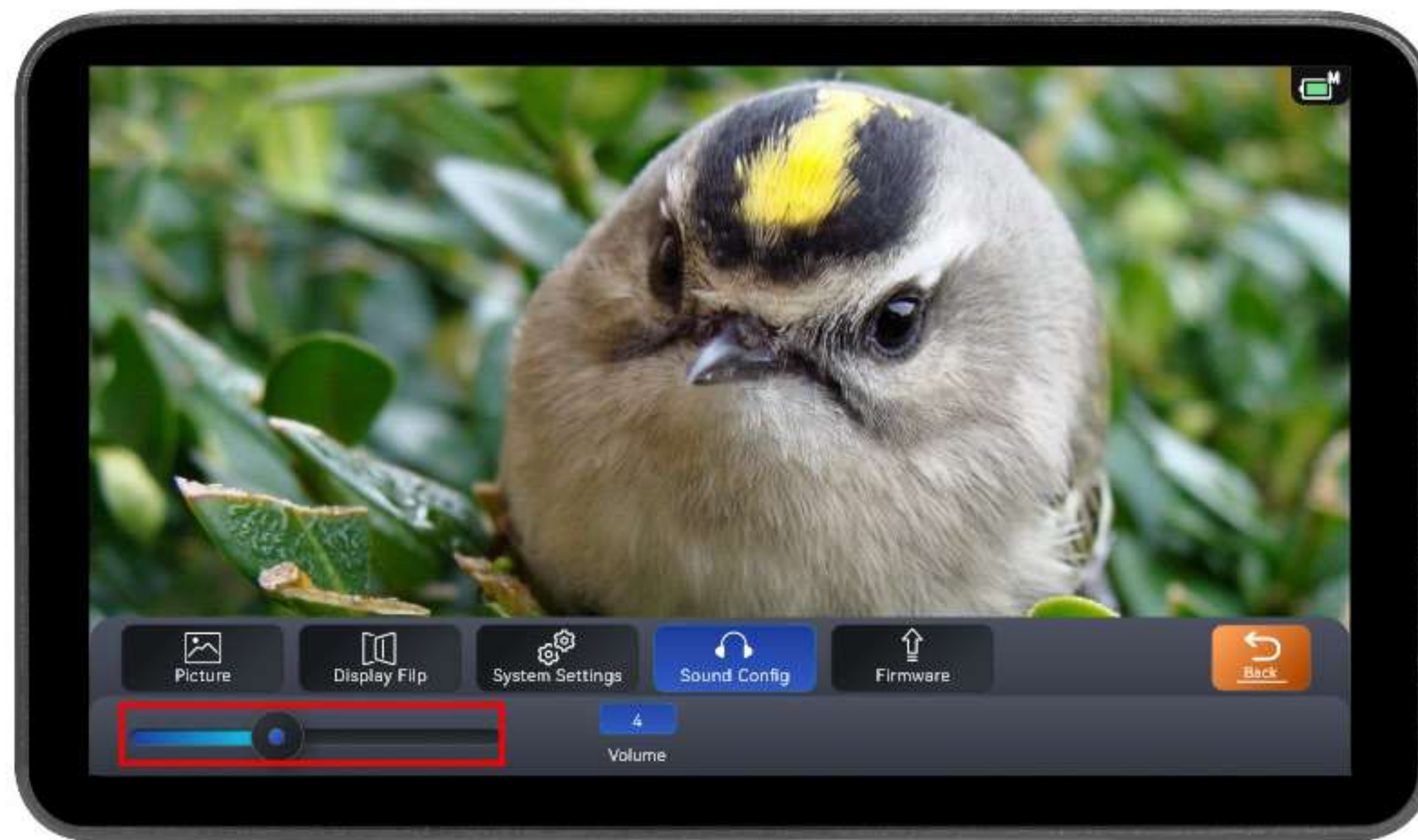


中央下



右下

4.4 サウンド設定



サウンド設定の紹介

レバーを左右にスライドさせて音量を調整します。調整可能範囲は0～10です。

4.5 ファームウェア



ファームウェアの紹介

モニターのファームウェアバージョンをアップグレードする

モニターのファームウェアバージョンをアップグレードする

準備手順:

- 1、ファームウェアアップグレードファイルをUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに入れます。
- 2、アップグレード中は電源を切らないでください。
- 3、FAT、FAT32、EXFAT、NTFS形式のUSBメモリをサポートしています。

ステップ1: ファームウェアアップグレードファイルを解凍し、アップグレードファイル (LH7P bin) をUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに送信します。

USB flash disk (G:)				
Name	REVISION DATE	Type	Size	
LH7P.bin	2024/1/22 16:00	BIN DOCUMENT	5,088 KB	
MOV_OS_PORTKEYS_LH7P_V1_17_1D_...	2024/4/12 8:48	360 ZIP FILE	4,339 KB	

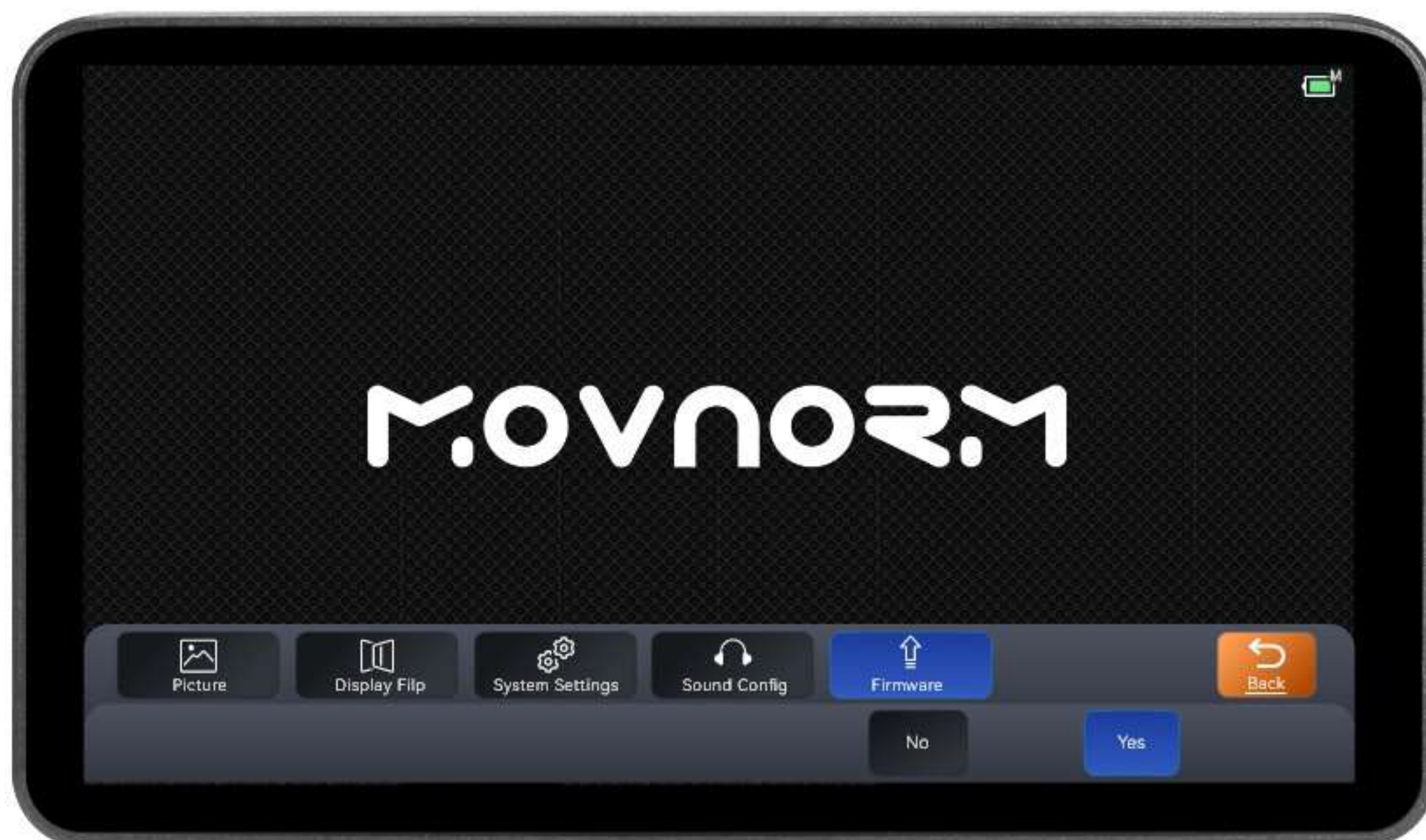
ステップ2: モニターを電源に接続し、アップグレードファイルが入ったUSBフラッシュドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します。



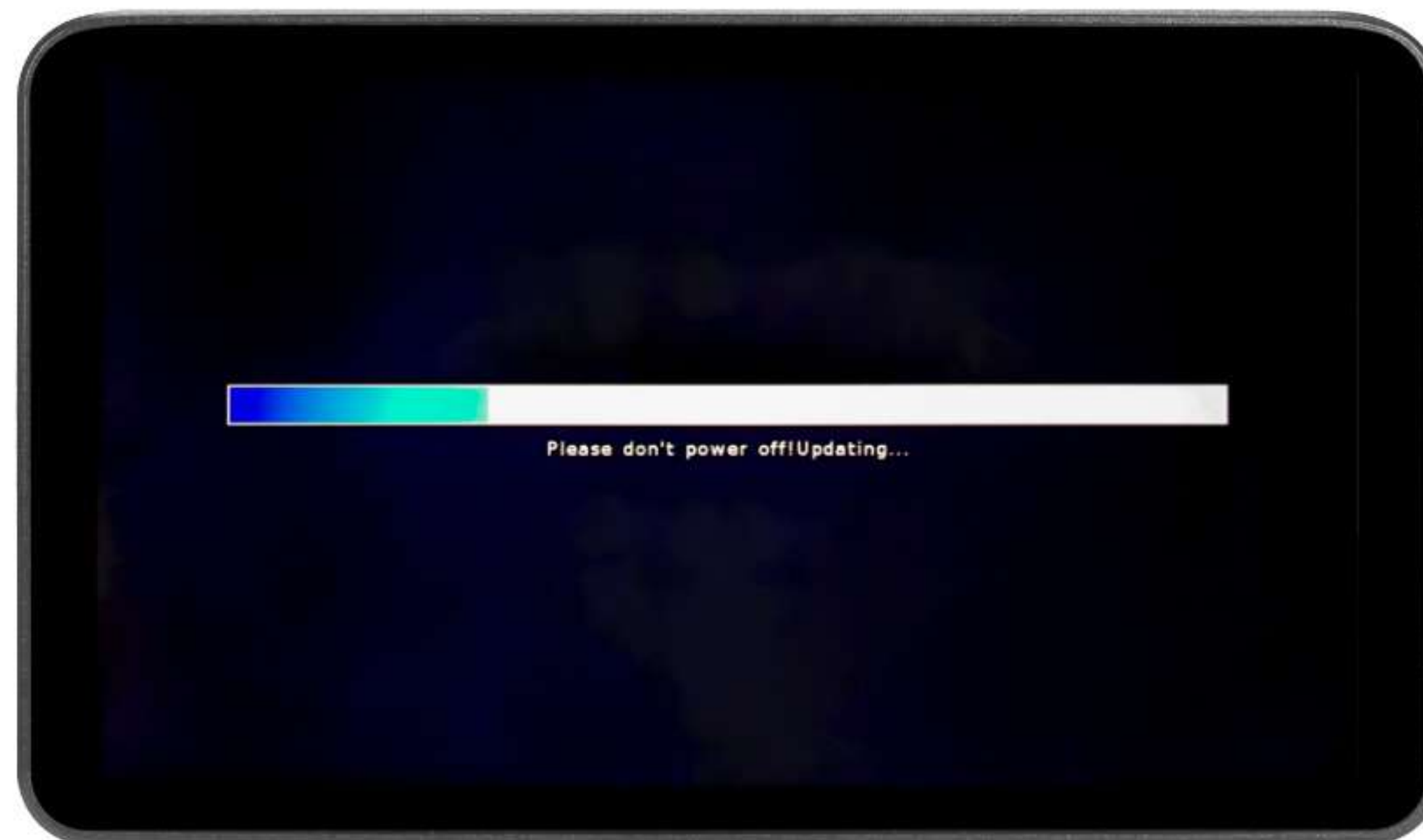
ステップ3: コンピュータを起動し、「設定」→「ファームウェア」→「アップグレード (USB)」をクリックします。



ステップ4: 「はい」を選択します。



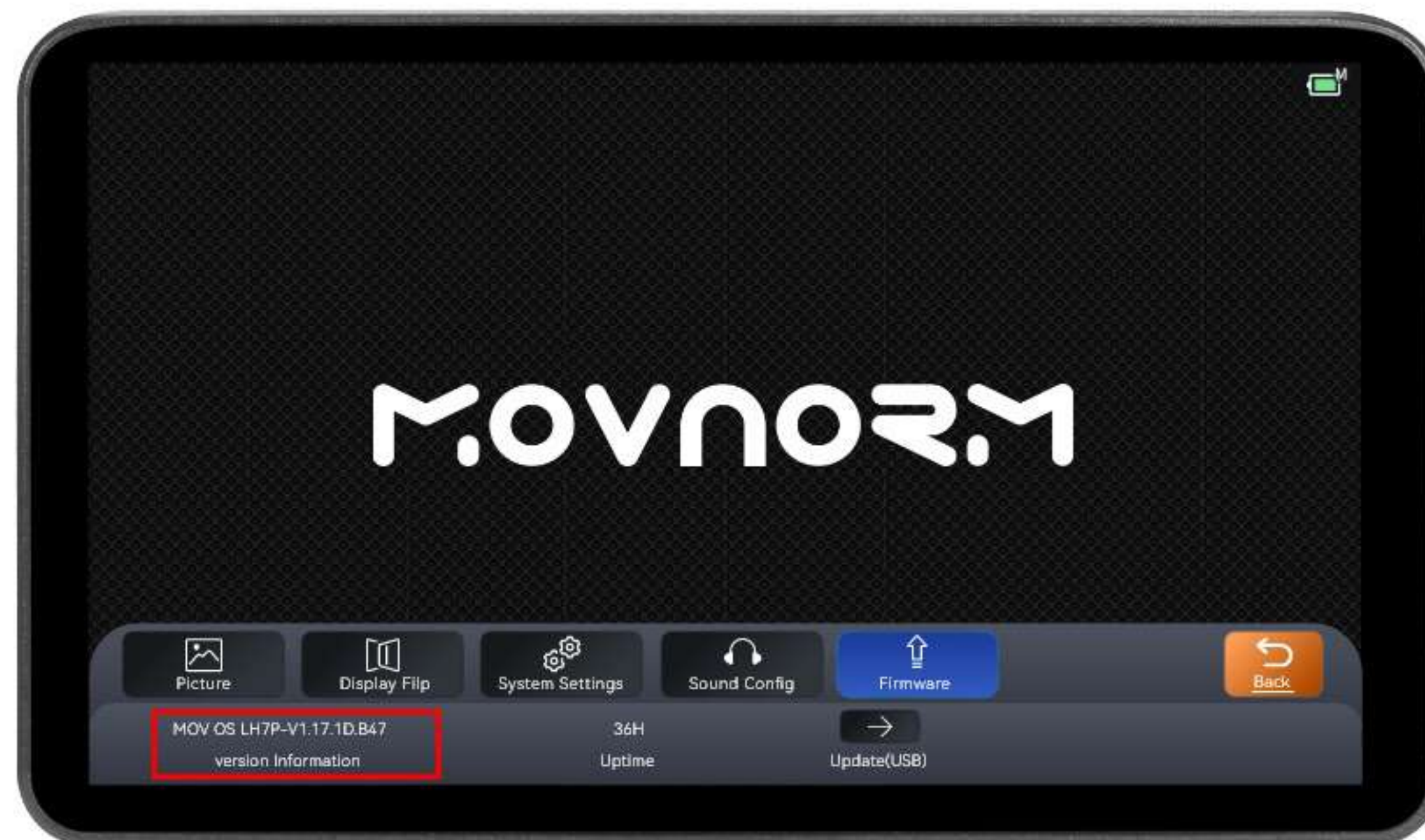
ステップ5: アップグレードが完了するのを待ちます。



「ステップ6: アップグレード完了、画面が黒画面になり、システム設定がアップグレードされます。黒画面は正常な現象です。途中で電源のオン・オフを行わないでください。」



ステップ7: アップグレードが完了した後、「ファームウェア」画面に入り、ファームウェアが正常にアップグレードされたかどうかを確認します。



3D LUT 紹介

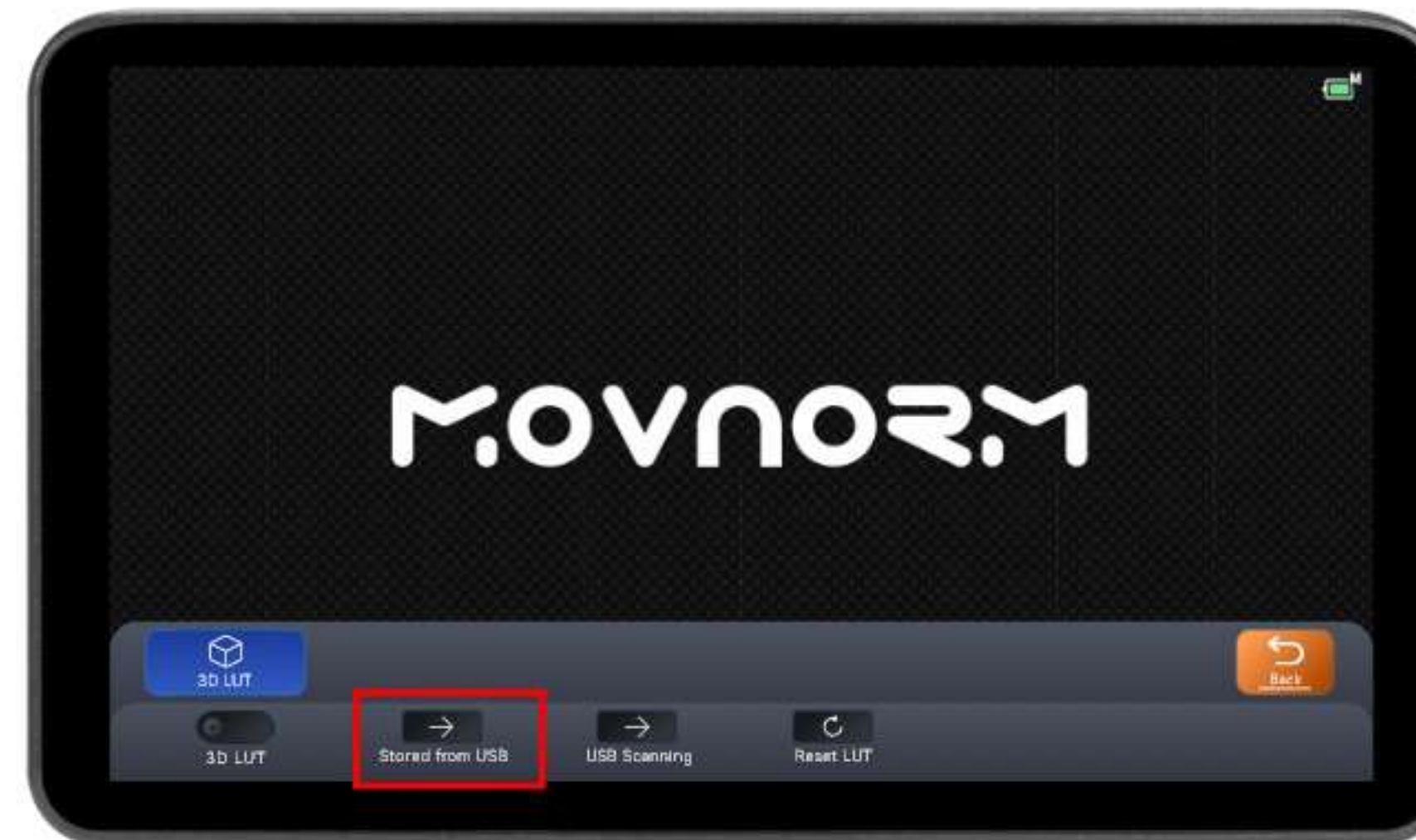
5.1 3D LUT



3D LUTの紹介

3D LUTを開いた後、ユーザーストレージをクリックし、次にLUTファイルをクリックして画面に適用します。USB検索では、LUTファイルを外部USBフラッシュドライブに送信し、USBフラッシュドライブをモニターのUSBポートに接続し、リムーバブルディスクを選択し、保存する必要があるLUTファイルをクリックします。（LUTファイルはユーザーのストレージに再保存できます）

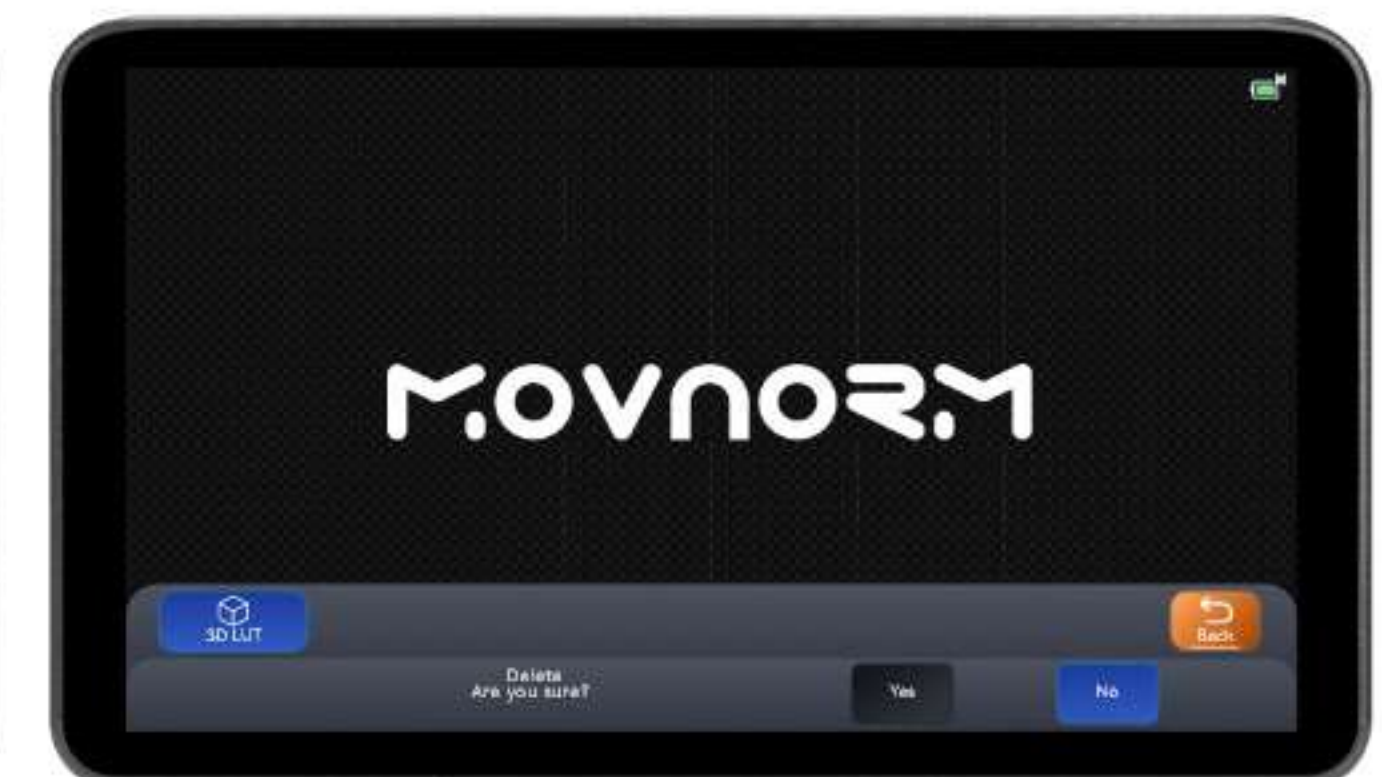
3D LUT - USBから保存



1. ユーザーストレージをクリックして3D LUTページに入り、ユーザーは実際のニーズに合ったLUTを選択して画像に適用できます。



長押し

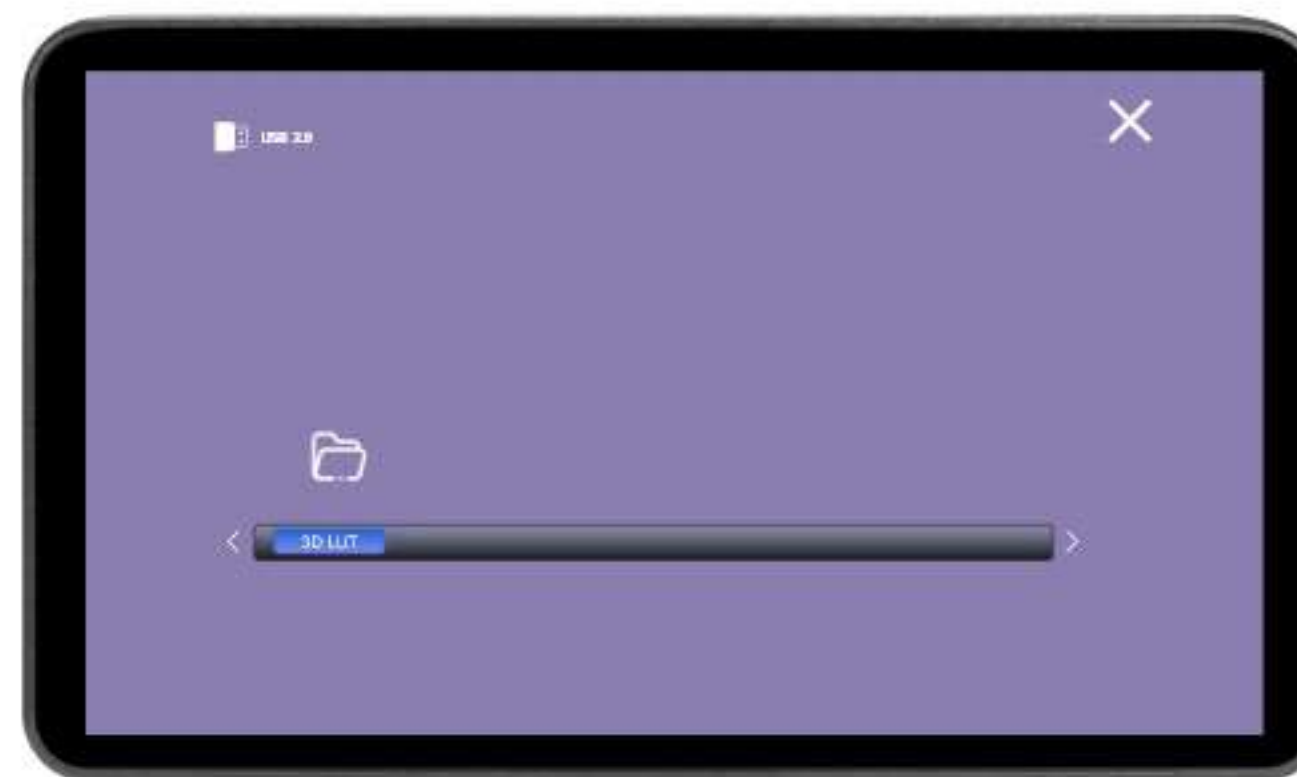


2. LUTを長押しして削除を選択

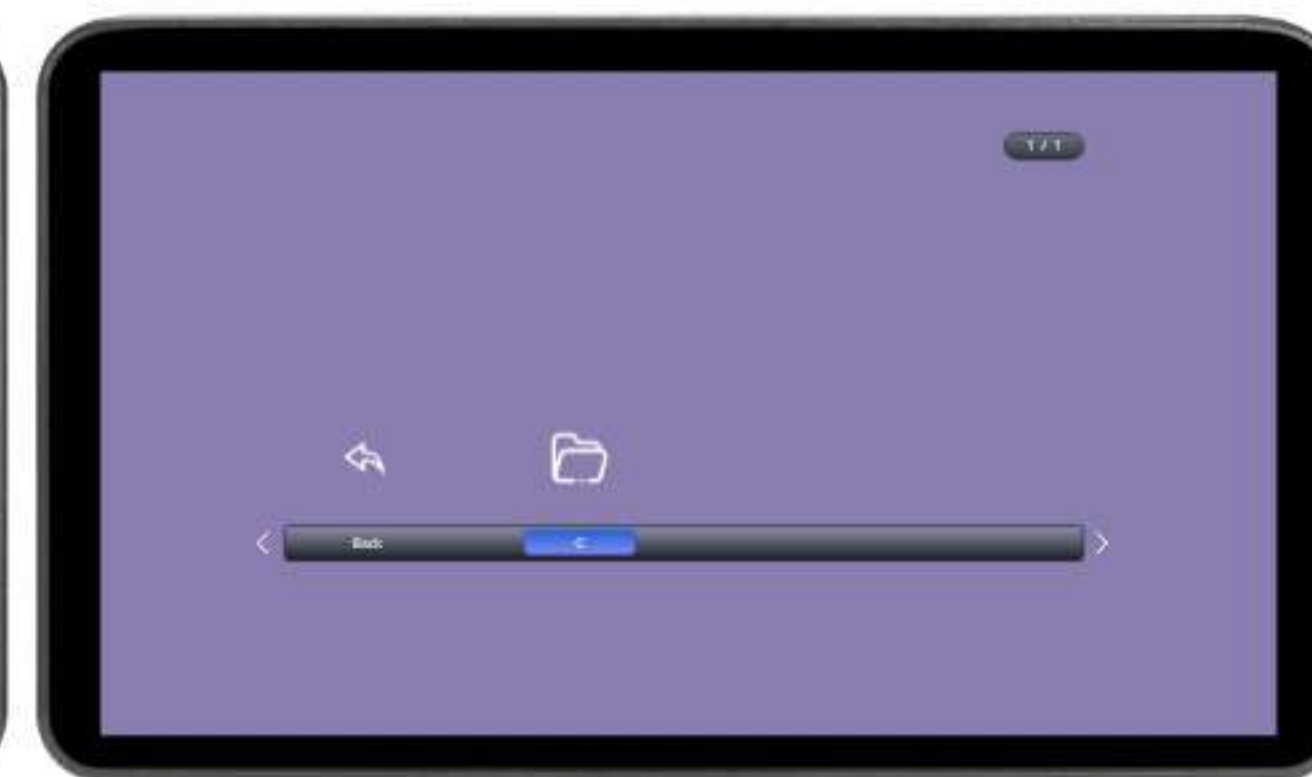
3D LUT-USB ルックアップ



USB ルックアップでは、外部の USB フラッシュ ドライブに送信する適切な LUT ファイルを作成し、USB フラッシュ ドライブをモニターの USB ポートに接続し、リムーバブル ディスクを選択し、保存する必要がある LUT ファイルをクリックすると、このプロセスを完了できます。(LUT ファイルはユーザーのメモリに繰り返し保存できます)



1



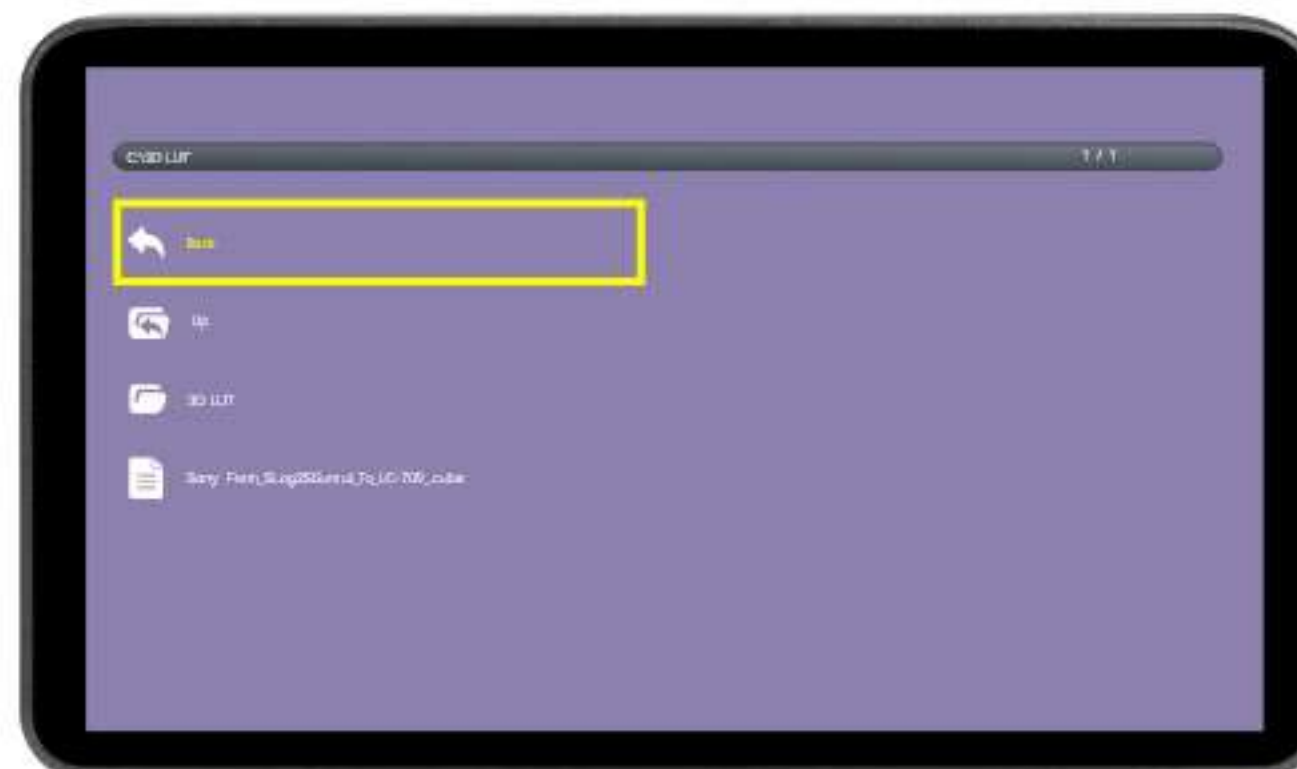
2



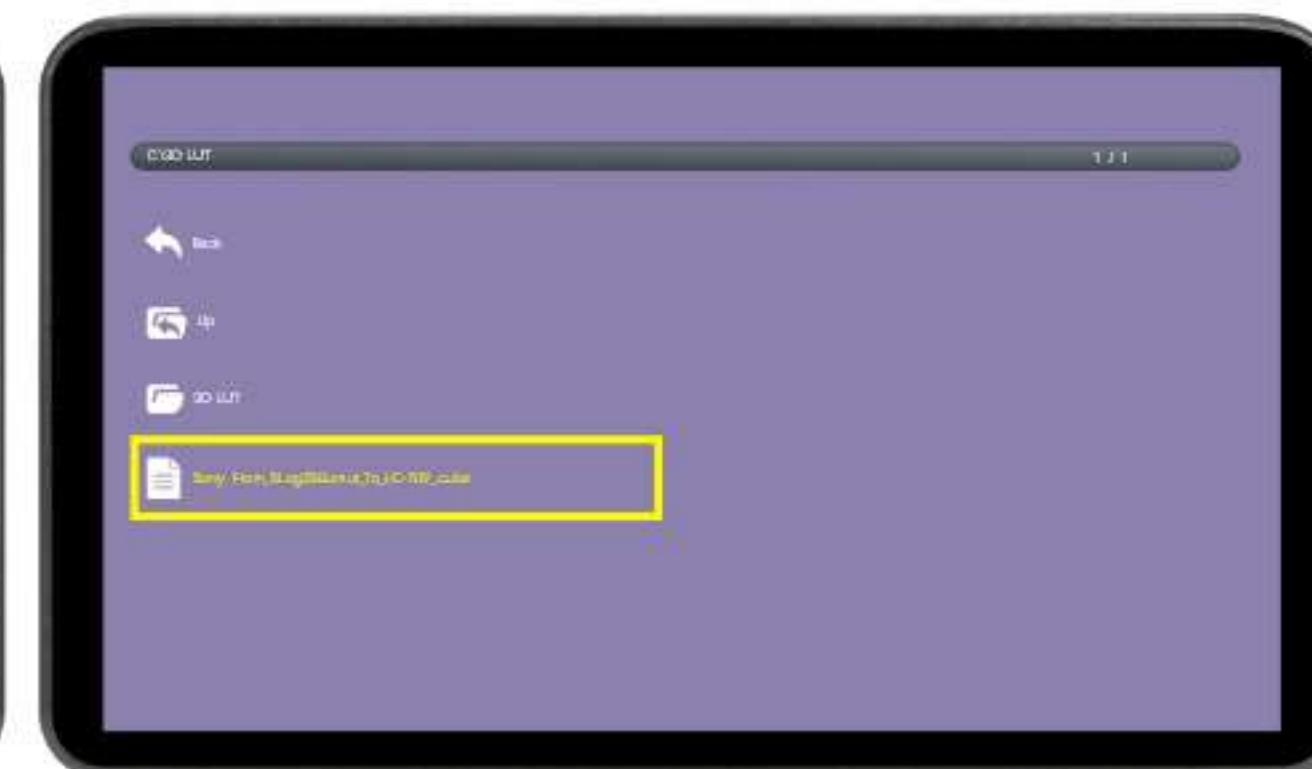
3



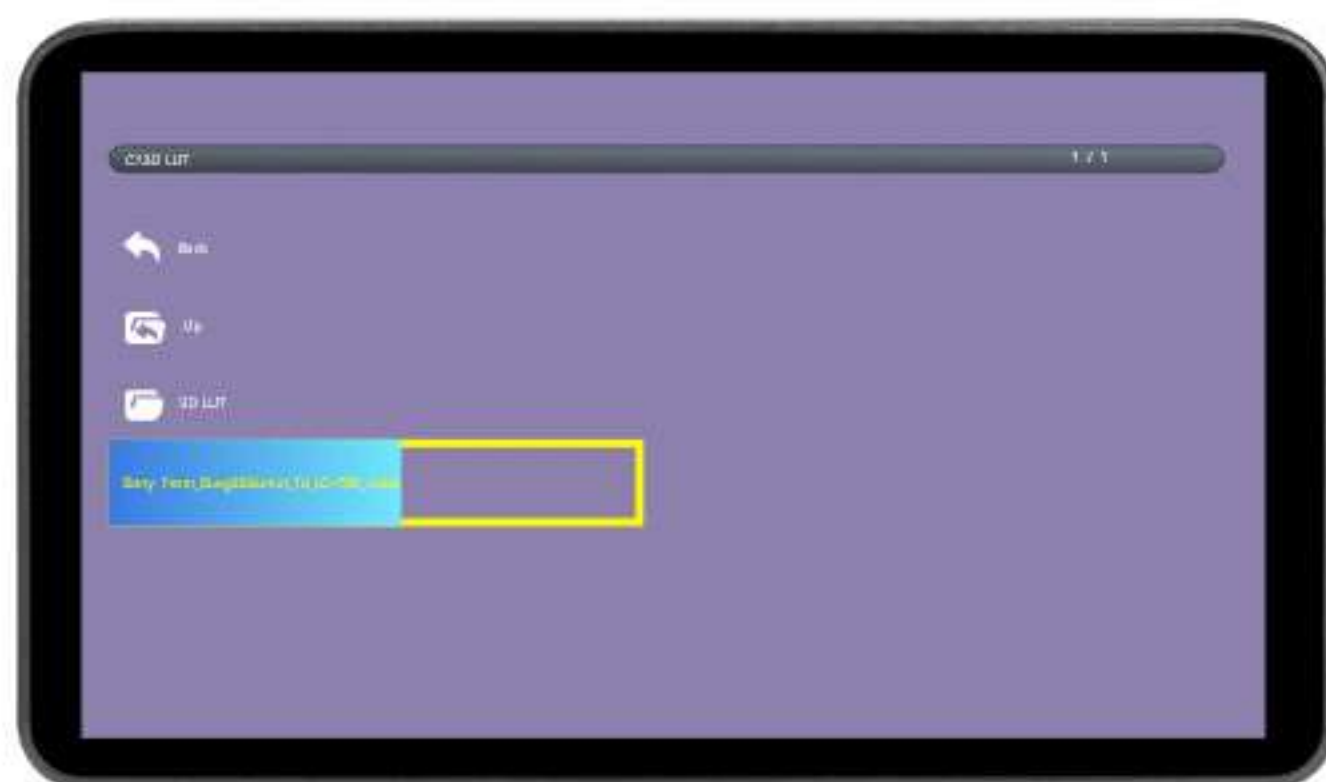
4



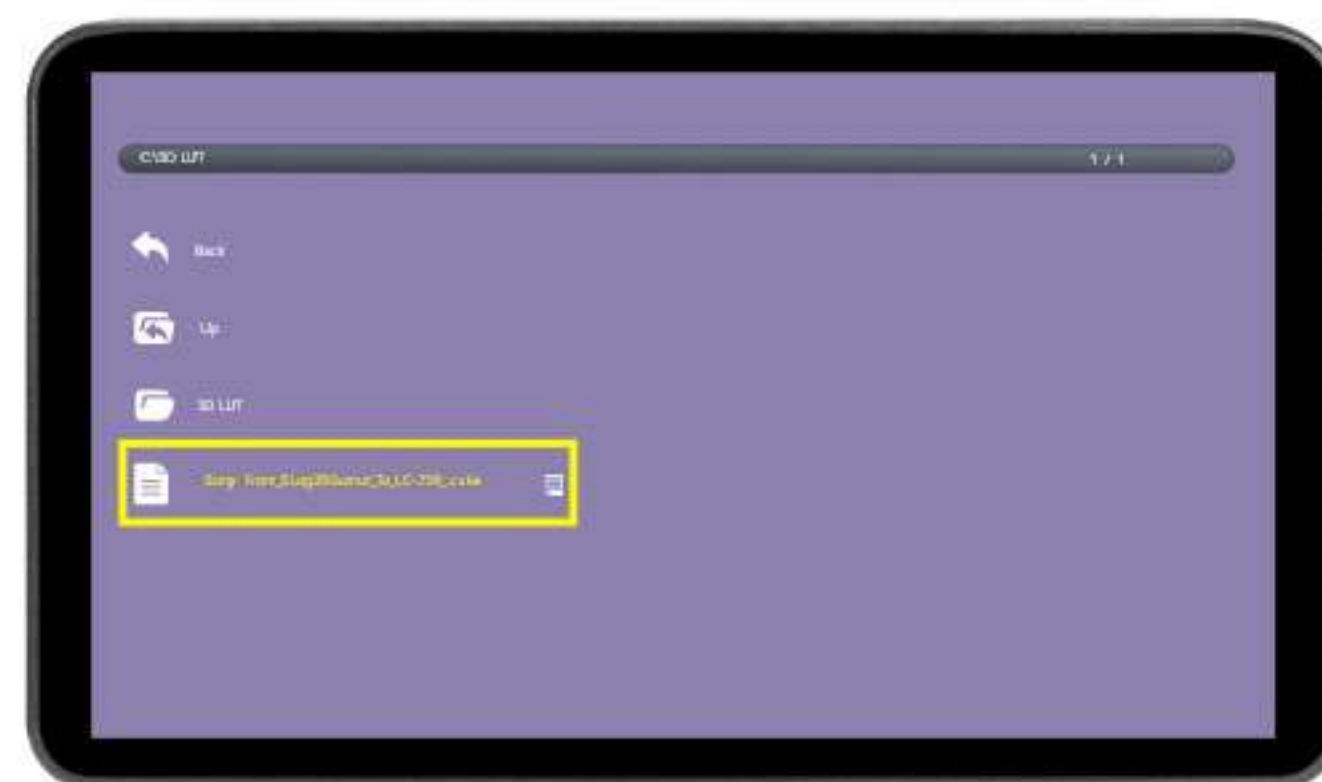
5



6



7

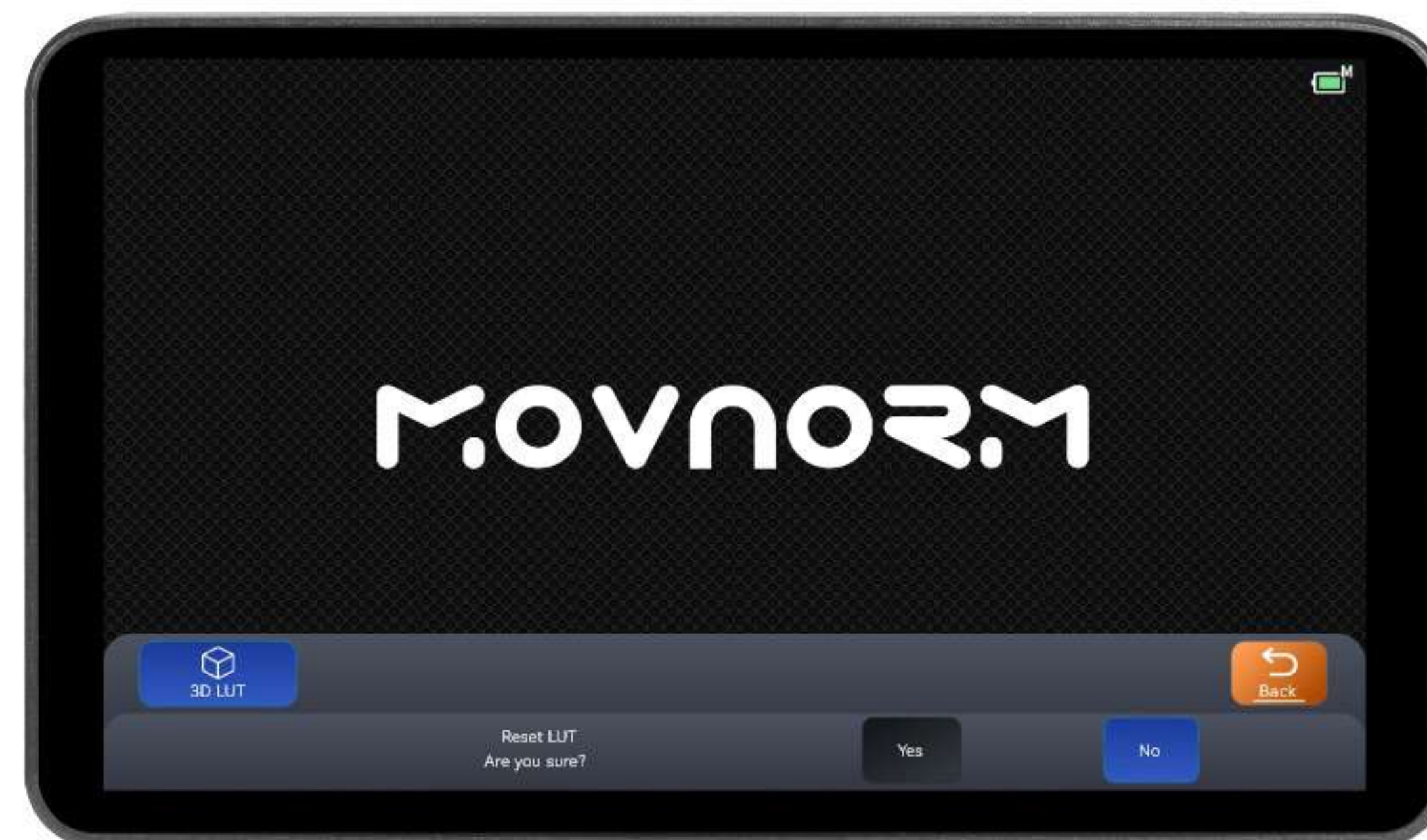


8



9

3D LUT-リセット LUT

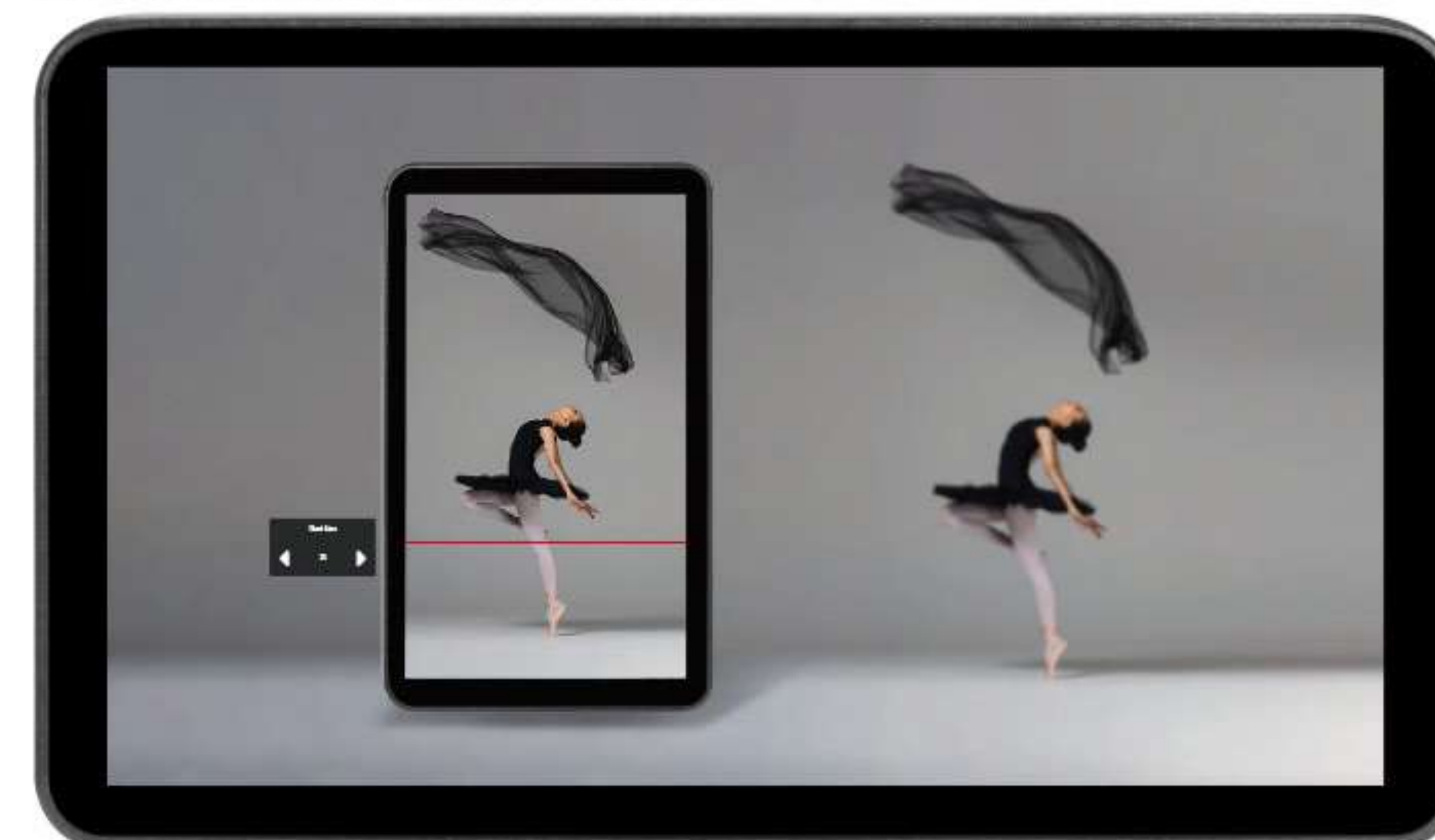
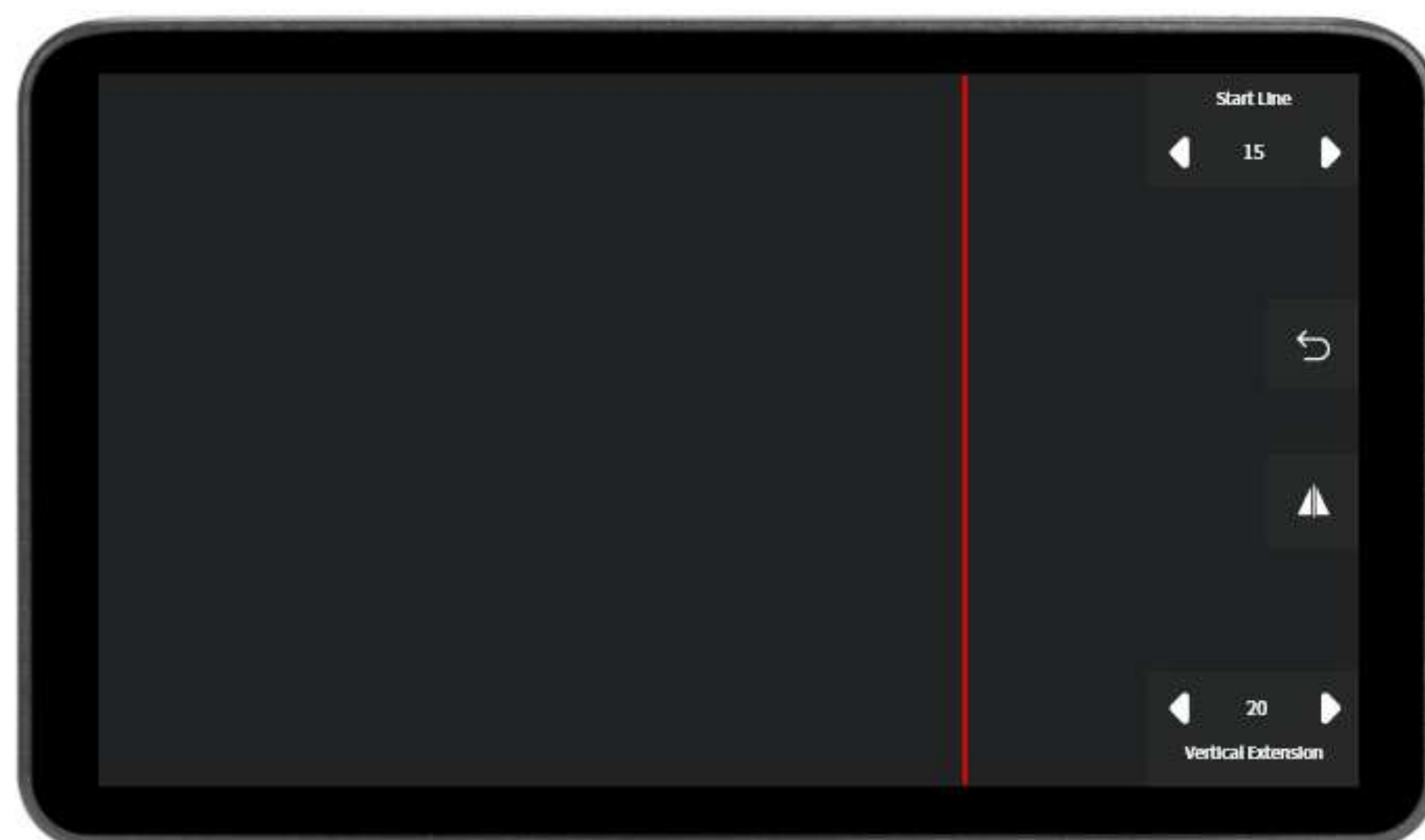


LUT を元の設定にリセット

6.1 垂直拡張

垂直拡張 - 開始ライン

開始線の位置を変更して画像の位置を調整

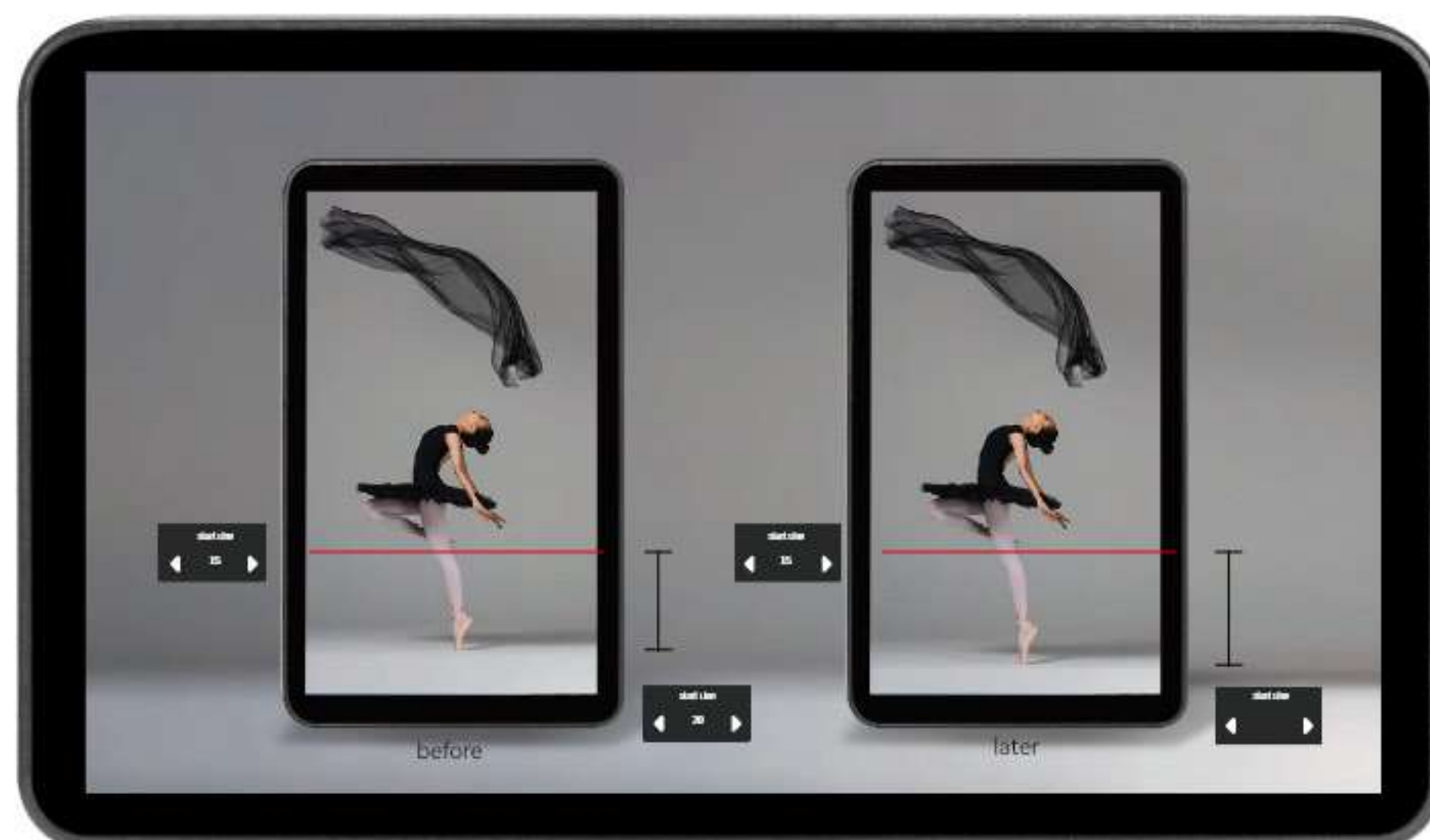


垂直拡張の紹介

垂直伸縮をオンにし、開始ライン パラメータを伸縮を調整する必要がある画面上の位置に調整し、垂直伸縮パラメータを調整して調整を完了します。

垂直拡張 - 垂直拡張

垂直伸縮のパラメータ設定を調整して、画面画像を伸縮します。



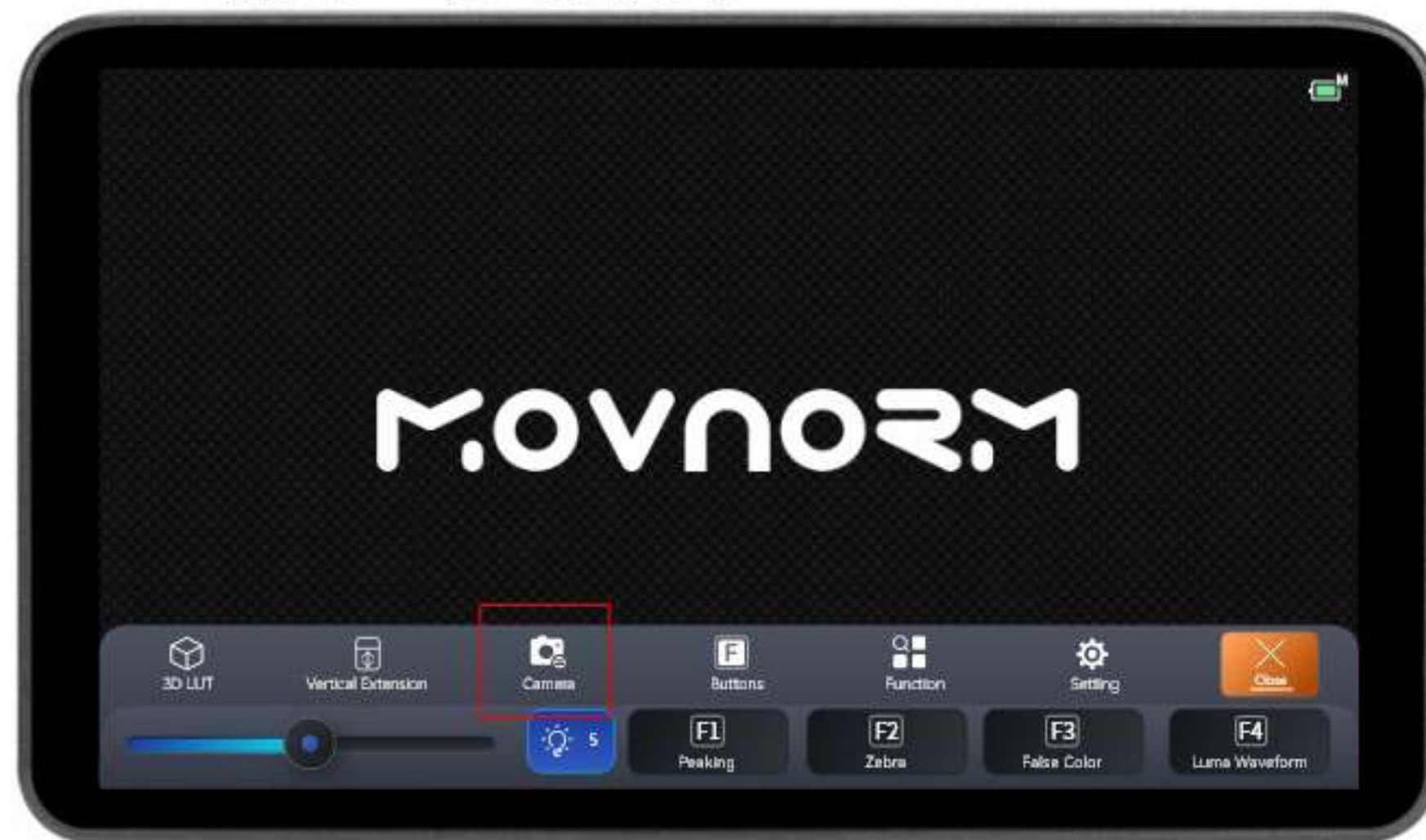
垂直拡張 - 鏡像

ページパラメータ設定がすべて左に転送され、画面画像のパラメータを調整すると鏡像伸縮されます



カメラ紹介

7.1 カメラ制御

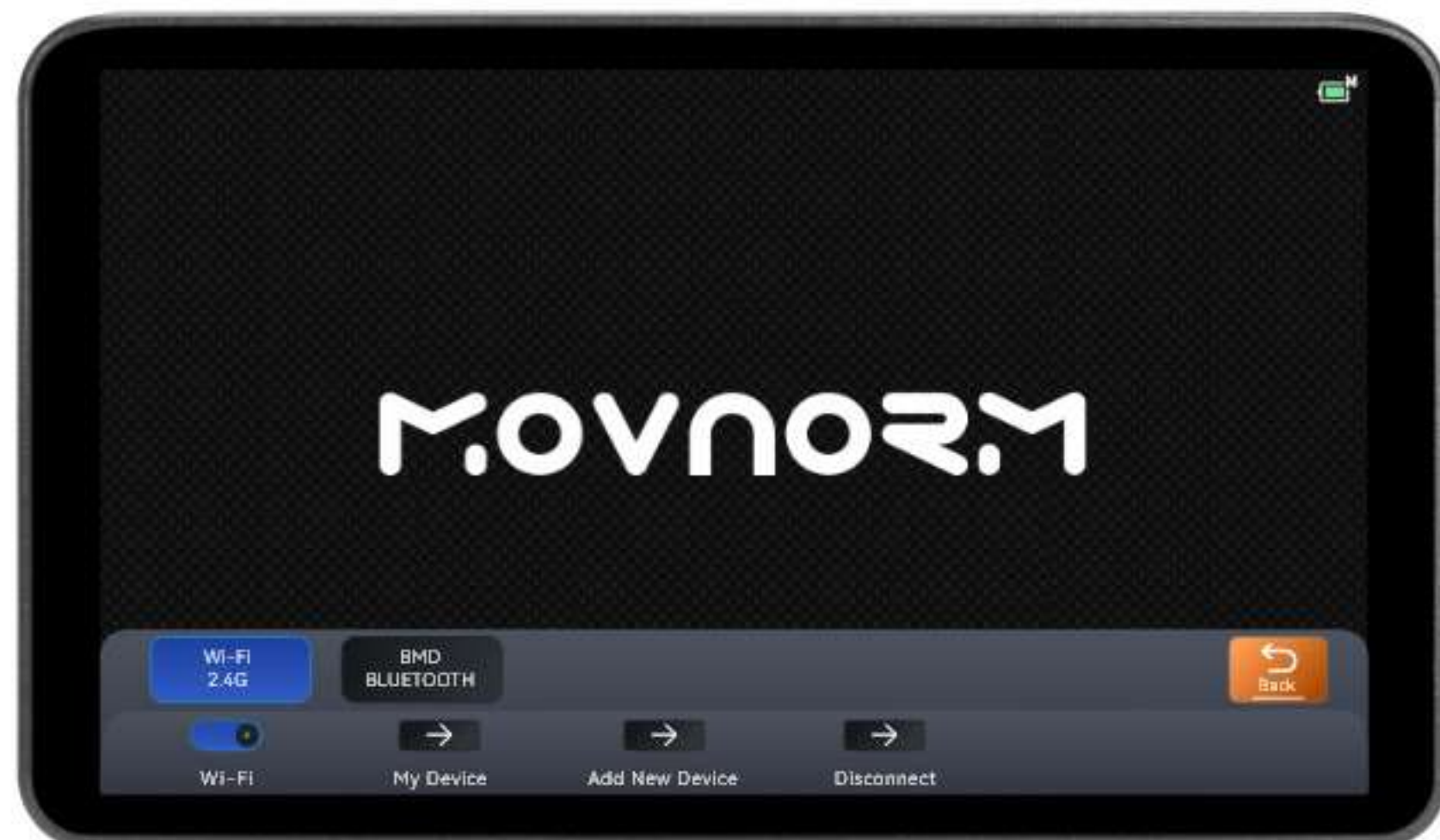


カメラ制御の紹介

Wi-FiまたはBluetoothを介してカメラに接続し、制御します。

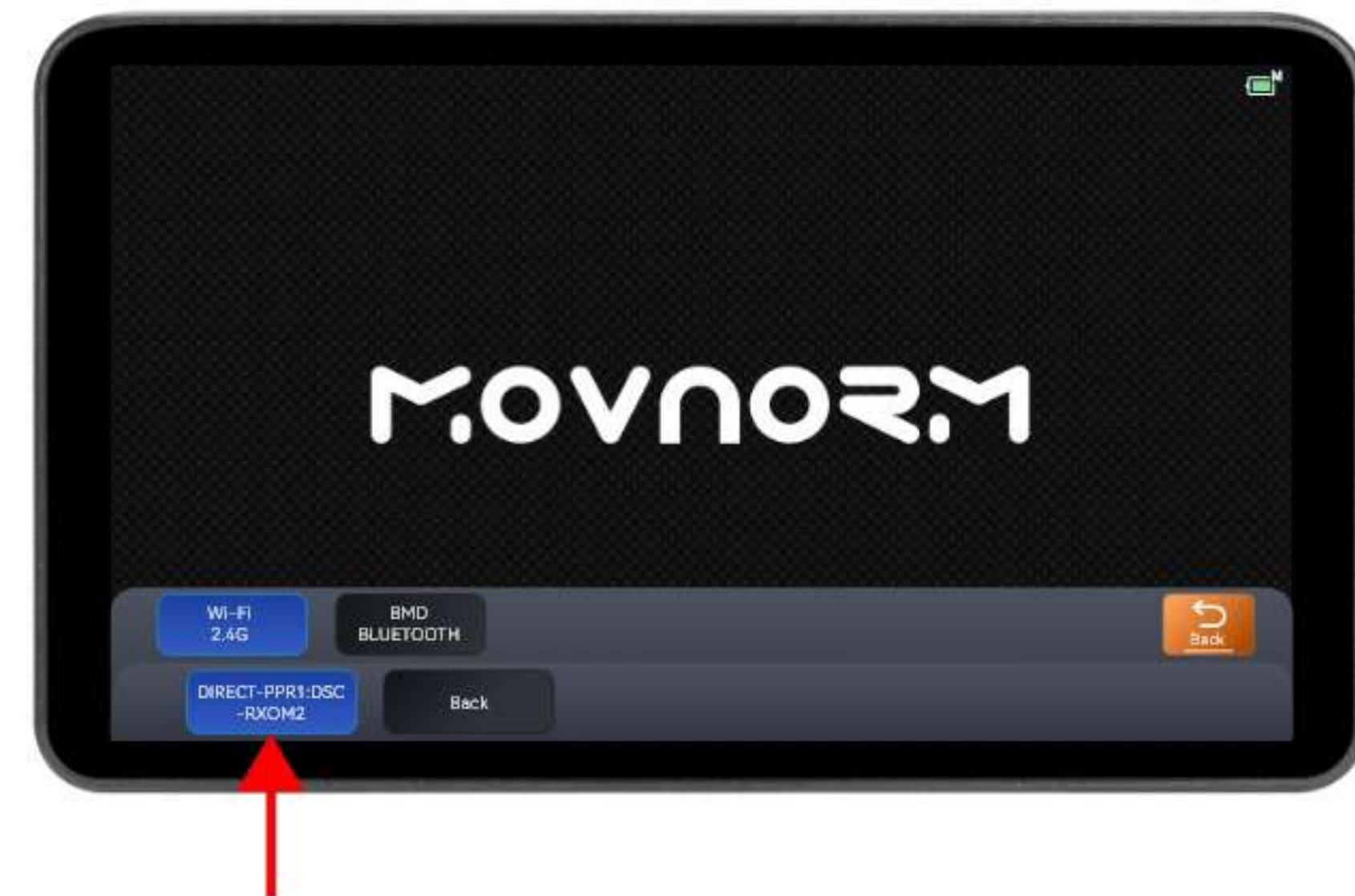
カメラ - Wi-Fi 2.4G

カメラはWi-Fiで接続でき、モニターを操作することでカメラを操作できます。



Wi-Fi 2.4G - 自分のデバイス

Wi-Fiを介して既に追加済みのカメラに接続できます。

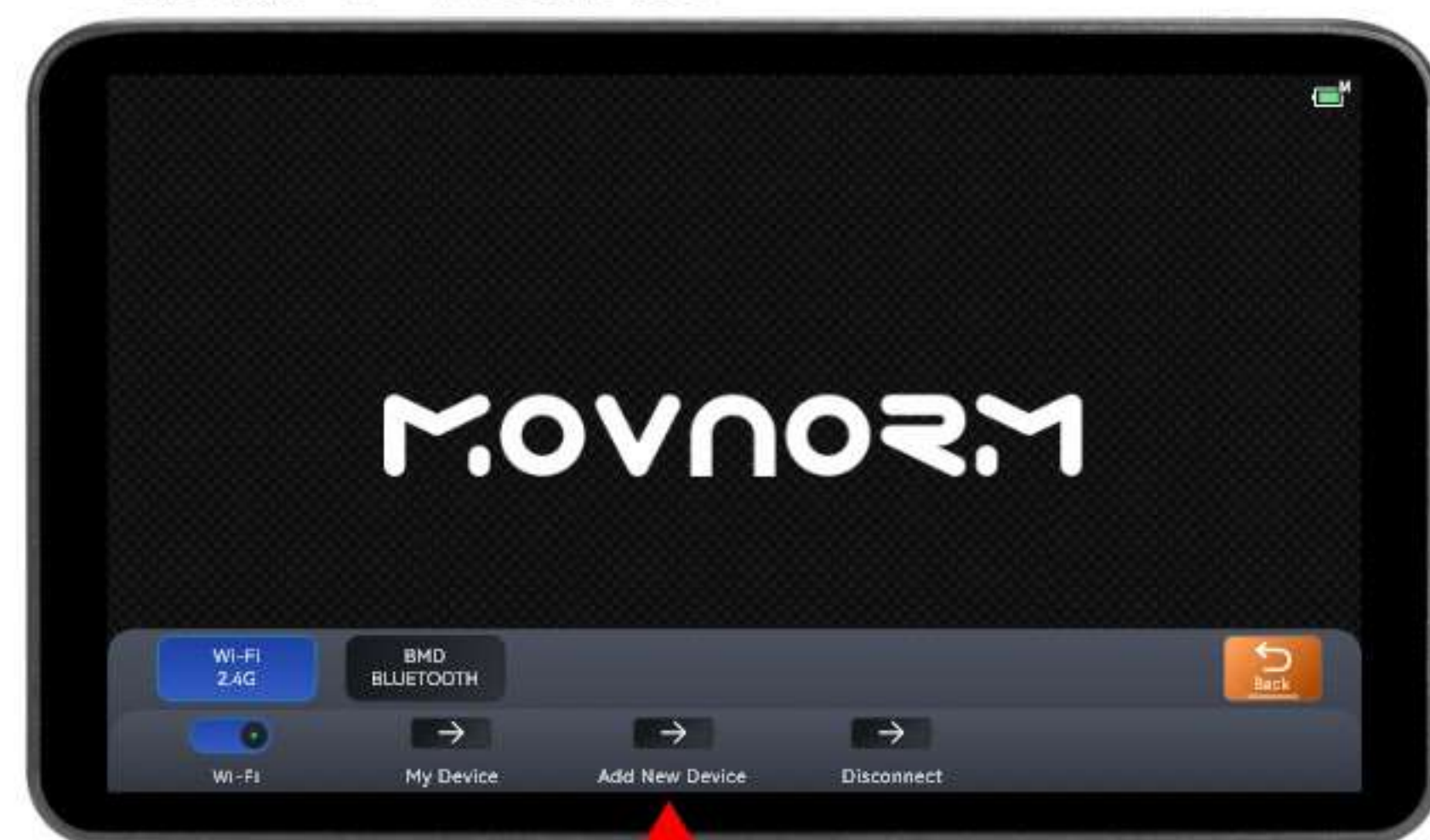




接続成功

Wi-Fi 2.4G - 新しいデバイスを追加

Wi-Fiを介して新しいデバイスを追加できます



新しいデバイスを追加するにはクリック



接続するカメラをクリック



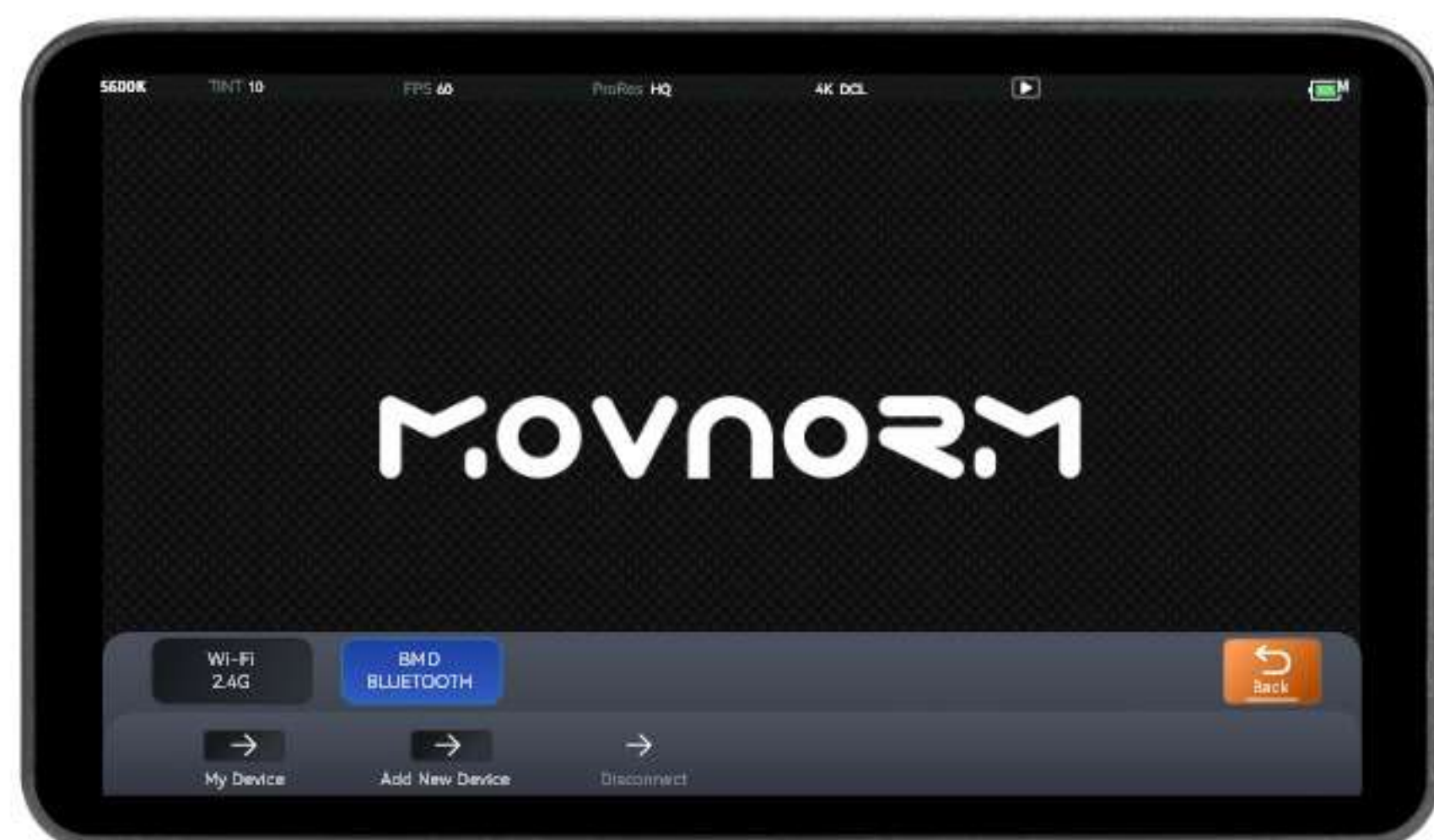
カメラの接続パスワードを入力



接続成功

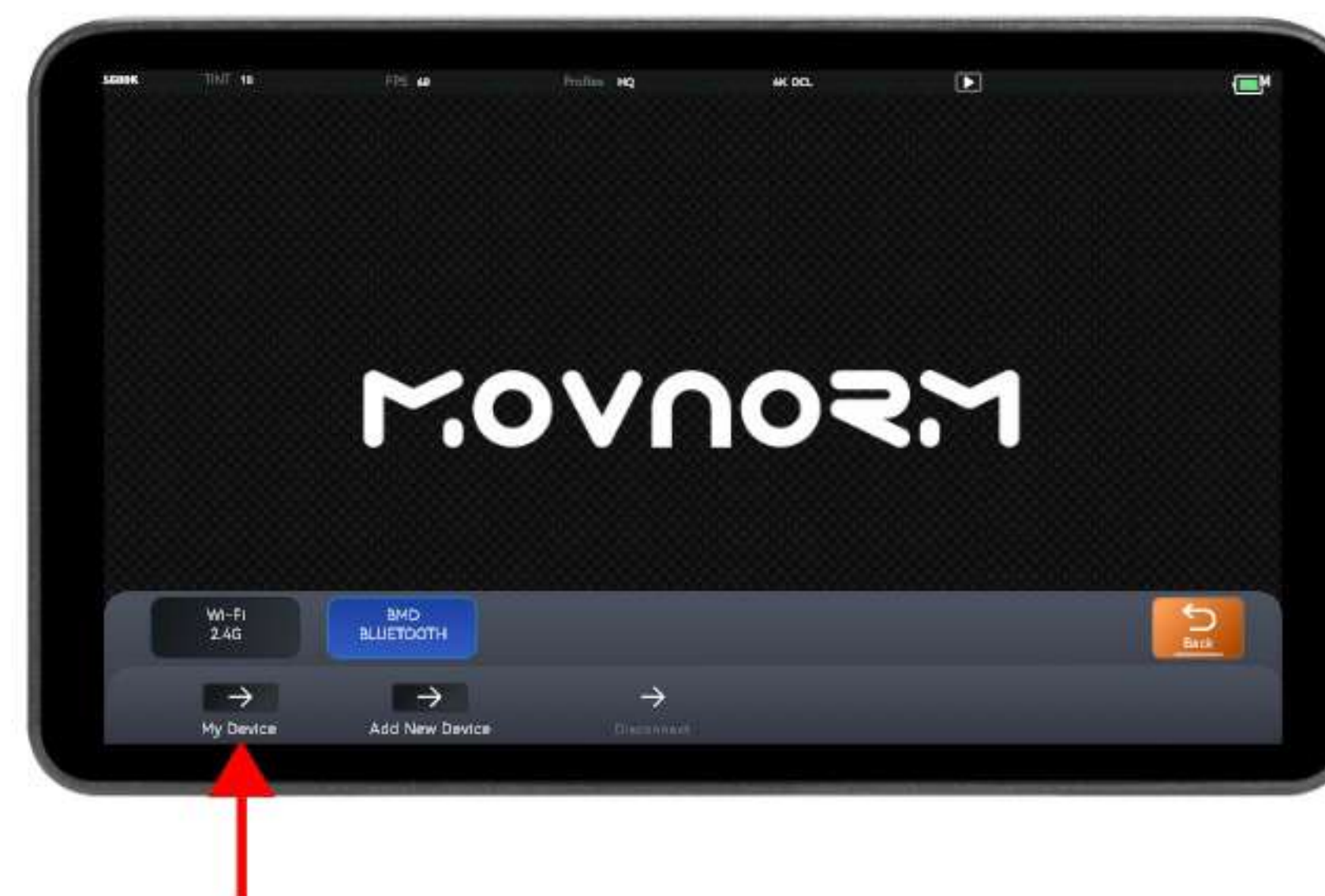
カメラ - BMD BLUETOOTH

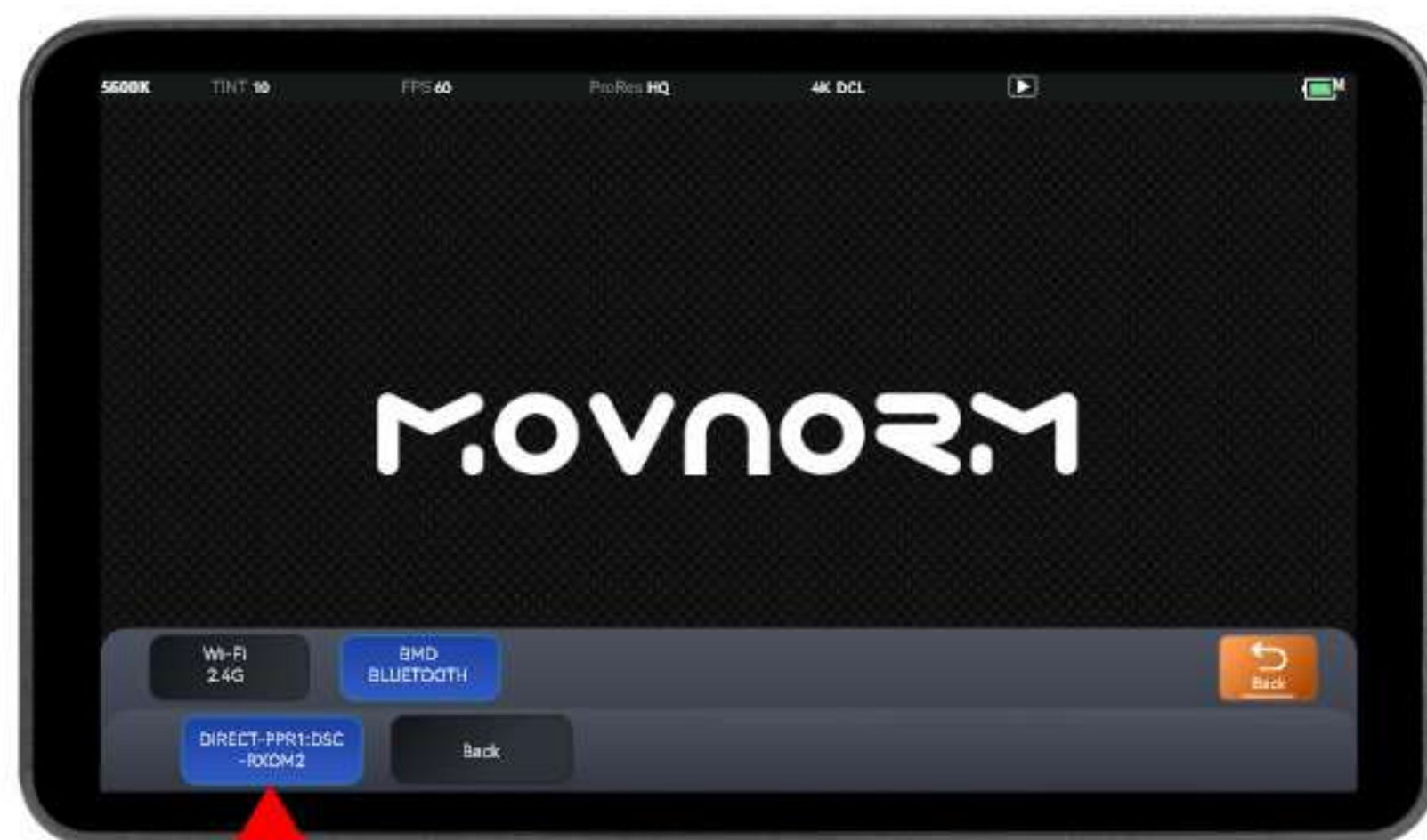
カメラはBluetoothで接続でき、モニターを操作することでカメラを制御できます。



BMD ブルートゥース - 自分のデバイス

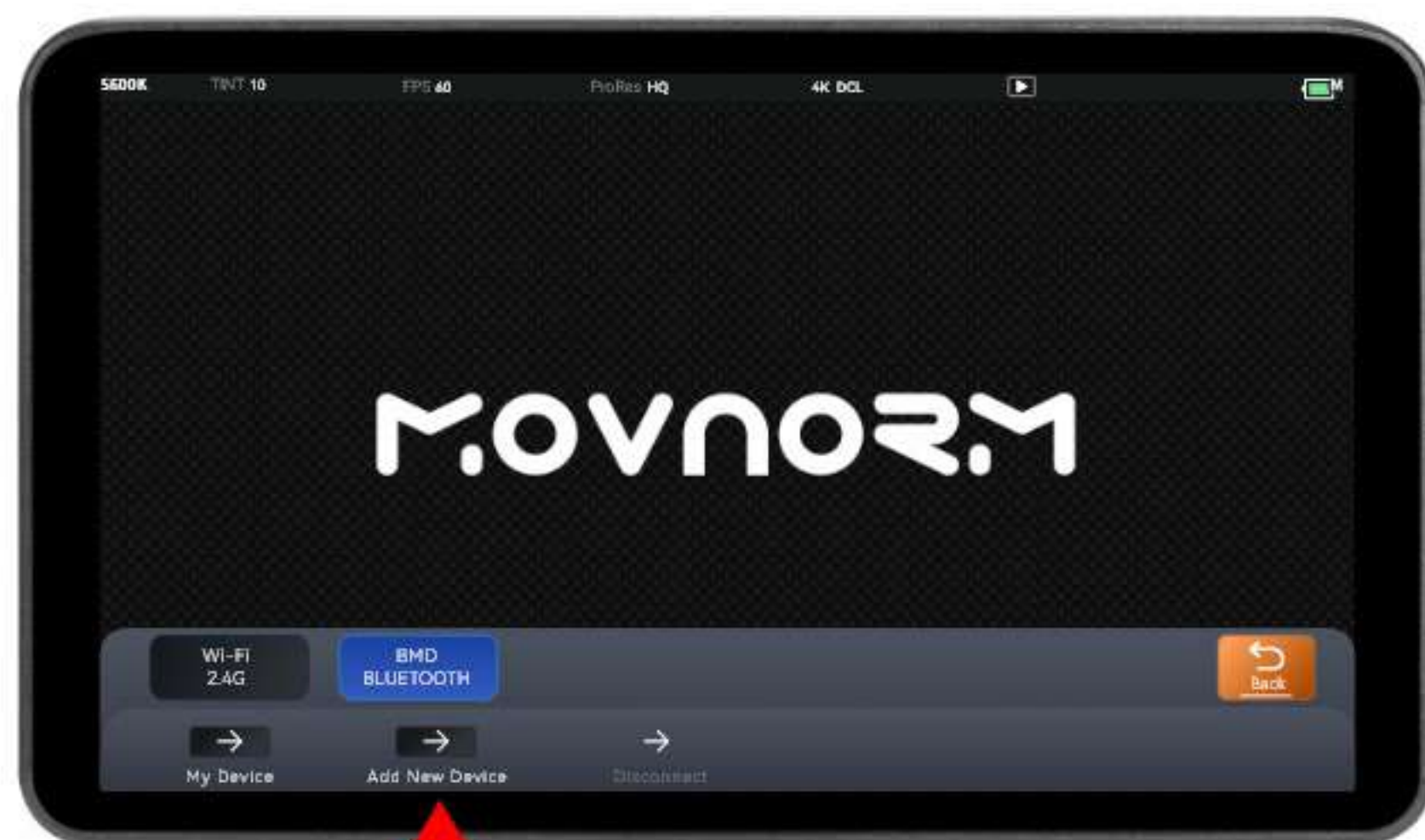
既に追加済みのカメラにブルートゥース経由で接続します。





BMD ブルートゥース - 新しいデバイスを追加

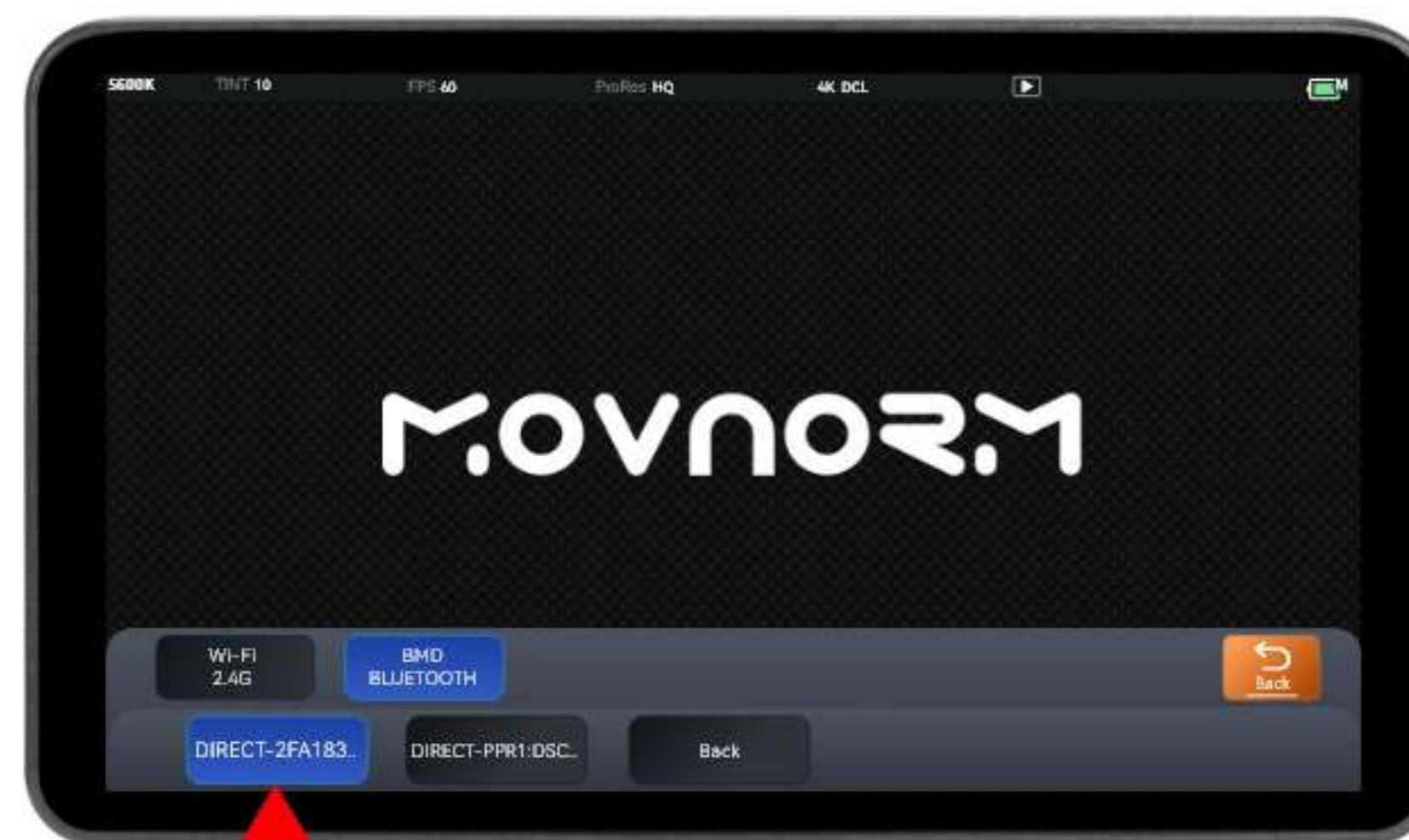
新しいデバイスをブルートゥース経由で追加できます。



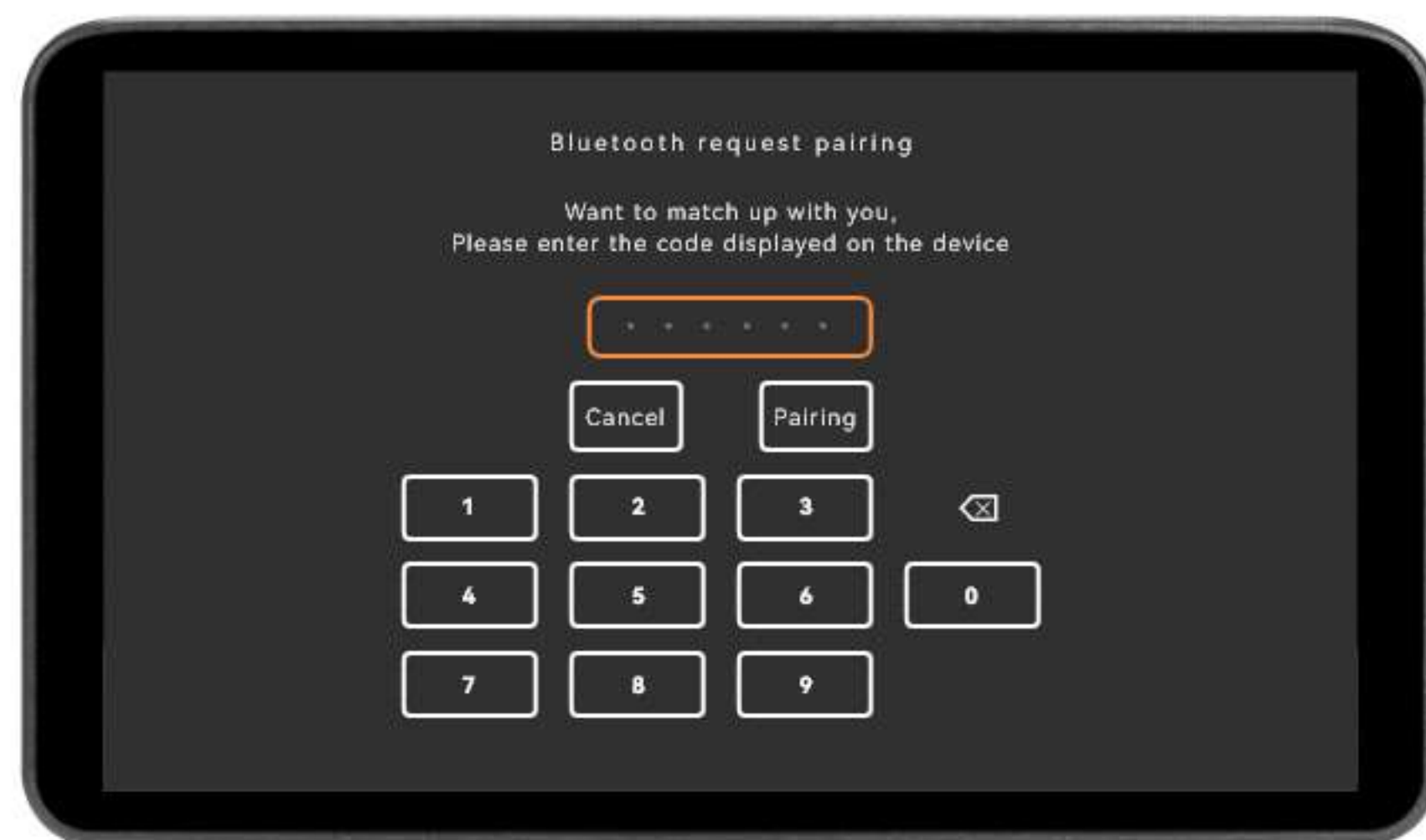
新しいデバイスを追加するにはクリック



接続成功



接続するカメラをクリック



カメラの接続パスワードを入力



正常に接続されました。

7.2 カメラ操作



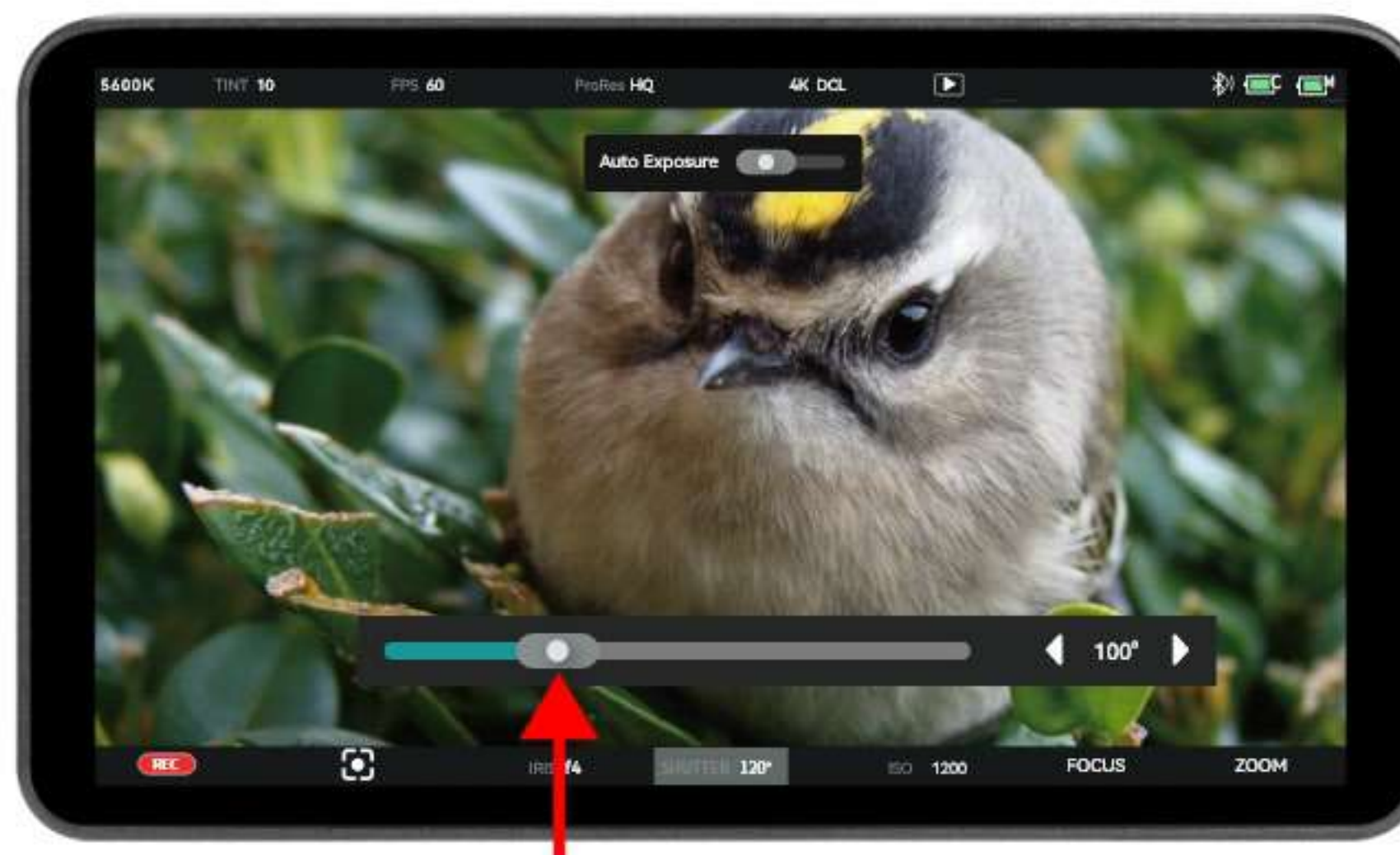
カメラ操作の紹介

カメラをWi-FiまたはBluetoothで接続した後、録画開始、ホワイトバランス、絞りなど、多数のカメラ設定をモニター経由で操作できます。これにより、ユーザーはカメラに直接触れることなく撮影、設定の調整、画面の表示などを行うことができます。これは操作の利便性を高めるだけでなく、特定の撮影環境においてより大きな柔軟性を提供します。

カメラ コントロール-シャッター



カメラのシャッター角度はモニターを通じて操作できます



カメラのレンズ角度はスライダーをドラッグすることで操作できます



オート露出モードをオンにしたり、カメラレンズの角度やシャッターを操作することができます。

カメラ制御 - タッチフォーカス



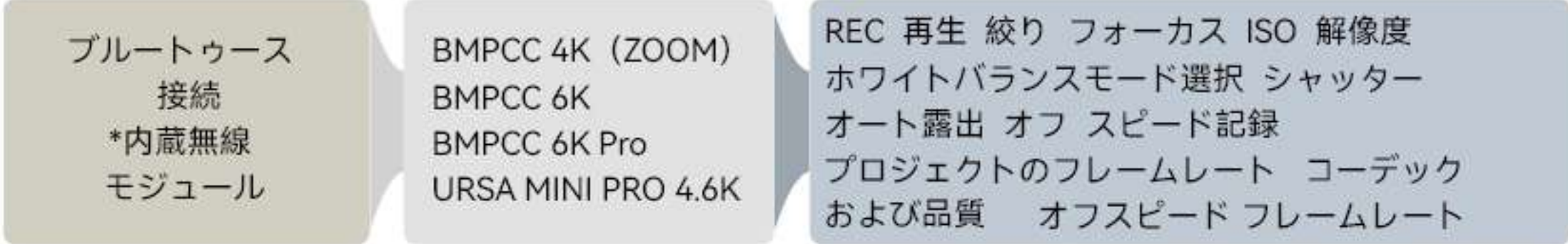
モニタータッチフォーカスによるカメラ制御



タッチフォーカスをオンにする

カメラ制御 - 操作可能なカメラ

Nikon



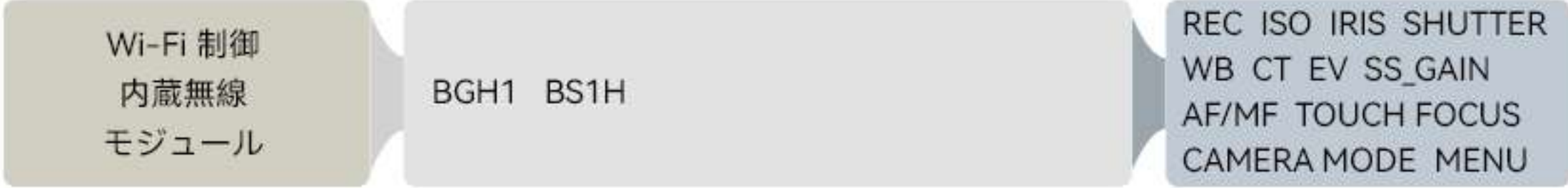
SONY



Canon



Panasonic



7.3 モニターのステータスバー



パワーアイコンをクリックすると、モニターとカメラを表示できます。



クリック後